

SolarView Compact / Air

ソフトウェアマニュアル

(対象 : Ver.8.00～)

はじめに

本解説書は、【 SolarView Compact 】ならびに【 SolarView Air 】のソフトウェアマニュアルです。

本製品と設定用のパソコンを接続するには商品添付の【 かんたんセットアップガイド 】を参照し、パソコンの設定を行ってください。本解説書ではパソコンの設定が終わってからの操作方法について説明します。

本製品を運用するまでに以下の設定を行う必要があります。

- ① 初期設定を行う（発電所名称、定格の設定など）
- ② 接続するパソコンの設定を行う

下記の機能などをご利用頂く場合には設定を行う必要があります。設定方法は本解説書で説明します。

- ・ 警報メール
- ・ スライドショー
- ・ データ転送
- ・ LED 盤の利用

設定後の各画面の説明ならびに操作方法是本解説書にて説明します。

**【 SolarView Air 】をお使いの場合、いくつかの設定については設定の変更を禁止しております。
禁止されている設定については以降の各説明で明記しておりますので変更しないようにお願いします。**

本製品には SD カードの容量が 2GB（2GB モデル）のものと 4GB（4GB モデル）のものが存在します。4GB モデルではパソコンの接続台数が最大 30 台まで設定できますが、2GB モデルでは 9 台までになります。製品が 2GB モデルか 4GB モデルなのかは製品に Web アクセスした際に表示されるロゴで判別できます。

2GB モデル	4GB モデル
	

「SolarView」ロゴの i の○部が白色のものが 2GB モデル、オレンジ色のものが 4GB モデルです。

本解説書は、Ver.8.00 以降を対象とします。

セキュリティに関する注意

本製品をネットワークに接続する際は、存在するセキュリティリスクを考慮の上、セキュリティ対策事例を参考に本体および関連するネットワーク機器を適切に設定してください。また本製品ではソフトウェアに脆弱性が見つかった場合、当社 Web サイトに掲載されるファームウェアに更新する必要があります。**ファームウェアを更新していない状態で本製品を利用する場合、セキュリティリスクが生じます**。ファームウェアの更新情報は当社 Web サイトの「ソフトウェア更新情報」に掲載すると共に「E-mail 配信（メールマガジン）」も実施しております。E-mail 配信はユーザー登録（ご購入製品の登録）にて「E-mail 配信(メールマガジン)」を「希望」する申し込みをして頂いたお客様宛てに当社から通知しております。ご活用ください。

1. セキュリティリスク

- 外部ネットワークからの不正侵入に伴うシステムの停止、データの破損、情報の窃取、マルウェア^{※1} への感染。
- 侵入後にその機器を踏み台として、外部ネットワークへの攻撃。（被害者から加害者になる）
- 外部へのネットワーク接続に伴う意図しない情報漏洩。
- これら事故の二次被害として、風評被害、損害賠償負担、信用の失墜、機会損失等。

※ 1. マルウェア(Malicious Software)：悪意あるプログラム。ユーザーの望まない動作をするプログラム

2. セキュリティリスクに対する免責

- ソフトウェア使用許諾契約書の第 4 条（免責）に準ず。

3. セキュリティ対策事例

- 初期パスワードを変更する。（パスワード設定方法は、ご使用の製品の解説書/マニュアルを参照してください）
- パスワード強度の高いものを設定する。
- 定期的にパスワードを変更する。
- 不要なネットワークサービスや、不要な機能を停止(無効化)する。
- ネットワーク接続機器において、ネットワークでのアクセス元を制限する。^{※2}
- ネットワーク接続機器において、ネットワークの解放ポートを制限する。^{※2}
- 専用ネットワークや VPN^{※3} など閉域網を使ってネットワークを構築する。

※ 2. 設定方法はネットワーク機器のメーカー各社へお問い合わせください。

※ 3. VPN(Virtual Private Network)：通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三者が 侵入することができない、安全なネットワークです。

不正アクセスの手段や抜け道(セキュリティホール)は、日夜新たに発見されており、それを防ぐ完璧な手段はありません。インターネット接続には、常に危険が伴うことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、セキュリティ対策を行うことを強くおすすめします。

4. 通信の暗号化

本製品を「暗号化非対応の通信プロトコル」または「通信の暗号化が無効な状態」でご使用される場合、通信の安全性が保護された通信環境（VPN 環境、専用線を経由した接続環境、物理的／論理的に保護されたネットワーク環境）においてのみご利用ください。

本製品で利用している通信プロトコルの暗号化有無、出荷時設定は下記となります。

【Ver.9.00 以降の出荷時設定】

機能	出荷時設定	通信プロトコル	暗号化	説明
Web サーバ	有効	HTTPS	TLS	HTTP は HTTPS に転送
データ転送(FTP)	無効	FTP	非対応	
		SFTP	SSH	SolarView Air クラウドサーバ専用
メール送信	無効	SMTP	非対応	
		SMTP over SSL SMTP(STARTTLS)	SSL/TLS	
パワコン通信	無効	各社仕様による	非対応	
Modbus サーバ	無効	Modbus/TCP	非対応	
SolarView 間通信	無効	独自 UDP 通信	非対応	
FTP サーバ	無効	FTP	非対応	
SSH サーバ	無効	SSH	SSH	当社メンテナンス専用。鍵認証

【Ver.9.00 未満の出荷時設定】

機能	出荷時設定	通信プロトコル	暗号化	説明
Web サーバ	有効	HTTP	非対応	
データ転送	無効	FTP	非対応	
		SFTP	SSH	SolarView Air クラウドサーバ専用
メール送信	無効	SMTP	非対応	
		SMTP over SSL SMTP(STARTTLS)	SSL/TLS	
パワコン通信	無効	各社仕様による	非対応	
Modbus サーバ	無効	Modbus/TCP	非対応	
SolarView 間通信	有効	独自 UDP 通信	非対応	
FTP サーバ	有効	FTP	非対応	
SSH サーバ	無効	SSH	SSH	当社メンテナンス専用

5. 外部ストレージの利用制限

意図せずに外部ストレージ（USB メモリ）を接続された場合、情報の漏洩、マルウェアへの感染の脅威があります。このリスクを軽減する為に Ver.9.00 以降では出荷時設定では USB メモリは利用不可にしております。機能が必要な場合、リスクをご理解頂いた上で USB メモリの設定を有効にしてください。

Ver.9.00 未満では USB メモリの制限は行われません。

6. 機器の廃棄

■破棄時の注意事項

廃棄、譲渡、または中古販売する場合、製品内に残留する情報資産が第三者に取得されるリスクがあります。製品内には、以下のような情報が保存されている可能性があります。

- ・利用者が設定したネットワーク設定（IP アドレス、証明書等）
- ・認証情報（ユーザー名、パスワード、鍵情報）
- ・稼働ログ、通信ログ
- ・外部サービスとの接続情報

これらの情報が消去されないまま製品を手放した場合、不正アクセス、なりすまし、情報漏えい等のサイバーセキュリティ上のリスクが発生する恐れがあります。

廃棄業者へ依頼する場合、情報漏洩防止契約等、法令や業界ガイドラインに準拠した処分方法を行ってください。

■データの初期化手順

お客様の設定情報が残らないように製品を初期化してください。初期化は DIP-SW 操作にて実施可能です。

（付録.こんな時はどうすればいいの？ Q&A「Q12.製品を初期状態に戻せますか？」を参照）

目次

1.	初期設定	1
1.1.	本製品に接続する	2
1.2.	初期設定を行う	5
	パワコンの設定を行う	5
	サービスを起動する	10
2.	スライドショーで見せる	14
2.1.	工場出荷時設定で表示されるスライド	14
2.2.	スライドショーで表示されるアイコン	19
3.	Web ブラウザで計測データを見る	20
3.1.	現在値を見る	20
■	発電所全体を見る	20
■	パワコン毎に見る	21
3.2.	過去の計測値を見る	23
■	日報を見る	23
■	月報を見る	26
■	年報を見る	27
3.3.	計測データをダウンロードする／表形式で見る	28
3.4.	パワコンの状態を確認する	31
3.5.	運転履歴を確認する	33
■	運転履歴を見る	33
■	運転履歴を削除する	36
3.6.	スライドショーを Web ブラウザで見る	37
3.7.	システム情報を確認する	38
4.	設定する	39
4.1.	メール送信機能を使う	39
■	メールサーバの設定を行う	40
■	メールの送信先／送信条件を設定する	42
4.2.	パワコン異常検出時の履歴保存／メール送信動作を設定する	43
4.3.	スライドショーの表示内容を変更する	45
■	テーマを変更する	46
■	フォントを変更する	48
■	ページ表示を表示する	49
■	時計を表示する	49
■	パワコン異常時にアイコンを表示する	50
■	パワコン通信異常時にアイコンを表示する	50
■	スライドショーの背景を変更する	51
■	スライド毎の設定を変更する	52
■	各スライドの表示時間を設定する	55
■	各スライドにコメントを入力する	55

■	スライドショーにスライドを追加する	56
■	スライドショーに使う画像ファイルを登録する	65
4.4.	接点監視機能を使う	70
■	接点監視機能を設定する	70
■	接点信号の状態を見る	73
■	接点信号の履歴を見る	73
4.5.	ユーザー情報を設定する	74
■	ユーザーを登録する	74
■	ユーザーを削除する	74
■	認証画面の範囲を変更する	75
4.6.	システム日時を変更する	76
4.7.	ネットワーク設定を変更する	78
■	IP アドレスの設定	78
■	DNS を設定する	80
■	ネットワーク導通のチェックを行う	81
4.8.	LED 表示盤の表示内容を変更する	82
4.9.	計測データファイルを転送する	85
4.10.	接続しているディスプレイの種類を変更する	88
4.11.	Web ブラウザから本体を再起動する	89
4.12.	設定をバックアップする	90
■	バックアップファイルを作成する	90
■	バックアップファイルをダウンロードする	91
■	バックアップファイルを削除する	91
■	バックアップファイルをアップロードして設定を復元する	92
4.13.	機器を新しいものに交換し、設定／計測データを移行する	94
■	運用中の機器で「移行用バックアップ」を作成する	94
■	運用中の機器を取り外し、新しい機器に取り替える	95
■	新しい機器に「移行用バックアップ」をアップロードし「更新」を行う	95
■	新しい機器で移行した設定／計測データが反映されているか確認。必要あれば再設定を行う	96
■	新しい機器で動作確認を行う	96

付録 98

➤	FTP で計測データを取得する	98
➤	計測データファイルのフォーマット	100
➤	送信メールのフォーマット	103
■	パワコン異常時送信メール例	103
■	パワコン通信異常時送信メール例	103
■	テストメール例	104
■	接点監視メール例	104
■	拡張 BOX(SV-OPT-CNT2DI8-BOX)の接点監視メール例	104
■	定期メール	105
➤	Modbus サーバを使用する（開発者向け機能）	106
➤	デジタルサイネージと連携する	107
■	スライドショーを表示	107
■	計測値を表示	108
■	スライドショーをサイネージプレイヤー／Web ブラウザのフレームに埋め込む時の注意事項	109

➤	HTTP 接続を有効にする (Ver.9.00 以降)	110
➤	サイト証明書を更新する (Ver.9.00 以降)	111
■	サイト証明書を更新	111
➤	USB メモリに計測データ(CSV ファイル)をコピーする	112
■	USB メモリを使う前の準備	112
■	USB メモリの機能を有効にする (Ver.9.00 以降)	112
■	USB メモリへ計測データをコピーする	113
■	コピーしたデータをパソコンで確認する	114
➤	オプション製品「SV-OPT-CNT2DI8-BOX」を利用する	115
■	SV-OPT-CNT2DI8-BOX を利用できるように設定する	115
■	売電電力量を確認する	117
■	買電電力量を確認する	117
■	SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号を使って異常監視を行う	118
■	SV-OPT-CNT2DI8-BOX のネットワーク設定を変更する	119
■	SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号のノイズフィルタ設定を変更する	119
■	接点信号、パルス信号をテスト入力する	119
➤	こんな時はどうすればいいの？ Q&A	120

1. 初期設定

本製品の初期設定は以下の手順で行います。

- ① 本製品にパソコンの Web ブラウザを使って接続する
- ② 本製品にログインする
- ③ 初期パスワードを変更する (Ver.9.00 以降)
- ④ 本製品の使用許諾に同意する
- ⑤ パソコンの設定を行う

本製品とパソコンを接続する方法につきましては商品添付の【 かんたんセットアップガイド 】を参照してください。

1.1. 本製品に接続する

操作内容

No.1 設定用パソコンで Web ブラウザを起動

No.2 Web ブラウザに本製品のアドレスを入力して本製品に接続

アドレスに「 http://192.168.1.101 」と入力して【 ENTER 】キーを押してください。

※Ver.9.00 以降の場合は「 https://192.168.1.101 」でもアクセスできます。



Ver.9.00 以降の場合、本製品のサイト証明書が未認証な為、下記の警告が表示されます。

本製品にアクセスするために【詳細設定】をクリックします。



続いて【192.168.1.101 に進む (安全ではありません)】をクリックします。



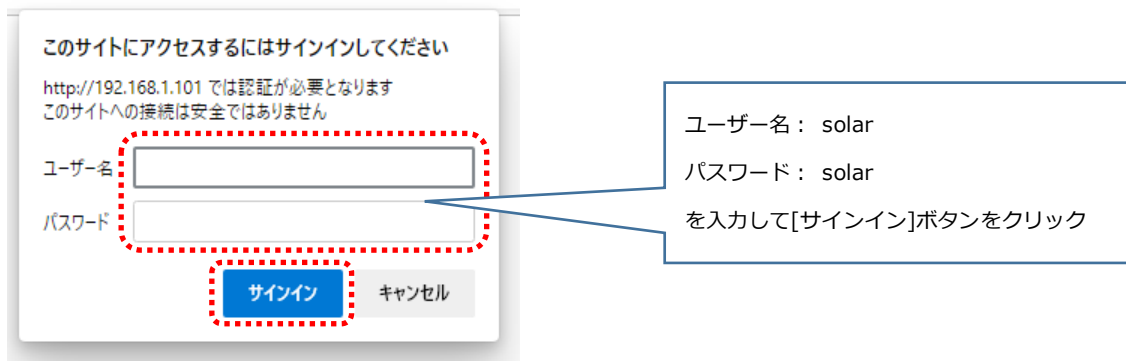
クリックすると本製品に接続できるようになります。

「本製品の IP アドレスの変更」や「Web ブラウザのキャッシュを削除」したりすると警告は再び表示されるようになります。再表示された場合には同様の手順で接続を許可してください。

No.3 ログインする

ログイン画面が表示されます。

ユーザー名、パスワードを入力してログインします。



No.4 TOP 画面の表示

本製品に接続できると「TOP 画面」が表示されます。

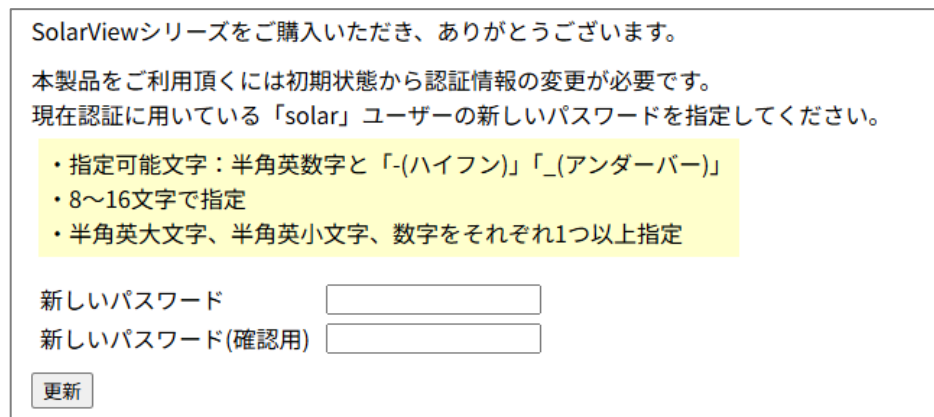
このまま 2 秒待機するか「Enter」をクリックするとソフトウェア使用許諾契約書の同意画面が表示されます。

※本画面が表示されずに「ソフトウェア使用許諾契約書の同意画面」になる場合もあります。

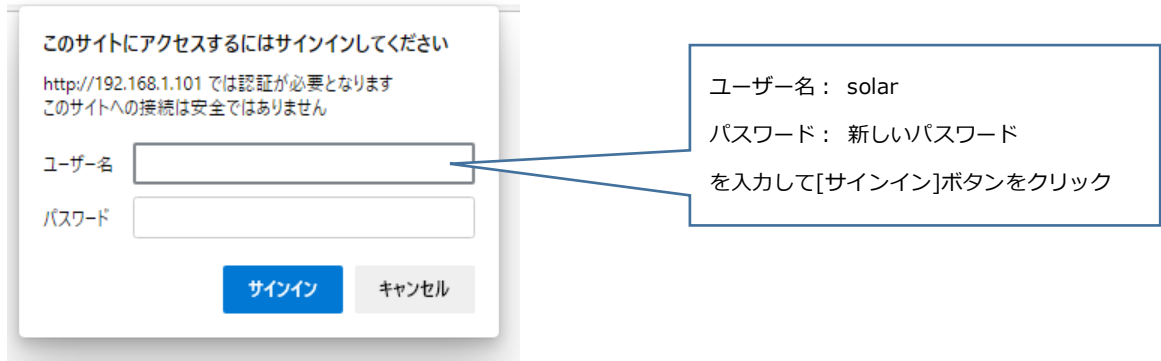


No.5 パスワードを初期状態から変更する（Ver.9.00 以降）

最初のログイン後に「ソフトウェア使用許諾契約書」の画面ではなく、パスワードの変更画面が表示されます。画面に表示されているルールに沿って新しいパスワードを入力し[更新]ボタンをクリックします。



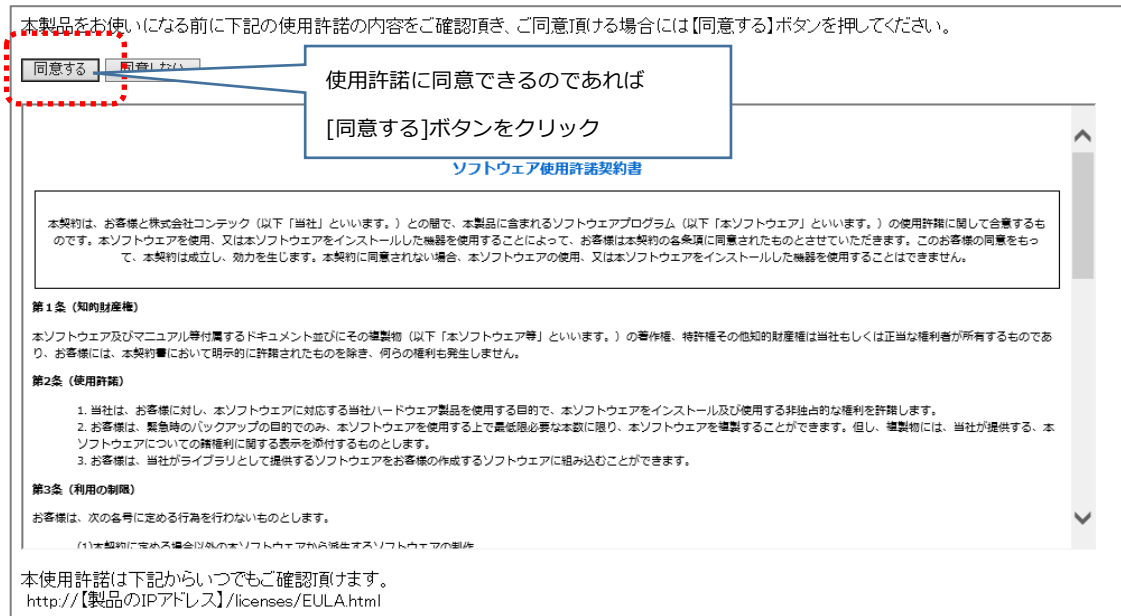
入力したパスワードはユーザー「solar」の新しいパスワードになります。
パスワード更新すると再度認証となりますので新しいパスワードを入力して認証を行ってください。



入力したパスワードは忘れないようにお客様ご自身で適切に管理してください。

No.6 ソフトウェア使用許諾契約書を確認し、許諾に同意する

TOP 画面に続いてソフトウェア使用許諾契約書の同意確認の画面が表示されます。



契約書の内容をよく確認し、同意できる場合には「同意する」をクリックします。

本契約書の内容に同意頂けない場合には本製品のご利用はできません。

※ソフトウェア使用許諾契約書の内容に同意頂けば、それ以降はこの画面は表示されません。

1.2. 初期設定を行う

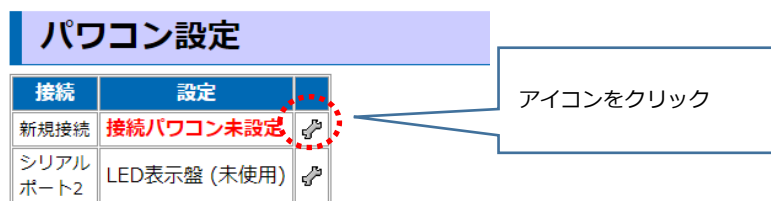
本製品を使用するには「パワコンの設定」と「サービスの起動」の操作が必要です。
初期設定では最初にパワコンの設定を行い、最後にサービスの起動を行います。
他項目の設定につきましてはご利用される機能に応じて設定を行います。

パワコンの設定を行う

操作内容

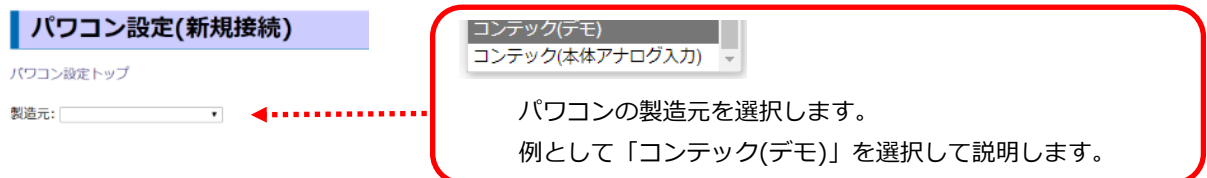
No.1 設定画面を開く

パワコンが未設定な状態（工場出荷時）でログインすると、パワコン設定画面が表示します。
「新規接続」右の設定アイコンをクリックしてパワコンの設定画面を表示します。



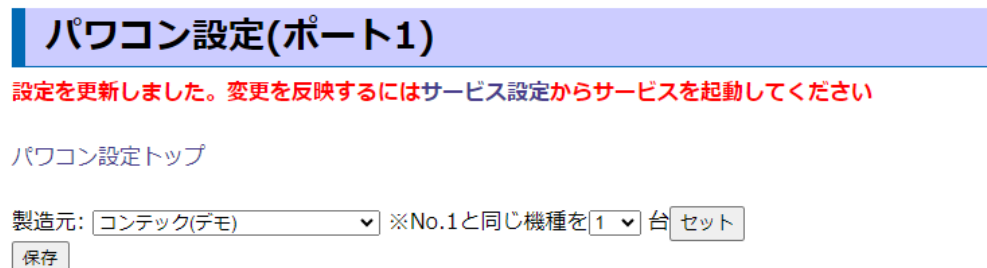
No.2 製造元を選択する

はじめにパワコンの製造元を選択します。
リストから接続するパワコンの製造元を選択してください。



2 GB モデルでは最大で 9 台、4GB モデルでは最大 30 台までのパワコンに接続できます。
※パワコンの機種によってはパワコン側の仕様により上記の台数まで接続できないことがあります。

製造元を選択すると以下のメッセージが表示され、製造元が確定します。



製造元を選択しただけではパワコンの設定は完了していません。
[サービス設定]の部分はクリックせずに引き続きパワコンの機種などの設定を行います。

No.3 「機種」、「局番」、「定格／契約容量」、「日射・気温レンジ」を設定する

① 「機種」の設定

未使用
未使用
10kW

適切な機種を選択します。

選択できる機種は製造元によって異なります。

※製造元を選択すると機種が選択できるようになります。

④ 「日射強度と気温のレンジ」の設定

各レンジに適切な値を入力してください。

初期値に「＊」が入力されている場合は変更不要です。

製造元: コンテック(デモ) ※No.1と同じ機種を1台 セット

保存

[日射強度] 1Vの時の値 (4mAの時の値): * 5Vの時の値 (20mAの時の値): * kW/m²

[気温] 1Vの時の値 (4mAの時の値): * 5Vの時の値 (20mAの時の値): * °C

No.	機種	定格 (kW)	契約容量 (kW)	局番	積算電力量設定(kWh)				
					時	今日	今月	今年	累積
1	10kW	10	10	1	0	0	0	0	0
2	10kW	10	10	2	0	0	0	0	0
3	未使用			3	0	0	0	0	0
4	未使用			4	0	0	0	0	0
5	未使用			5	0	0	0	0	0
6	未使用			6	0	0	0	0	0
7	未使用			7	0	0	0	0	0
8	未使用			8	0	0	0	0	0

② 「局番」の設定

機種を指定したパワコンの局番を選択します。

③ 「定格」「契約容量」の設定

パワコンの定格と契約容量を指定します。

パワコンの定格 …パワコンの機器としての最大定格を入力します。

契約容量 …系統連系の際に電力会社に申請している容量を入力します。

※必ず「パワコンの定格」≥「契約容量」となるように入力します。

例). 定格 10kW のパワコンを 5kW で運用している場合は定格に「10」を、
契約容量には「5」を入力します。

1 台目の設定が終わったあとに「※No.1 と同じ機種を「n」台」の「セット」ボタンをクリックすると No.1 で設定したパワコンの「機種」「定格」「契約容量」が指定された台数分コピーされます。機種、定格が同じであれば有効に活用してください。

①～④の項目の入力が完了したら「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

No.4 パワコン設定を保存し「サービス設定」画面に移動する

パワコンの設定を保存した時に表示されたメッセージから「サービス設定」をクリックします。

パワコン設定(ポート1)

設定を更新しました。変更を反映するにはサービス設定からサービスを起動してください

パワコン設定トップ

製造元: コンテック(デモ) ※No.1と同じ機種を1台 セット

保存

[サービス設定]をクリック

■ アナログ信号（DC 1～5V）で発電電力を計測する

本製品ではパワコン／電力計と通信しなくてもアナログ信号（1～5V）を用いて発電電力を計測することも可能です。信号の入力については商品添付の「SV-CPT-MC310 Series 解説書」を参照ください。4～20mA の電流信号から取り込む場合、「信号変換器を用いる」もしくは「シャント抵抗等で信号変換回路を用意する」等で電圧信号に変換してから接続してください。アナログ入力から取り込んだ値はパワコン 1 もしくはパワコン 2 の発電電力として扱われます。

本体アナログ入力を使って発電電力を計測するには「サービス設定」でアナログ入力の設定を行う必要があります。作業する際にはサービスを停止した状態で実施してください。

サービス設定画面から【アナログ入力設定】をクリックします。



サービス設定

サービス: **停止中** [起動] [停止]

名称: SVC

定格発電電力(合計): 10 kW [パワコン設定の動作容量から算出]

環境計測設定: 日射・気温の取込み元: [未使用] **[アナログ入力設定]**

管理者のメールアドレス: svc@localdomain (15/300文字)

メール送信: パワコン異常時: [無効] パワコン通信異常時: [無効] 定期報告: [無効]

スライドショー: テーマ: [一般1] フォント: [ゴシック] ページ表示: [1:1] 時計表示: [M月D日(曜) h:mm] パワコン異常表示: [有効] 通信異常表示: [有効] 名称表示: [無効]

ディスプレイとの接続: [TV接続(DVI-HDMI変換)]

環境係数: CO₂換算: 0.3145 kg-CO₂/kWh クスノキ換算: 0.00257 本/kg-CO₂

Modbusサーバ: [無効] アドレス割当て

発電開始日: ☒ 自動判別 ☐ 手動設定

[詳細設定]

アナログ入力設定

サービス設定トップ

Ch	信号名称	1Vの時の値 (4mAの時の値)	5Vの時の値 (20mAの時の値)	入力電圧	変換後の値
0	日射強度(kW/m ²)	0	1.43	0.00	0.00
1	気温(℃)	-20	100	0.00	0.00
2	[未使用]	1	5	0.00	0.00
3	[未使用]	1	5	0.00	0.00

[更新]

アナログ入力の Ch2、Ch3 で発電電力を計測する場合には信号名称から「パワコン発電電力」を選択します。



Ch	信号名称
0	日射強度(kW/m ²)
1	気温(℃)
2	未使用
3	未使用

[更新]

続いて 1V の時の値、5V の時の値を入力し、発電電力の計測レンジを設定します。

最後に【更新】ボタンをクリックしてアナログ入力設定を完了します。

アナログ入力設定が完了したらパワコン設定を行います。

パワコン設定画面を開き、製造元を「コンテック(本体アナログ入力)」にします。

パワコン設定(本体アナログ入力)

パワコン設定トップ

製造元: コンテック(本体アナログ入力) ※No.1と同じ機種を 1 台 セット

保存

[日射強度] 1Vの時の値: 5Vの時の値: kW/m²
(4mAの時の値): (20mAの時の値):
[気温] 1Vの時の値: °C 5Vの時の値: °C
(4mAの時の値): (20mAの時の値):

No	機種	定格 (kW)	契約容量 (kW)	Ch	積算電力量設定(kWh)				
					時	今日	今月	今年	累積
1	アナログ入力	5	5	2		32	12636	12636	12636
2	アナログ入力	5	5	3		0	0	0	0

アナログ入力設定で「信号名称」に「パワコン発電電力」を選択した Ch の機種に「アナログ入力」が表示されます。表示を確認した後に【保存】ボタンをクリックして設定を完了します。

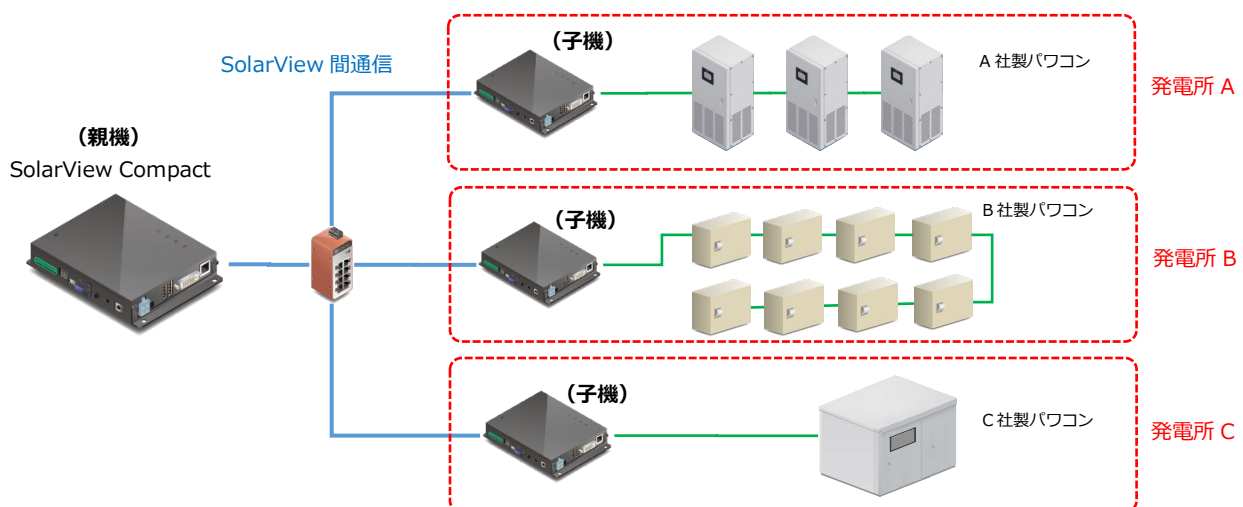
パワコン設定が完了した後はサービス設定画面からサービスを起動し動作を確認してください。

■ SolarView Compact / SolarView Air を 1 台のパワコンとみなして計測する

本製品では「SolarView 間通信サーバ」機能を使うことで SolarView Compact / SolarView Air を 1 台のパワコンとみなすことができ、複数の発電所を一つにまとめて計測することができます。

「SolarView 間通信サーバ」機能を利用する場合の注意事項

- ・親機と子機のネットワークは同一ネットワークになるようにネットワーク設定を行う必要があります。
- ・親機と子機の通信は Ethernet(UDP/IP 通信)を用いますが暗号化はされておりません。
安全なネットワーク環境下でご利用ください。



まとめる側を「親機」、まとめられる側を「子機」として説明します。

親機側ではパワコン設定にて「製造元」で「コンテック(Ethernet)」を選択し、子機それぞれの IP アドレス

を指定します。

子機側では製品のソフトウェアバージョンによって設定の要否が変わります。Ver.9.00 未満では設定は不要ですが、Ver.9.00 以降ではセキュリティ強化の為に出荷時は親機との通信するための「SolarView 間通信サーバ」が無効になっていますので、これを有効にする必要があります。有効にするには子機側で以下の操作を行ってください。

Ver.9.00 以降で「SolarView 間通信サーバ」を有効にする手順

- ①「オプション」→「サービス」→「詳細設定」→「常駐サービス設定」を開く
- ②「常駐サービス設定」画面で「SolarView 間通信サーバ」の自動起動を「有効」に設定する



常駐サービス設定

戻る

システム起動時に自動起動する常駐サービス

サーバ	自動起動	現在の状態	一時起動/停止 ?
FTPサーバ	無効▼	停止中	起動 停止
SolarView間通信サーバ	無効▼	停止中	起動 停止

更新

無効▼
無効
有効

- ③【更新】ボタンをクリックして設定を保存する
- ④システムを再起動する（「オプション」→「再起動」→【再起動】ボタンをクリック）

サービスを起動する

操作内容

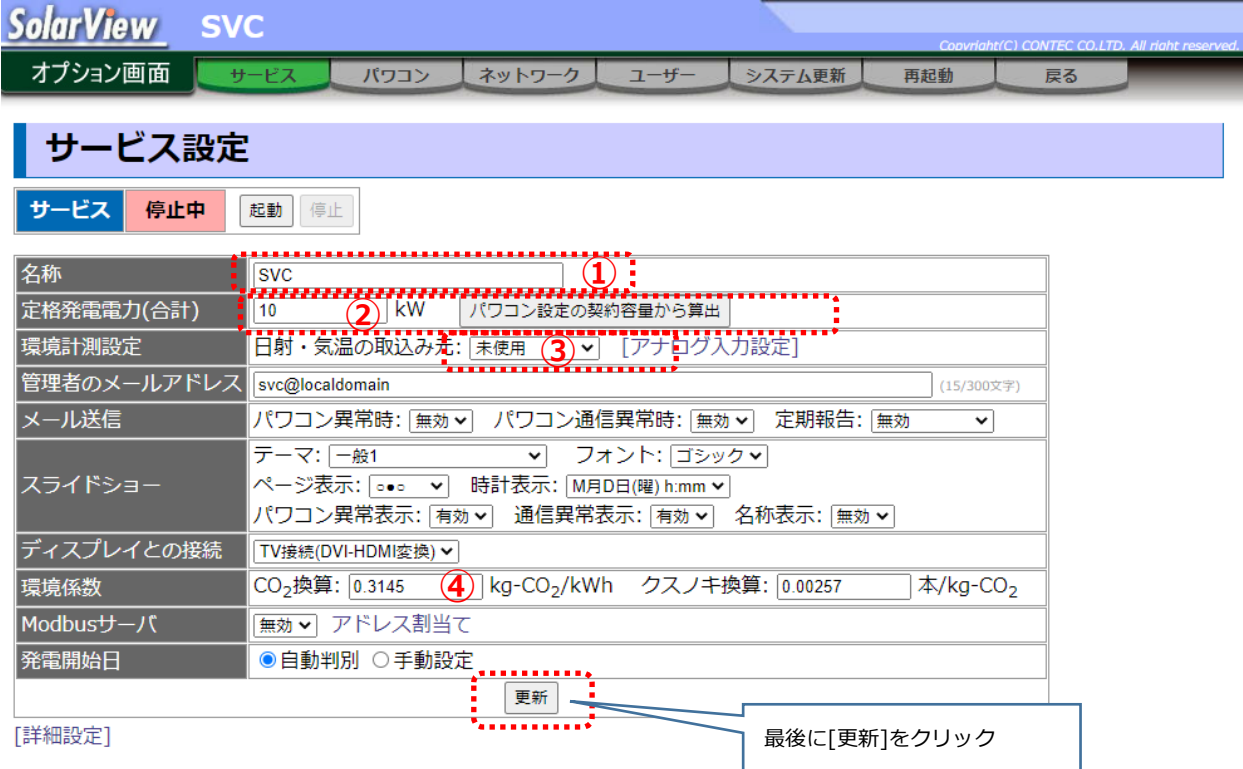
No.1 基本設定を行う

パワコンの設定が終わったら本製品の基本設定を行います。

基本設定では必須の項目と目的によって必要となる項目があります。

初期設定としては下記の必須の項目のみ説明します。

- ① 名称 … 発電所の名称を入力します。画面表示や警報メールで使います。
- ② 定格 … 発電所の発電定格を入力します。日報／月報のグラフ表示で使います。
[パワコン設定の契約容量から算出]をクリックするとパワコン設定で入力した契約容量の合算値をセットします。
- ③ 環境計測設定 … 気象計の接続先を入力します。
- ④ CO₂ 換算係数 … 発電電力 1kWhあたりのCO₂換算の係数を入力します。



SolarView SVC Copyright(C) CONTEC CO.LTD. All right reserved.

オプション画面 サービス パワコン ネットワーク ユーザー システム更新 再起動 戻る

サービス設定

サービス 停止中 起動 停止

名称	SVC ①		
定格発電電力(合計)	10 ② kW	パワコン設定の契約容量から算出	
環境計測設定	日射・気温の取込み先: 未使用 ③ [アナログ入力設定]		
管理者のメールアドレス	svc@localdomain (15/300文字)		
メール送信	パワコン異常時: 無効 パワコン通信異常時: 無効 定期報告: 無効		
スライドショー	テーマ: 一般1 フォント: ゴシック ページ表示: 〇●〇 時計表示: M月D日(曜) h:mm パワコン異常表示: 有効 通信異常表示: 有効 名称表示: 無効		
ディスプレイとの接続	TV接続(DVI-HDMI変換)		
環境係数	CO ₂ 換算: 0.3145 ④ kg-CO ₂ /kWh クスノキ換算: 0.00257 本/kg-CO ₂		
Modbusサーバ	無効 アドレス割当て		
発電開始日	●自動判別 ○手動設定		
		更新	

[詳細設定]

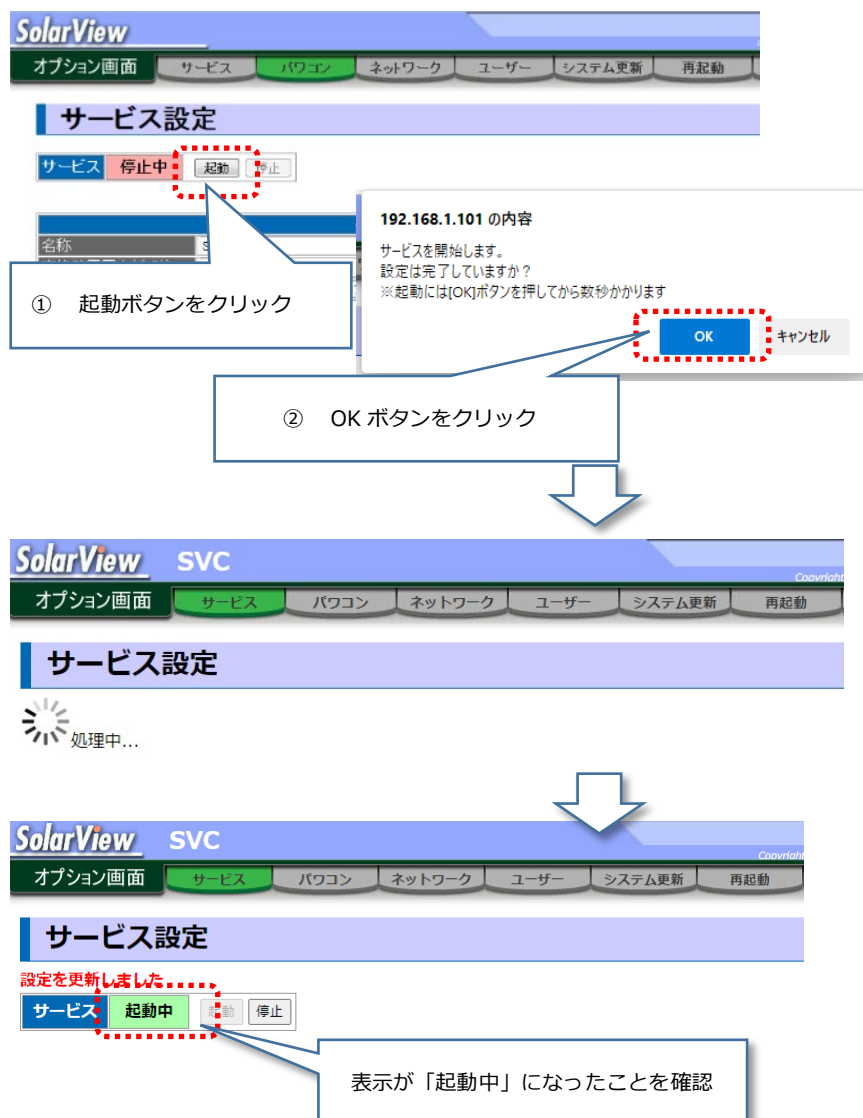
最後に[更新]をクリック

上記項目の設定が完了したら[更新]ボタンをクリックして設定を登録します。

他項目は必要に応じて設定します。

No.2 サービスを起動する

基本設定が完了したらサービスの[起動]ボタンをクリックしてサービスを起動します。



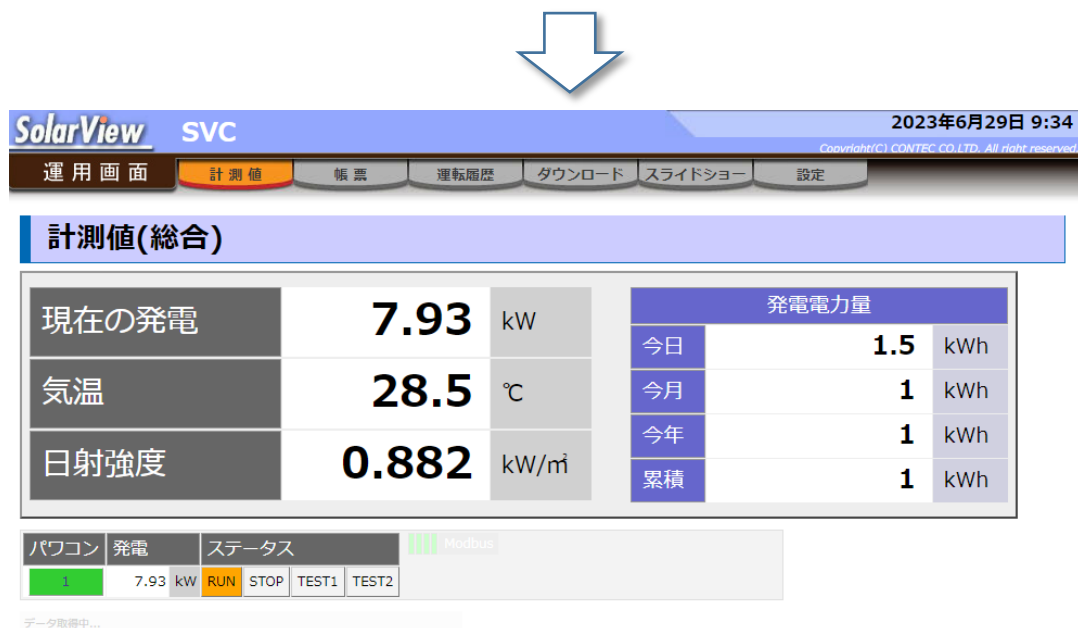
サービスが起動すると、状態表示が「起動中」に切り替わり計測・監視を開始します。

No.3 計測値を確認する

サービスを起動したら計測状態を確認し、本製品が正常に動作しているかを確認します。



Copyright(C) 2007-2023 CONTEC.CO.,LTD. All rights reserved.



計測値（総合）画面が表示されたら各パワコンとの通信状態、計測値を確認します。
状態や計測値の見方は「3.1 現在値を見る」を参照ください。

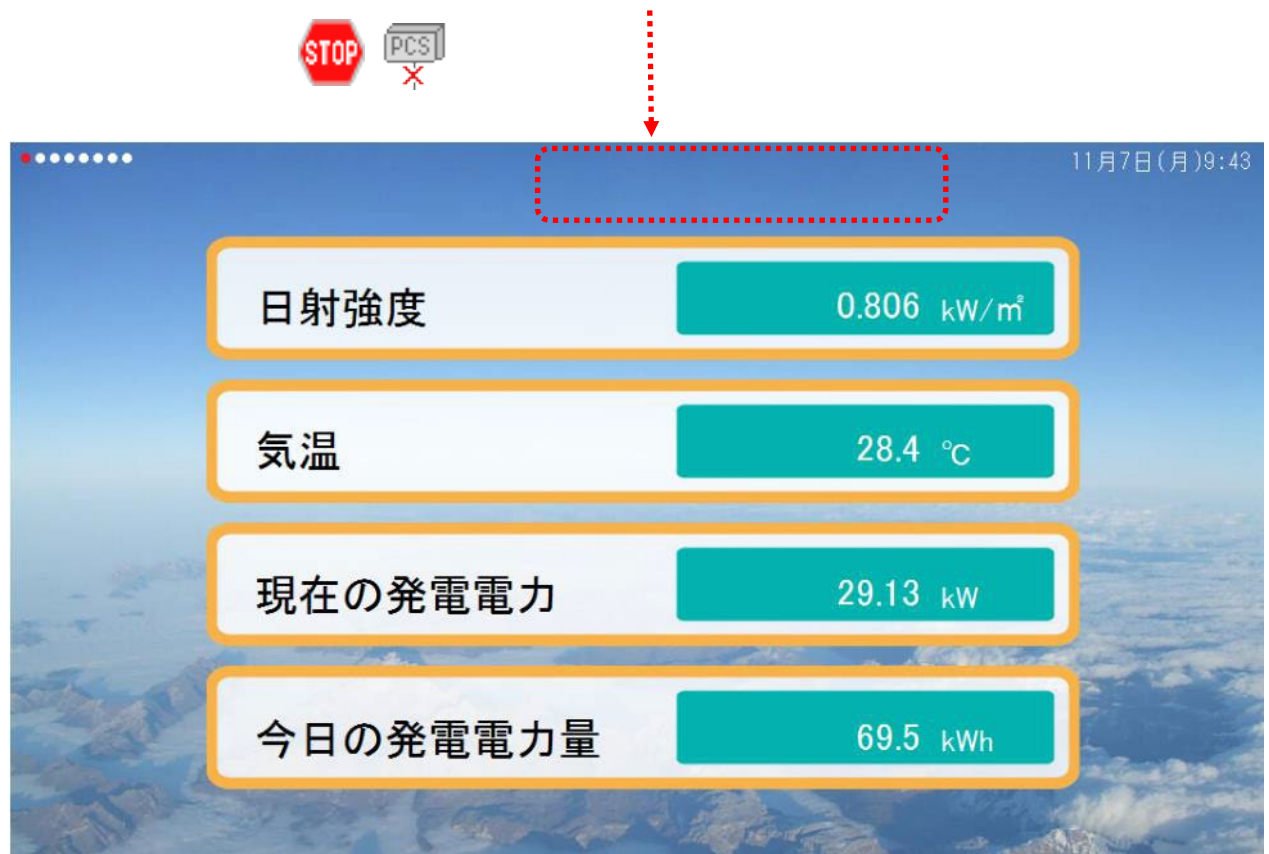
No.4 接続したディスプレイで表示されているスライドショーを確認

本製品にディスプレイを接続している場合には、ディスプレイに表示されている内容を確認します。
ディスプレイを接続しない場合には本項は読み飛ばしてください。

ディスプレイの表示では下記を確認します。

- ・画面上の「サービス停止」アイコン、「パワコン通信異常」アイコンが表示されていないか？
- ・各計測値の表示が正常か？

画面上部に下のアイコンが表示されていないことを確認します。



「サービス停止」「パワコン通信異常」のアイコンが表示されておらず、計測値が正常に表示されていれば、初期設定は完了です。

画面を確認して以下の状態となっている場合、各項目の設定が適切にされているかをご確認ください。

- ・「サービス停止」「パワコン通信異常」のアイコンが表示されている
- ・計測値が正常に表示されていない

No.5 必須設定の完了

ここまでの作業で必須な設定は完了です。これ以降は必要に応じて設定を行ってください。

設定を行う上で「サービス」を停止していないと設定できない項目（パワコン設定等）があります。

※サービスが起動中の時には設定の変更ボタンが有効にならないものがあります。

このような項目の設定を行う場合には「サービス」の停止を行ってから設定を変更してください。

設定変更後は忘れずにサービスを起動してください。

2. スライドショーで見せる

※ディスプレイは本製品に含みません。別途ご用意ください。

本製品は電源を入ると、接続されたディスプレイにスライドショーを表示します。

工場出荷時設定では 8 スライド（計測値 x3、環境コンテンツ x3、日報 x1、月報 x1）が設定されており 10 秒毎にスライドが切り替わります。

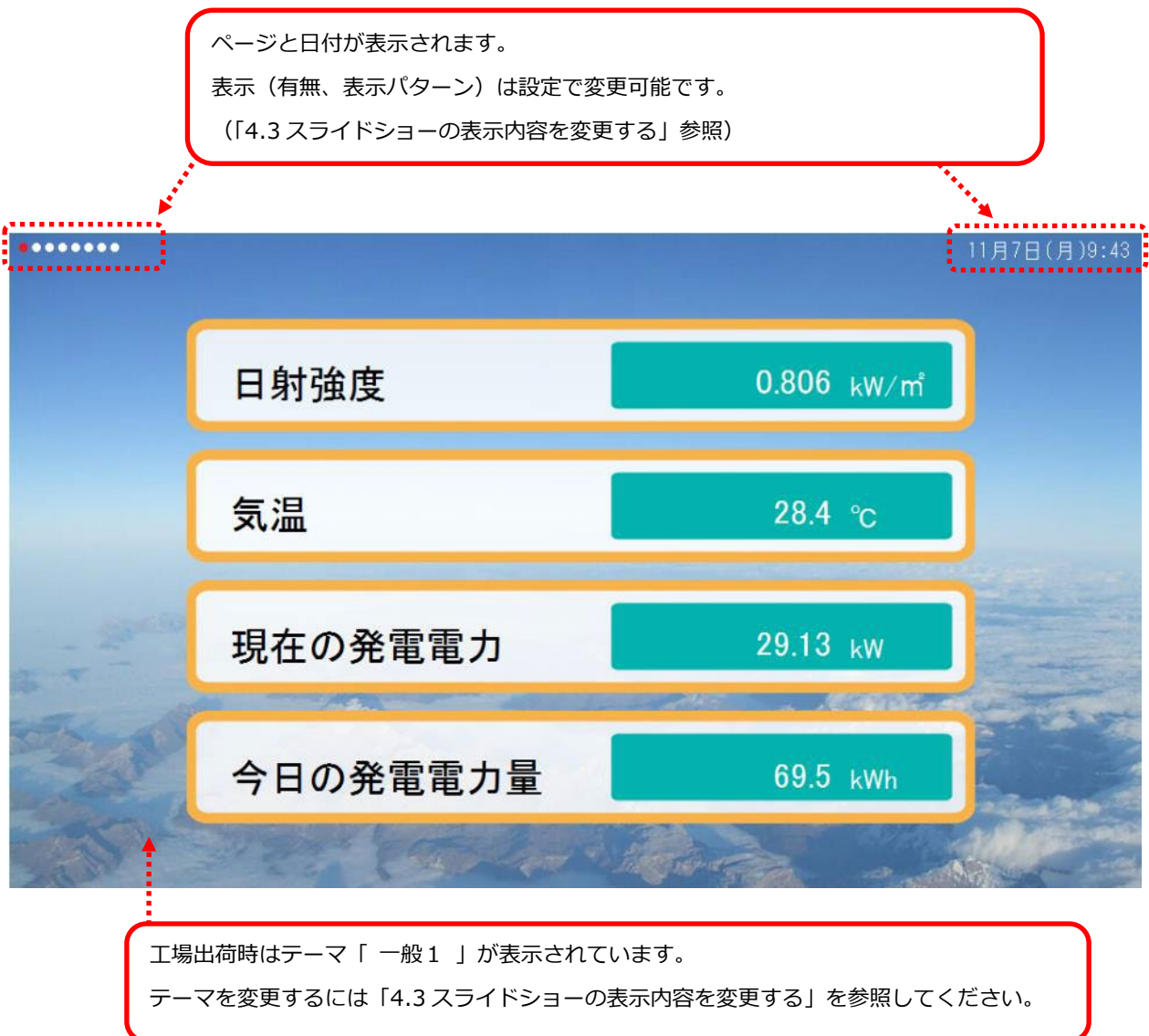
表示時間や表示内容を変更したい場合は「4.3 スライドショーの表示内容を変更する」を参照ください。

2.1. 工場出荷時設定で表示されるスライド

工場出荷時設定では以下のスライドが 10 秒毎に No.1 から No.8 まで順に表示されます。

スライドショー構成

No.1 「計測値(現在)」



No.2 「計測値(積算)」



No.3 「計測値(環境換算)」



No.4 「環境コンテンツ（自然エネルギーの種類）」

11月7日(月)9:47

自然エネルギーの種類

太陽光発電以外にも地球環境にやさしい発電システムがあります。

太陽光発電以外の自然エネルギーを使った発電

風力発電

風の力を利用して風車を回して発電するシステムです。



水力発電

落ちてくる水の勢いで水車を回転させて発電するシステムです。



地熱発電

地熱（地下の高温熱源）の熱エネルギーによって発生する水蒸気を利用して発電するシステムです。



バイオマス発電

農作物、家畜排泄物や生ごみ、木くず等を燃焼させて発電するシステムです。



その他に、水素エネルギー、海洋エネルギー、波力エネルギーなどがあります。

No.5 「環境コンテンツ（省エネと防災機能）」

11月7日(月)9:47

省エネと防災機能

今、日本では地球温暖化や東日本大震災で省エネと防災が注目を集めています。

太陽光発電は省エネと防災に大活躍！

**経済的
効率性**

年太陽光発電10kWシステムを設置すると、年間予想発電量は約10,000kWh/年で約**12~24**万円程度の電気代削減になります。

参考: JPEA太陽光発電協会 参考: 各電機事業者電気料金メニュー料金単価

防災機能

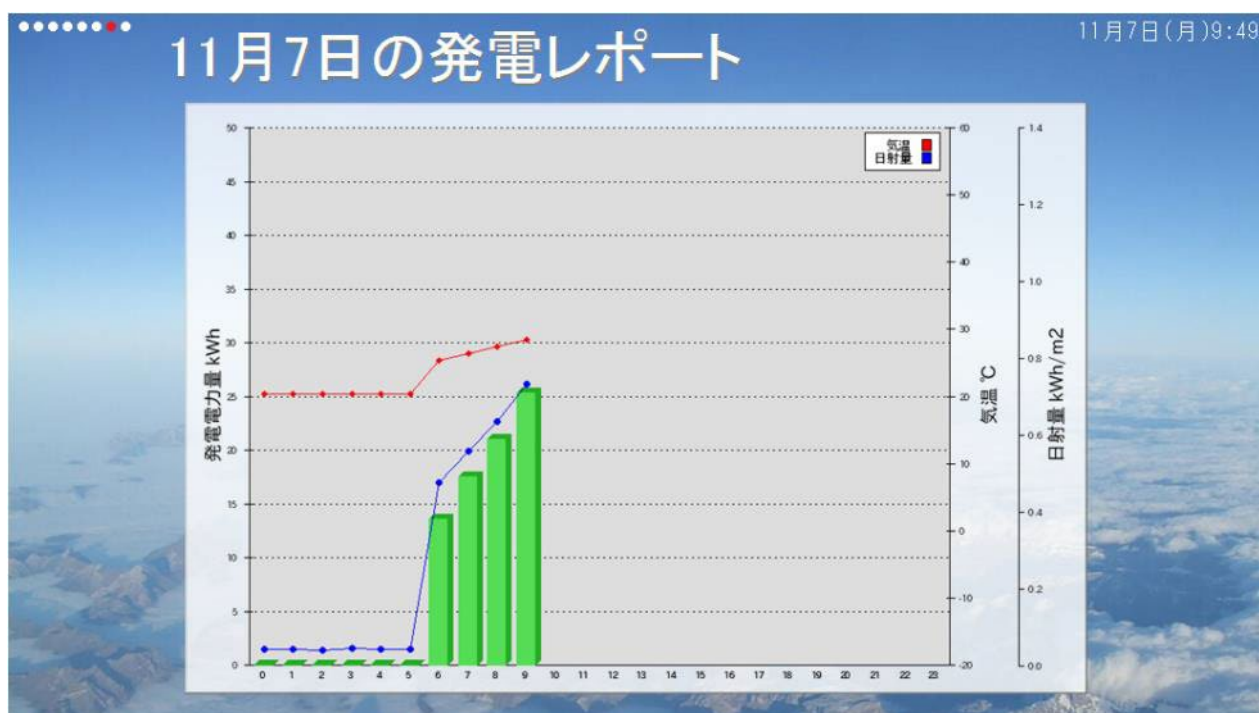
大規模な地震などの被災時に電力会社からの電力供給が停止した場合、必要な設備を装備することで非常用電力として活用できます。

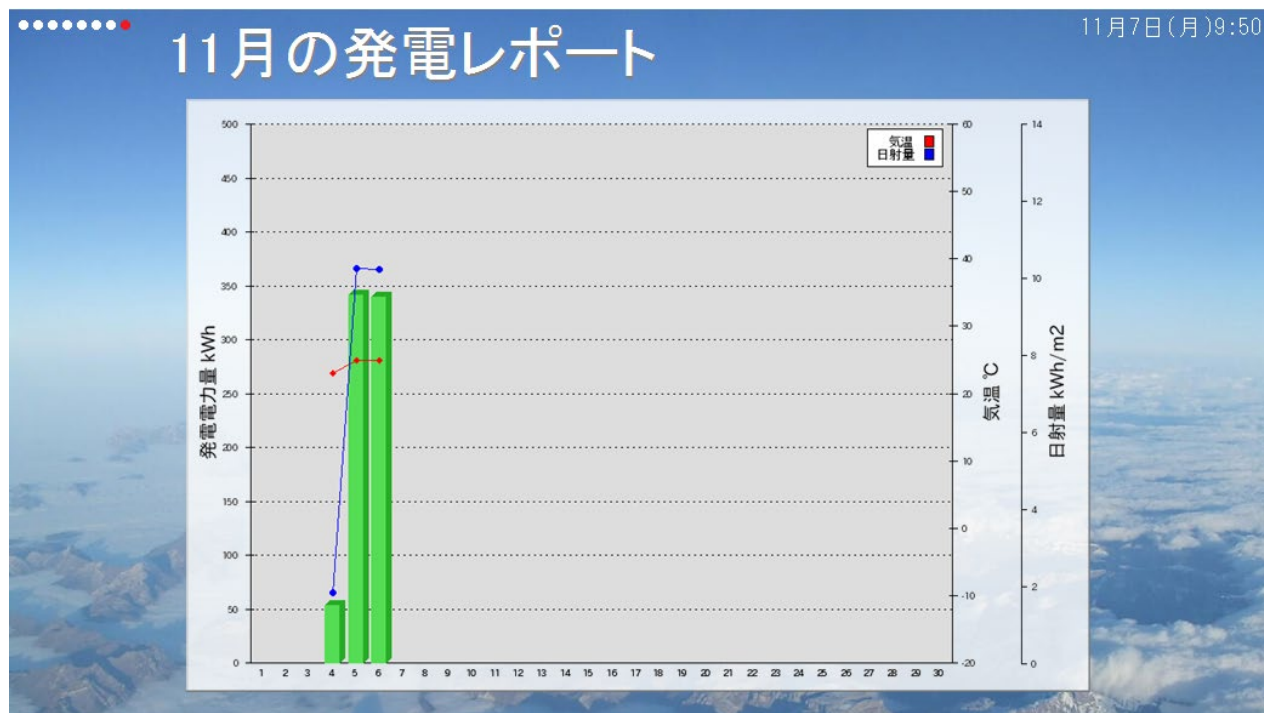
必要な設備: ①防災対応機能付きパワーコンディショナ ②防災負荷専用配線 ③蓄電池 等

No.6 「環境コンテンツ（太陽光発電の環境貢献）」



No.7 「日報」





2.2. スライドショーで表示されるアイコン

パワコンの異常など、重要な情報がある場合にはディスプレイ上部に状態アイコンを表示します。

上部に状態アイコンを表示



表示される状態アイコンには以下があります。

状態アイコン	表示条件
	サービスが起動していない。
	1台以上のパワコンで通信異常が発生している。
	1台以上のパワコンで異常が発生している。
	USBメモリへ計測値データをコピーしている。
	時計用電池の交換が必要な状態。
~	デジタル入力信号がONになっている（接点信号設定有効時） ※1~4がそれぞれデジタル入力信号1~4に対応



サービスが起動していない。



1台以上のパワコンで通信異常が発生している。



1台以上のパワコンで異常が発生している。



USBメモリへ計測値データをコピーしている。



時計用電池の交換が必要な状態。



デジタル入力信号がONになっている（接点信号設定有効時）
※1~4がそれぞれデジタル入力信号1~4に対応

状態アイコンの他にスライドショーの表示スライドを固定している場合、ページ表示のところに「||」が表示され、同じスライドが表示され続けます。スライド固定を解除する方法は「4.3.スライドショーの表示内容を変更する」を参照ください。

3. Web ブラウザで計測データを見る

※Web ブラウザで本製品に接続する手順は省略します。手順は「1.1 本製品に接続する」を参照ください。

本製品では計測したデータを Web ブラウザ経由で見ることができます。

Web ブラウザ経由で見ることができるのは以下のデータです。

- ・現在値
- ・過去の計測値（帳票化された日報、月報、年報）
- ・CSV ファイル（1 分毎～1 ヶ月毎までの計測データ）

3.1. 現在値を見る

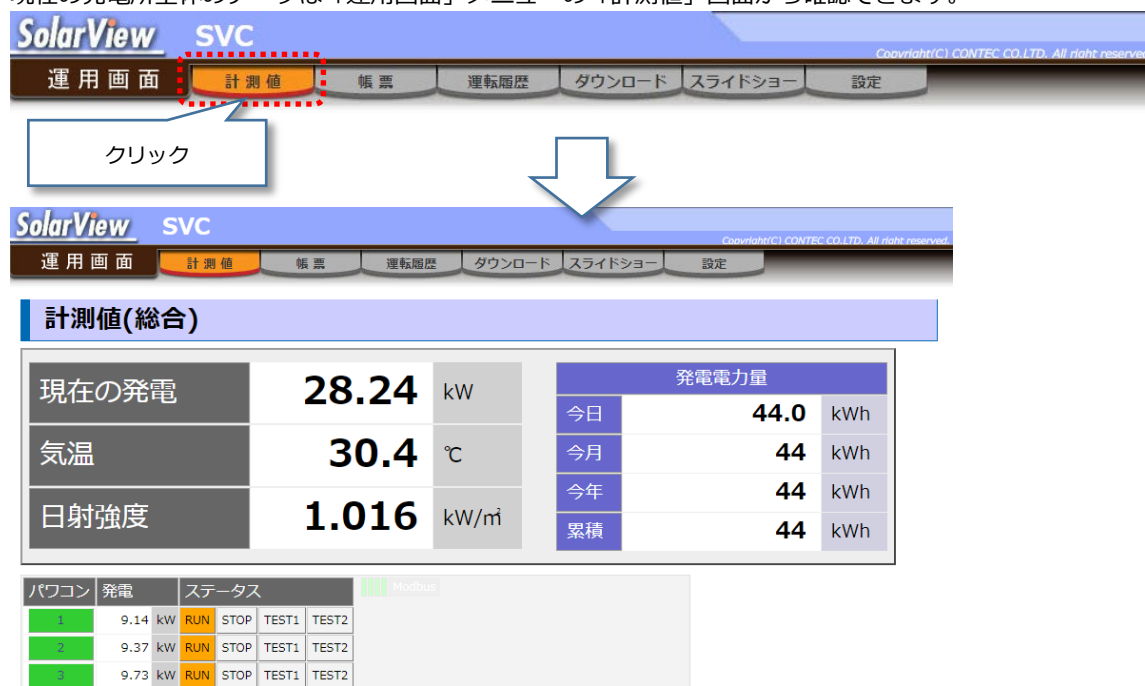
■ 発電所全体を見る

Web ブラウザで本製品にアクセスし、「運用画面」メニューの「計測値」をクリックします。

操作内容

No.1 「計測値（総合）」画面の表示

現在の発電所全体のデータは「運用画面」メニューの「計測値」画面から確認できます。



The screenshot shows the SolarView SVC web interface. The top navigation bar includes '運用画面' (Operation Screen), '計測値' (Measurement), '帳票' (Reports), '運転履歴' (Operation History), 'ダウンロード' (Download), 'スライドショー' (Slide Show), and '設定' (Settings). The '計測値' menu item is highlighted with a red dashed box and a blue arrow pointing to it with the label 'クリック' (Click). Below this, the '計測値(総合)' (Overall Measurement) screen is displayed. It features a table with current power generation, temperature, and irradiance, and a summary table of power generation for today, this month, this year, and cumulative.

現在の発電		28.24	kW
気温	30.4	℃	
日射強度	1.016	kW/m ²	

発電電力量	
今日	44.0 kWh
今月	44 kWh
今年	44 kWh
累積	44 kWh

パソコン	発電	ステータス
1	9.14 kW	RUN STOP TEST1 TEST2
2	9.37 kW	RUN STOP TEST1 TEST2
3	9.73 kW	RUN STOP TEST1 TEST2

パソコンが 10 台以上の場合はパソコン表示部が下記のような集約表示（パソコンステータス省略）に変わります。

パソコン (デモ)											
1	6.25 kW	15	6.15 kW	11	5.92 kW	15	6.03 kW	21	5.55 kW	26	6.24 kW
2	6.19 kW	15	5.40 kW	12	6.20 kW	17	5.65 kW	22	5.85 kW	27	5.50 kW
3	6.23 kW	15	6.24 kW	13	5.59 kW	18	6.00 kW	23	5.98 kW	28	5.99 kW
4	5.57 kW	15	5.52 kW	14	5.92 kW	19	5.41 kW	24	5.66 kW	29	6.28 kW
5	6.25 kW	15	6.20 kW	15	6.05 kW	20	6.16 kW	25	6.13 kW	30	6.09 kW

■ パワコン毎に見る

計測値（総合）画面で表示されているパワコンの数字部をクリックします。

操作内容

No.2 パワコン毎の計測値を表示

パワコン No.の「1」の部分をクリックすると該当パワコンのみの表示になります。



SolarView SVC 2016年0月12日 16:52

運用画面 | **計測値** | 帳票 | 運転履歴 | ダウンロード | スライドショー | 設定

計測値(総合)

現在の発電	67.44 kW	気温	28.5 °C	日射強度	0.871 kW/m²
免電電力量	今日 20.6 kWh	今月 20 kWh	今年 20 kWh		

パワコン1 計測値 デモ 10kW

総合 1 2 3

パワコン状態	正常	日射強度	0.890 kW/m²	日射量(分積算)	0.0140 kWh/m²	ステータス1	0000
通信状態	正常	気温	28.4 °C	気温(分平均)	28.4 °C	ステータス2	0000
直流電圧	350.3 V	予備入力1	0.000 V	直流電圧(分平均)	319.7 V	ステータス3	0000
直流電流	18.35 A	予備入力2	0.000 V	直流電流(分平均)	18.00 A	ステータス4	0000
直流電力	6.43 kW	データ計測回数	10 回	直流電力量(分積算)	0.1084 kWh	ステータス5	0000
交流電圧	101.5 V	発電電力量(分)	0.0905 kWh	交流電圧(分平均)	102.8 V	ステータス6	0000
交流電流	55.76 A	発電電力量(時)	4.4 kWh	交流電流(分平均)	57.48 A	ステータス7	0000
交流電力	5.66 kW	発電電力量(本日)	18.4 kWh	交流電力(分平均)	5.91 kW	ステータス8	0000
交流周波数	59.9 Hz	発電電力量(今月)	16 kWh	予備入力1(分平均)	0.000 V	ステータス9	0000
		発電電力量(今年)	16 kWh	予備入力2(分平均)	0.000 V	ステータス10	0000
		発電電力量(累積)	18 kWh				
		電力変換効率	88.0 %				

No.3 別のパワコンの計測値を表示

左上の数字をクリックすることで表示パワコンを切り替えることができます。



SolarView 2015年2月5日 17:37

運用画面 | **計測値** | 帳票 | 運転履歴 | ダウンロード | スライドショー | 設定

パワコン1 計測値 デモ:10kW

総合 1 2 3

通信状態	正常	日射強度	0.706 kW/m²	日射量(分積算)	0.0126 kWh/m²	ステータス1	0080
直流電圧	220.6 V	気温		気温(分平均)		ステータス2	0000
直流電流	24.07 A	予備入力1		直流電圧(分平均)		ステータス3	0000
直流電力	5.31 kW	予備入力2		直流電流(分平均)		ステータス4	0000
交流電圧	100.3 V	データ計測回数	10 回	直流電力量(分積算)	1.0816 kWh	ステータス5	0000
		発電電力量(分)	0.9711 kWh	交流電圧(分平均)	202.3 V	ステータス6	0000
		発電電力量(時)	7.0 kWh	交流電流(分平均)	287.88 A	ステータス7	0000
		発電電力量(本日)	7.0 kWh	交流電力(分平均)	58.26 kW	ステータス8	0000
		発電電力量(今月)	7 kWh	予備入力1(分平均)	0.000 V	ステータス9	0000
		発電電力量(今年)	7 kWh	予備入力2(分平均)	0.000 V	ステータス10	0000
		発電電力量(累積)	7 kWh				
		電力変換効率	88.6 %				

No.4 「計測値（総合）」画面に戻る

「計測値（総合）」の画面に戻るには「運用画面」メニューの「計測値」をクリックします。

No.5 表示内容の説明

・計測値【総合】

発電所全体の発電電力等を表示

発電所全体の発電電力量を表示

計測値(総合)

現在の発電	28.24	kW
気温	30.4	°C
日射強度	1.016	kW/m²

発電電力量	
今日	44.0 kWh
今月	44 kWh
今年	44 kWh
累積	44 kWh

パソコン	発電	ステータス
1	9.14 kW	RUN STOP TEST1 TEST2
2	9.37 kW	RUN STOP TEST1 TEST2
3	9.73 kW	RUN STOP TEST1 TEST2

パソコンの状態、発電電力を表示

【パソコンが9台以下の表示】

パソコン	発電	ステータス
1	6.03 kW	RUN STOP TEST1 TEST2

パソコン状態
 正常：緑 (■)
 異常：赤 (■)
 異常=パソコン異常または通信異常

発電電力

パソコンステータス
 点灯：ステータス ON
 他：ステータス OFF

【パソコンが10台以上の表示】

1	6.25 kW
---	---------

・計測値【パソコン毎】

パソコン1 計測値
コンテック(デモ) 10kW

総合 1 2 3

パソコン状態	日射強度	日射量(分積算)	ステータス1
正常	0.918 kW/m²	0.0158 kWh/m²	0080
通信状態	29.4 °C	気温(分平均)	ステータス2
正常	29.4 °C	29.4 °C	0000
直流電圧	予備入力1	直流電圧(分平均)	ステータス3
350.5 V	0.000 V	349.8 V	0000
直流電流	予備入力2	直流電流(分平均)	ステータス4
27.13 A	0.000 V	27.10 A	0000
直流電力	データ計測回数	直流電力量(分積算)	ステータス5
9.51 kW	10 回	0.1581 kWh	0000
交流電圧	発電電力量(分)	交流電圧(分平均)	ステータス6
100.9 V	0.1428 kWh	102.6 V	0000
交流電流	発電電力量(時)	交流電流(分平均)	ステータス7
81.86 A	0.1 kWh	83.50 A	0000
交流電力	発電電力量(本日)	交流電力(分平均)	ステータス8
8.26 kW	45.5 kWh	8.57 kW	0000
58.9 Hz	発電電力量(今月)	予備入力1(分平均)	ステータス9
	45 kWh	0.000 V	0000
	発電電力量(今年)	予備入力2(分平均)	ステータス10
	45 kWh	0.000 V	0000
	発電電力量(累積)		ステータス詳細
	45 kWh		

パソコン状態
 正常：緑 (■)
 異常：赤 (■)
 異常=パソコン異常または通信異常

通信状態
 正常：緑
 異常：赤

3.2. 過去の計測値を見る

本製品では過去の計測値を帳票（日報または月報、年報）として表示することができます。

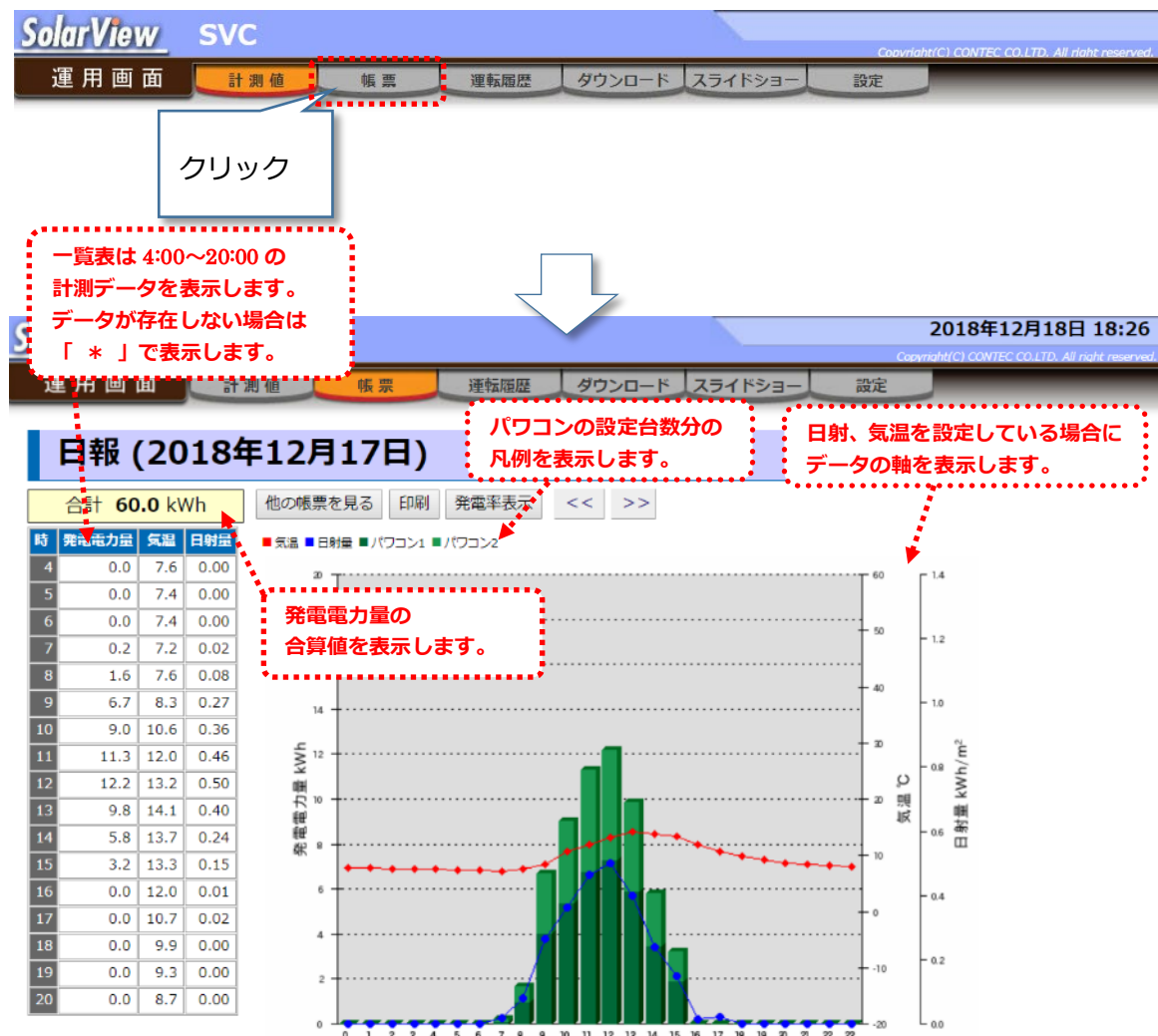
■ 日報を見る

操作内容

No.1 日報の表示

日報は「運用画面」メニューの「帳票」をクリックすると確認できます。

最初は今日の日報が表示されます。



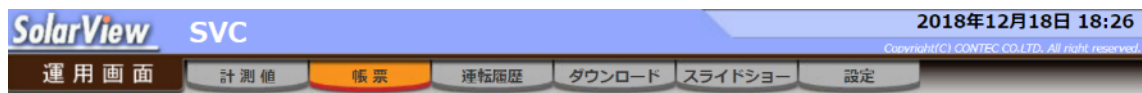
パワコンの接続台数が 10 台以上の場合、棒グラフはパワコン毎の色分けではなく、単一色（緑）で表示します。

No.2 別の日の日報を表示

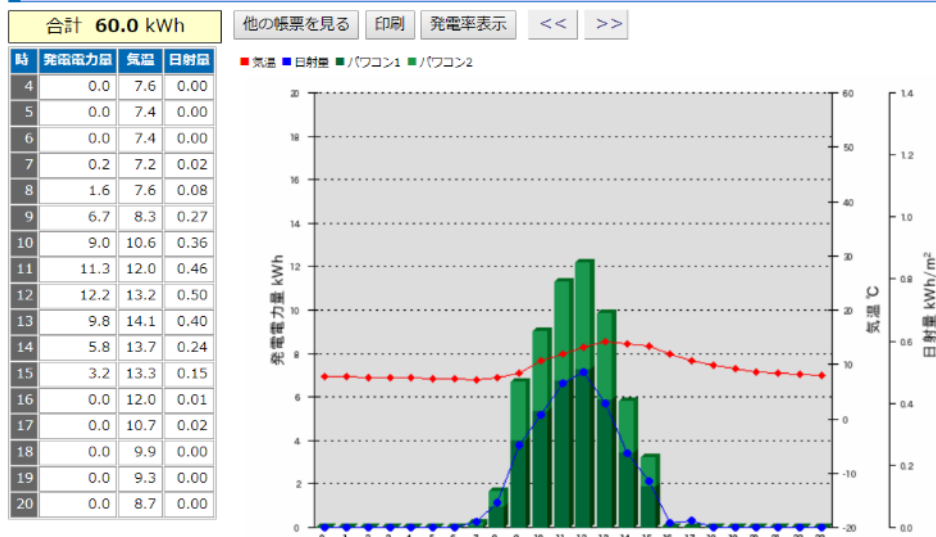
翌日や前日、前月など表示している帳票の前後を表示するには画面下部の「<<」「>>」ボタンをクリックします。
「<<」は1つ前、「>>」1つ後の帳票を表示します。



任意の日を指定して帳票を表示するには[他の帳票を見る]ボタンをクリックします。カレンダーが表示されるので、表示したい日付をクリックします。カレンダーに「*」がついている日付のみ日報を表示できます。
「*」がついていない日付は表示できません。



日報 (2018年12月17日)

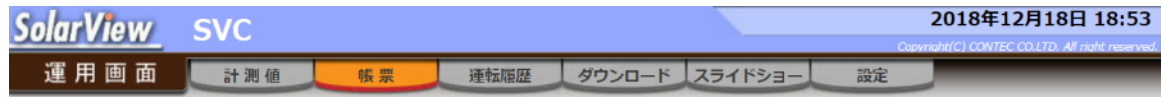


No.3 表示を発電電力量から発電率に変更する

※パワコンの接続台数が 10 台以上の場合、本機能はご利用頂けません。

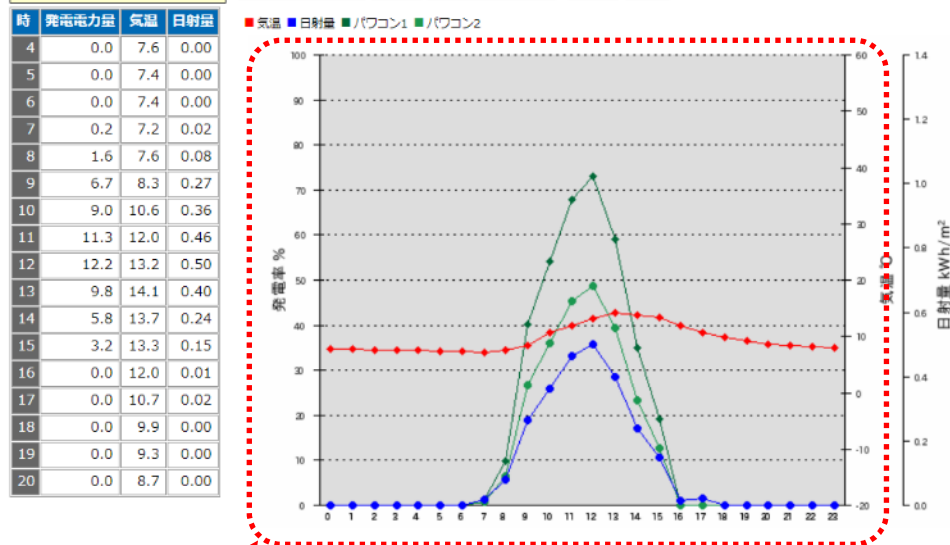
帳票では発電電力量を棒グラフ表示するだけではなく、パワコンの契約容量(kW)に対する比率を表示することもできます。本機能を使うことで定格に対しての発電能力の比較がパワコン単位で行え、パワコンの故障／能力低下、太陽光パネルの効率低下を確認できます。

発電率表示に切り替える場合は「発電率表示」をクリックします。



日報 (2018年12月17日)

合計 60.0 kWh 他帳票を見る 印刷 発電電力量表示 << >>



パワコン毎の発電電力量と契約電力の比率を折れ線グラフで表示します。

本表示では複数のパワコンを同じ軸（発電率）で比較できるため、パワコン毎の発電の違いを見つけやすくなります。故障診断等にご利用ください。

例：パワコン 1 は定格の 72% 発電しているのにパワコン 2 は 50% しか発電できていない

■ 月報を見る

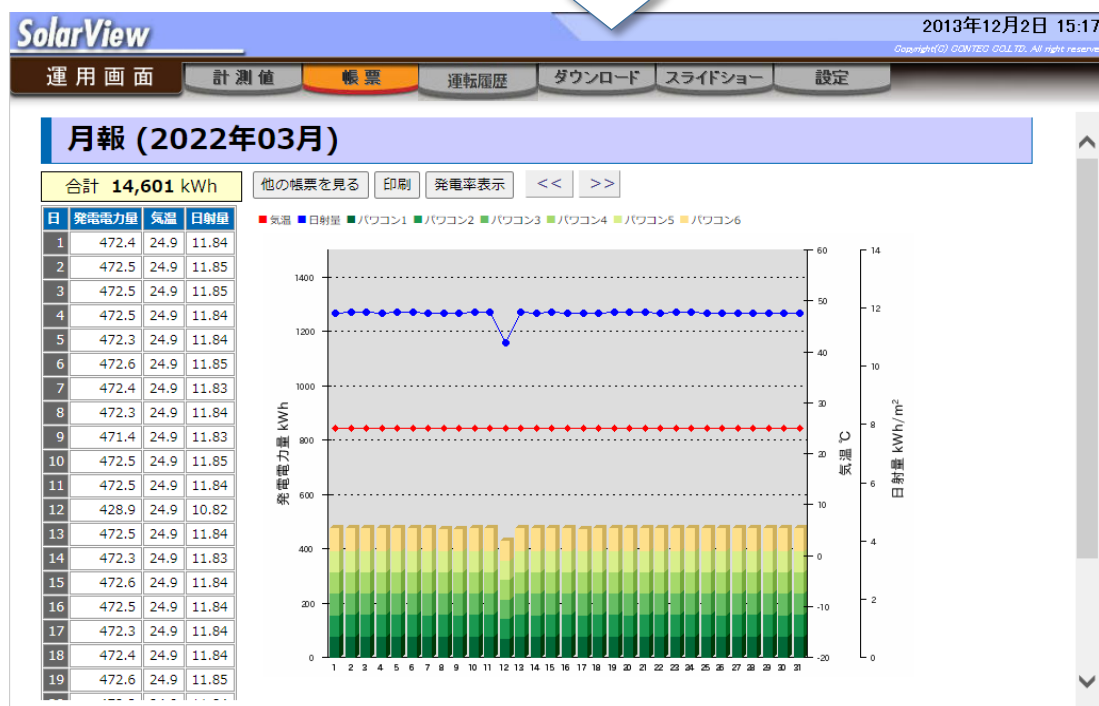
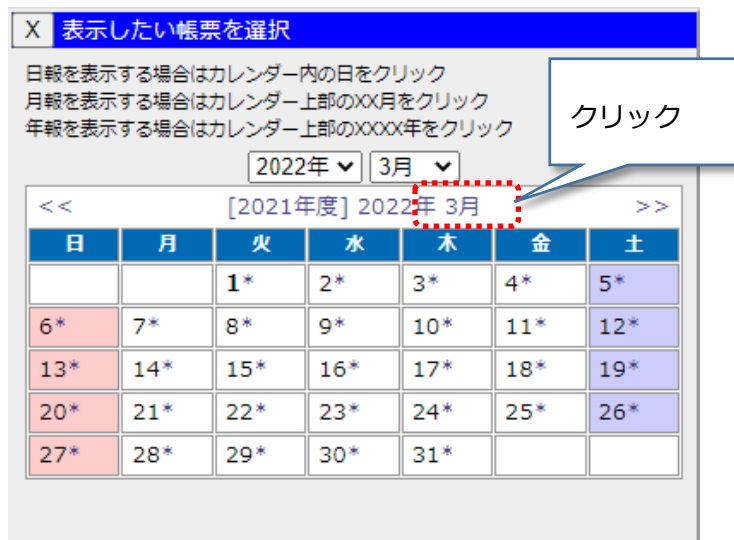
操作内容

No.1 月報を表示

[他の帳票を見る]ボタンをクリックしてカレンダーを表示します。

カレンダーの月部分ををクリックすることで月報データを表示することができます。

月報データが存在しない場合はクリックできず、月報を表示できません。



■ 年報を見る

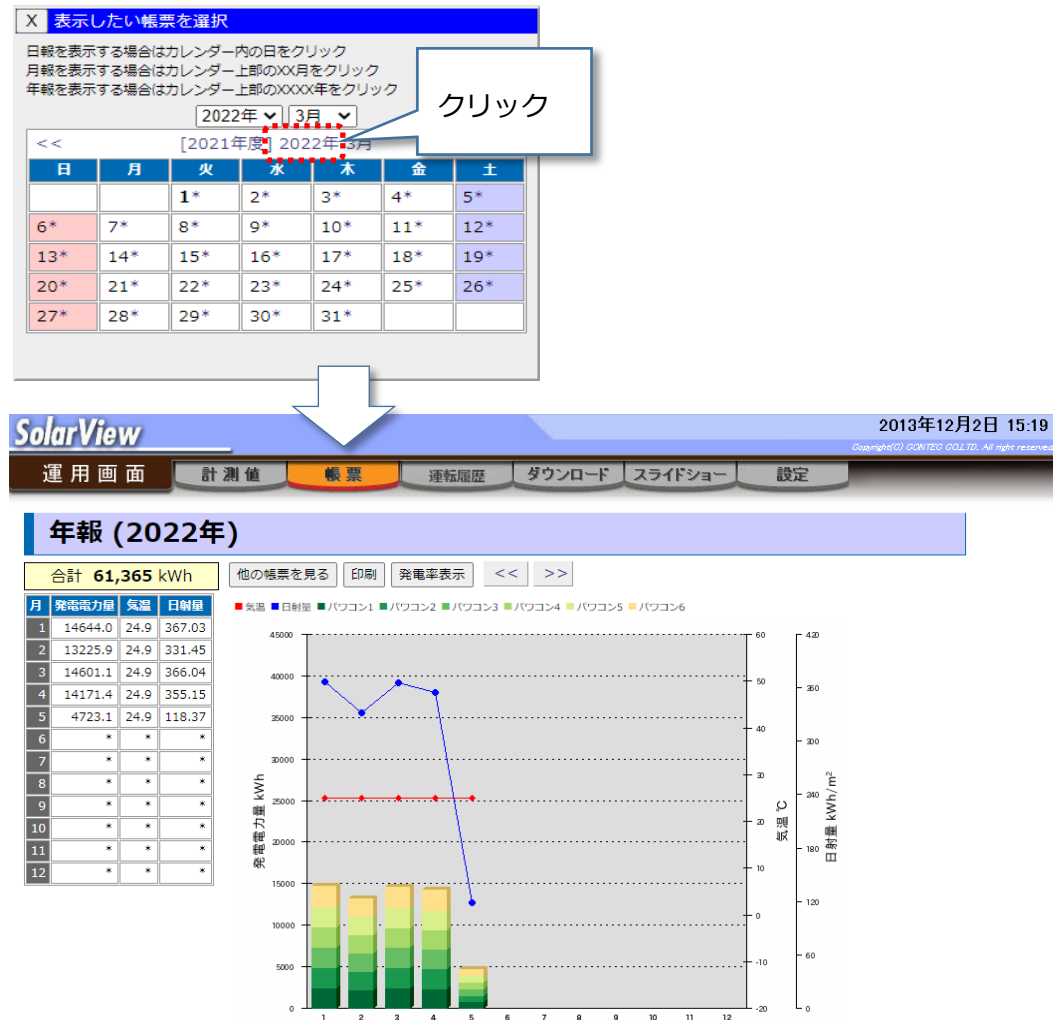
操作内容

No.1 年報を表示

[他の帳票を見る]ボタンをクリックしてカレンダーを表示します。

カレンダーの年部分をクリックすることで年報データを表示することができます。

年報データが存在しない場合はクリックできず、表示できません。



年報には1月～12月を表示する年報と4月～3月を表示する年報（年度）の2つがあります。

年度で表示したい場合にはカレンダーで [XXXX 年度] の部分をクリックします。



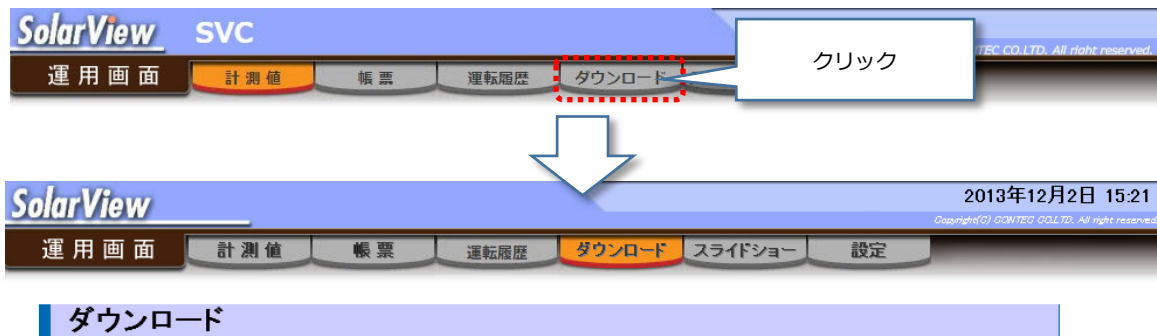
3.3. 計測データをダウンロードする／表形式で見る

計測したデータは CSV ファイル（「,」区切りのテキストファイル）でダウンロードすることができます。またダウンロードせずに表形式で見ることも可能です。

操作内容

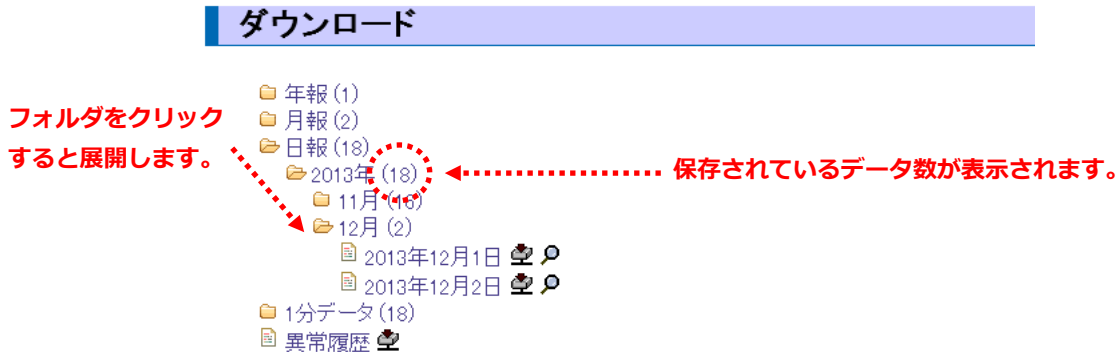
No.1 「ダウンロード」画面を表示

「運用画面」メニューの「ダウンロード」をクリックします。



No.2 ダウンロード／表示したいデータを探す

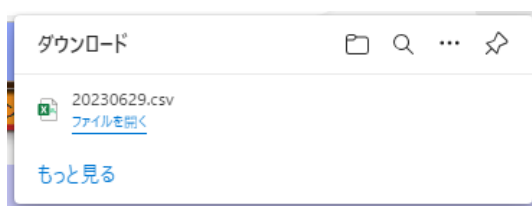
項目をクリックして表示したいデータまでフォルダを展開します。



No.3 計測値データのダウンロード



をクリックするとデータを CSV ファイルでダウンロードすることができます。



No.4 計測値データを表形式で見る

 をクリックするとデータを表形式で表示することができます。

例：2013年12月1日の日報を表示します。

ダウンロード

- 年報 (1)
- 月報 (2)
- 日報 (18)
 - 2013年 (18)
 - 11月 (16)
 - 12月 (2)
 - 2013年12月1日   表示したいデータのアイコンをクリックします。
 - 2013年12月2日  
 - 1分データ (18)
 - 異常履歴 

SolarView
2013年12月2日 15:23
Copyright(C) CONTEC GOLT.D. All right reserved.

運用画面
計測値
帳票
運転履歴
ダウンロード
スライドショー
設定

データ閲覧

ファイル情報
ファイル名 20131201.csv
最終更新日時 2013/12/02 00:00:26
ファイルサイズ 6.2 KB

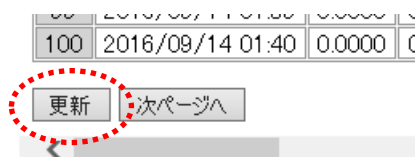
一覧へ戻る 1 / 1

No	DateTime	日射量 (kWh/m ²)	気温 (°C)	発電電 力量 (kWh)	パワ コン1 発電電 力量 (kWh)	パワ コン2 発電電 力量 (kWh)	パワ コン3 発電電 力量 (kWh)	パワ コン4 発電電 力量 (kWh)	パワ コン5 発電電 力量 (kWh)	パワ コン6 発電電 力量 (kWh)	パワ コン7 発電電 力量 (kWh)	パワ コン8 発電電 力量 (kWh)	パワ コン9 発電電 力量 (kWh)	パワ コン1 直 流電力 量 (kWh)	パワ コン1 直 流電 圧 (V)	パワ コン1 直 流電 流 (A)	パワ コン1 交 流電 圧 (V)
1	2013/12/01 00	0.0489	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
2	2013/12/01 01	0.0465	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
3	2013/12/01 02	0.0489	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
4	2013/12/01 03	0.0472	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
5	2013/12/01 04	0.0471	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
6	2013/12/01 05	0.0487	20.4	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	*	*	*	*	*	*	0.0000	0.0	0.00	0.0
7	2013/12/01 06	0.5469	25.4	9.4444	3.1395	3.1502	3.1498	*	*	*	*	*	*	3.4800	219.9	15.82	102.4
8	2013/12/01 07	0.6477	26.4	12.1191	4.0502	4.0249	4.0393	*	*	*	*	*	*	4.4866	219.9	20.41	102.5
9	2013/12/01 08	0.7474	27.4	14.8386	4.9460	4.9381	4.9505	*	*	*	*	*	*	5.4847	219.9	24.94	102.4
10	2013/12/01 09	0.8464	28.4	17.5226	5.8367	5.8283	5.8523	*	*	*	*	*	*	6.4825	219.9	29.48	102.4

No.5 画面の更新

表示している計測値データは自動更新されません。更新する場合は [更新] ボタンをクリックします。

[更新] ボタンは画面下部にあります。表示件数が多い場合は画面を下にスクロールすると表示されます。



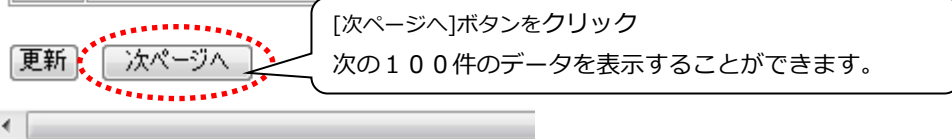
No.6 表示しているデータの切り替え

データ閲覧画面では1ページにつき100件までデータを表示することができます。

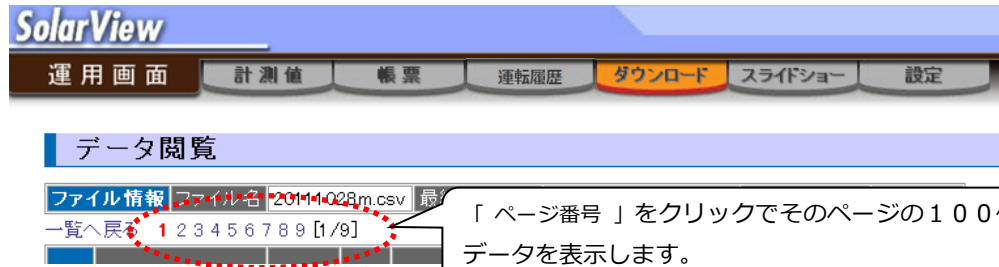
100件以上データが存在する場合は[次ページへ]や[前ページへ]のページ切り替えボタンが表示されます。

ページ切り替えボタンは画面下部にあります。表示件数が多い場合は画面を下にスクロールすると表示されます。

95	2011/11/01 12:35	0.0191	31.4
96	2011/11/01 12:36	0.0189	31.4
97	2011/11/01 12:37	0.0192	31.4
98	2011/11/01 12:38	0.0192	31.4
99	2011/11/01 12:39	0.0190	31.4
100	2011/11/01 12:40	0.0195	31.4



また、画面上部にページ番号が表示されますので、ページ番号のクリックでも切り替えることができます。



3.4. パワコンの状態を確認する

本製品ではパワコンから取得するのは計測値だけではなく、パワコンの状態も取得します。
パワコンの状態は以下の操作で詳細を確認することができます。

操作内容

No.1 「ステータス」画面を表示

「運用画面」の「計測値」画面から各パワコンの計測値画面を開き、[ステータス詳細]をクリックします。



SolarView SVC

運用画面 | **計測値** | 帳票 | 運転履歴 | ダウンロード | スライドショー | 設定

クリック

計測値(総合)

現在の発電	28.24 kW	発電電力量	今日	44.0 kWh
気温	30.4 °C		今月	44 kWh
日射強度	1.016 kW/m ²		今年	44 kWh
			累積	44 kWh

パワコン | 発電 | ステータス

1	9.14 kW	RUN	STOP	TEST1	TEST2
2	9.37 kW	RUN	STOP	TEST1	TEST2
3	9.73 kW	RUN	STOP	TEST1	TEST2

ステータス詳細を確認したいパワコンのNo.をクリック

SolarView SVC

運用画面 | **計測値** | 帳票 | 運転履歴 | ダウンロード | スライドショー | 設定

パワコン1 計測値
コンテック(デモ) 10kW

総合 1 2 3

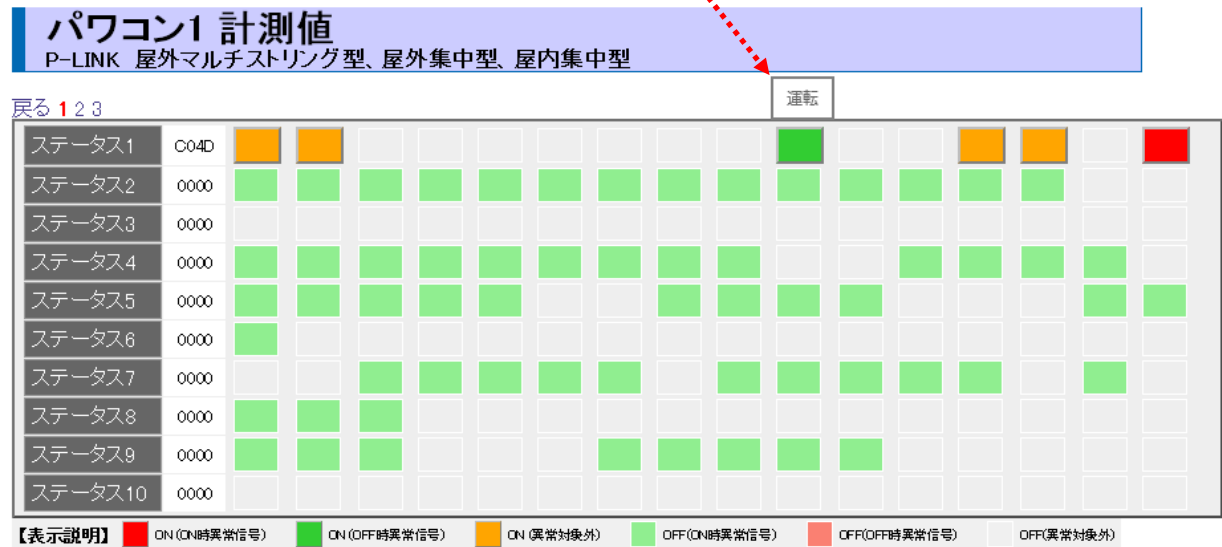
パワコン状態	正常	日射強度	0.918 kW/m ²	日射量(分積算)	0.0158 kWh/m ²	ステータス1	0080
通信状態	正常	気温	29.4 °C	気温(分平均)	29.4 °C	ステータス2	0000
直流電圧	350.5 V	予備入力1	0.000 V	直流電圧(分平均)	349.8 V	ステータス3	0000
直流電流	27.13 A	予備入力2	0.000 V	直流電流(分平均)	27.10 A	ステータス4	0000
直流電力	9.51 kW	データ計測回数	10 回	直流電力量(分積算)	0.1581 kWh	ステータス5	0000
交流電圧	100.9 V	発電電力量(分)	0.1428 kWh	交流電圧(分平均)	102.6 V	ステータス6	0000
交流電流	81.86 A	発電電力量(時)	0.1 kWh	交流電流(分平均)	83.50 A	ステータス7	0000
交流電力	8.26 kW	発電電力量(本日)	45.5 kWh	交流電力(分平均)	8.57 kW	ステータス8	0000
交流周波数	58.9 Hz	発電電力量(今月)	45 kWh	予備入力1(分平均)	0.000 V	ステータス9	0000
		発電電力量(今年)	45 kWh	予備入力2(分平均)	0.000 V	ステータス10	0000
		発電電力量(累積)	45 kWh				

クリック

ステータス詳細

No.2 「ステータス詳細」画面の確認

マウスカーソルを合わせるとステータスの名称を表示します。



ステータス表示の説明

- ON (ON 時異常信号) … ステータス ON。ON 時にパワコン異常として扱う信号
- ON (OFF 時異常信号) … ステータス ON。ON 時にパワコン正常として扱う信号
- ON (異常対象外) … ステータス ON。パワコン正常／異常判断対象外の信号
- OFF (ON 時異常信号) … ステータス OFF。OFF 時にパワコン正常として扱う信号
- OFF (OFF 時異常信号) … ステータス OFF。OFF 時にパワコン異常として扱う信号
- OFF (異常対象外) … ステータス OFF。パワコン正常／異常判断対象外の信号

それぞれ下記のステータスの ON／OFF にあわせて下記のペアになります。

- ↔ ■ ON 時に異常 … 左側がステータス ON、右側がステータス OFF
- ↔ ■ OFF 時に異常 … 左側がステータス ON、右側がステータス OFF
- ↔ ■ 異常判断対象外 … 左側がステータス ON、右側がステータス OFF

赤系の色が表示されている場合はパワコン異常が発生しています。

各信号を ON 時に異常とするか、異常判断対象外等に設定するか等の設定はパワコンの状態詳細設定画面から行います。

3.5. 運転履歴を確認する

本製品ではパワコンやシステムの変化を履歴として保存します。以下で運転履歴の確認方法を説明します。

■ 運転履歴を見る

操作内容

No.1 「運転履歴」画面の表示

「運用画面」メニューの「運転履歴」をクリックします。



運転履歴

30件の履歴が登録されています

☐ 検出日時 から まで
☐ レベル ☐ パワコン ステータス: ☒ ON ☒ OFF
☐ 信号名称 (部分一致)

新しい順に 10件 表示

No	検出日時	レベル	検出元	信号名称	ステータス
1	2023/06/29 16:27:44	パワコン	パワコン1	運転 (ステータス1:ビット15)	OFF
2	2023/06/29 16:27:44	パワコン	パワコン1	パワコン異常 (ステータス1:ビット6)	ON
3	2023/06/29 16:27:32	パワコン	パワコン1	高温時出力制限中 (ステータス3:ビット6)	OFF
4	2023/06/29 16:27:32	パワコン	パワコン1	出力制御中 (ステータス3:ビット4)	OFF
5	2023/06/29 16:27:02	パワコン	パワコン1	高温時出力制限中 (ステータス3:ビット6)	ON
6	2023/06/29 16:26:42	パワコン	パワコン1	出力制御中 (ステータス3:ビット4)	ON
7	2023/06/29 16:26:17	パワコン	パワコン1	高温時出力制限中 (ステータス3:ビット6)	OFF
8	2023/06/29 16:26:03	パワコン	パワコン1	高温時出力制限中 (ステータス3:ビット6)	ON
9	2023/06/29 16:25:32	パワコン	パワコン1	太陽光 (ステータス1:ビット14)	ON
10	2023/06/29 16:25:21	パワコン	パワコン1	運転 (ステータス1:ビット15)	ON

表示件数以上の履歴が見つかりました

運転履歴の消去は [サービス設定] 画面の [詳細設定] → [データ消去] から行えます

初期表示では全履歴の中から最新 10 件を表示します。
条件を指定して表示したい場合は次ページ以降の「絞り込み」をご参照ください。

メール送信対象の信号は信号名が太字で表示されます。

ステータス欄には「ON」「OFF」が表示されます。背景色は ON : 赤、OFF : 緑で表示されます。

No.2 検出日時で絞り込む

項目左端のチェックボックスをチェックし、表示したい日付範囲を入力します。
チェックなしの場合、検出日時での絞り込みは行いません。

☐ 検出日時 から まで
☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼ ステータス: ☒ ON ☒ OFF
☐ 信号名称 (部分一致)

検出日時はキーボードから日時入力して条件を指定します。



検出日時の入力時の注意点

■ 半角英数字で入力してください。

2011 はOK 2 0 1 1 はNG

■ 検出日時の入力は下記ルールに従ってください。

- ・年は4桁、それ以外は2桁。1桁数字の場合は「01」のように「0」で埋めてください。
 - ・年月日の間に「/」を入れてください。 例「2016/09/12」
 - ・時分秒の間に「:」を入れてください。 例「11:22:33」
 - ・年月日と時分秒の間に「 」(半角スペース)を入れてください。 例「2016/09/12 11:22:33」
 - ・検出日時での検索は左側からの部分一致で検索されます。その為、下記のように検索が可能です。
- 年単位で検出 → 「 2011 」 から 「 2012 」 まで
- 月単位で検出 → 「 2011/01 」 から 「 2011/12 」 まで
- 日単位で検出 → 「 2011/01/01 」 から 「 2011/12/31 」 まで
- 時単位で検出 → 「 2011/01/01 00 」 から 「 2011/12/31 23 」 まで
- 分単位で検出 → 「 2011/01/01 00:00 」 から 「 2011/12/31 23:59 」 まで
- 秒単位で検出 → 「 2011/01/01 00:00:00 」 から 「 2011/01/01 23:59:59 」 まで

No.3 レベルで絞り込む

項目左端のチェックボックスをチェックし、表示したいレベルを選択します。
チェックなしの場合、レベルでの絞り込みは行いません。

☐ 検出日時 から まで
☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼ ステータス: ☒ ON ☒ OFF
☐ 信号名称 (部分一致)

選択できるレベルは「システム」と「パワコン異常」と「接点監視」です。内訳は下記になります。

- ・システム … サービスの起動／停止など本製品のシステムに関する履歴です
- ・パワコン … パワコンから取得したステータスに関する履歴です
- ・接点監視 … 接点に関する履歴です

No.4 パワコンで絞り込む

項目左端のチェックボックスをチェックし、表示したいパワコンをリストより選択します。
チェックなしの場合、パワコンでの絞り込みは行いません。

☐ 検出日時 から まで
☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼ ステータス: ☒ ON ☒ OFF
☐ 信号名称 (部分一致)

No.5 ステータスで絞り込む

表示したいステータスをチェックします。

ON をチェックすると OFF→ON になったもの、OFF をチェックすると ON→OFF になったものが表示されます。

☐ 検出日時 から まで
 ☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼
 ステータス: ☒ ON ☒ OFF
 新しい順に▼ 10件▼ 表示

☐ 信号名称 (部分一致)

No.6 信号名称で絞り込む

項目左端のチェックボックスをチェックし、探したい信号の名称を入力します。

絞り込みは部分一致で行われます。「異常」と入力すると「～異常」「異常～」のような「異常」が含まれるものが表示されます。

☐ 検出日時 から まで
 ☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼
 ステータス: ☒ ON ☒ OFF
 新しい順に▼ 10件▼ 表示

☒ 信号名称 (部分一致)

No.7 表示順を変更する

履歴の表示は通常「新しい順に」です。「古い順に」に表示したい場合に変更します。

☐ 検出日時 から まで
 ☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼
 ステータス: ☒ ON ☒ OFF
 新しい順に▼ 10件▼ 表示

☐ 信号名称 (部分一致)

No.8 表示件数を変更する

履歴の表示件数は通常「10件」です。表示件数を変更したい場合に変更します。

☐ 検出日時 から まで
 ☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼
 ステータス: ☒ ON ☒ OFF
 新しい順に▼ 10件▼ 表示

☐ 信号名称 (部分一致)

No.9 絞り込み条件ならびに表示条件の反映

No 3～No 6 の検出条件と No 7～No 8 の表示条件を変更したら「表示」ボタンをクリックします。

SolarView
SVC
2023年6月29日 20:03

運用画面
 計測値
帳票
運転履歴
ダウンロード
スライドショー
設定

運転履歴

30件の履歴が登録されています

☐ 検出日時 から まで
 ☐ レベル システム▼ ☐ パワコン パワコン1▼
 ステータス: ☒ ON ☒ OFF
 新しい順に▼ 10件▼ 表示

☒ 信号名称 運転 (部分一致)

No	検出日時	レベル	検出元	信号名称	ステータス
1	2023/06/29 16:27:44	パワコン	パワコン1	運転 (ステータス1:ビット15)	OFF
2	2023/06/29 16:25:21	パワコン	パワコン1	運転 (ステータス1:ビット15)	ON

2件の履歴が見つかりました

運転履歴の消去は [サービス設定] 画面の [詳細設定] → [データ消去] から行えます

■ 運転履歴を削除する

操作内容

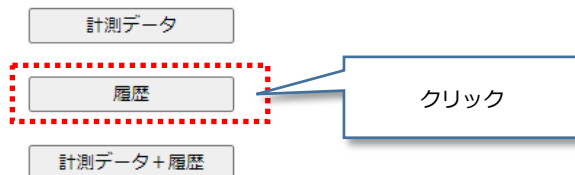
No.1 運転履歴のクリア

運転履歴のクリアは「運転履歴」画面ではなく、「オプション」メニューの「サービス設定」→[詳細設定]→[データ消去]から行います。画面下部の表示に従い、詳細設定からデータ消去の画面を開きます。
サービス起動中は操作できませんので操作する場合にはサービス停止後に行ってください。

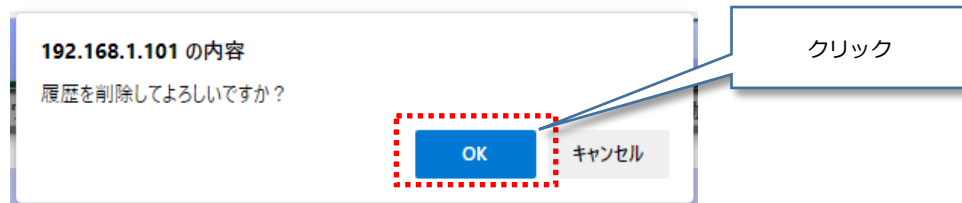
データ消去

[戻る](#)

消去したいデータのボタンを押してください
※データの消去はサービス停止中のみ行えます



履歴ボタンをクリックすると確認のポップアップが表示され、[OK]ボタンをクリックすると運転履歴をクリアできます。



3.6. スライドショーを Web ブラウザで見る

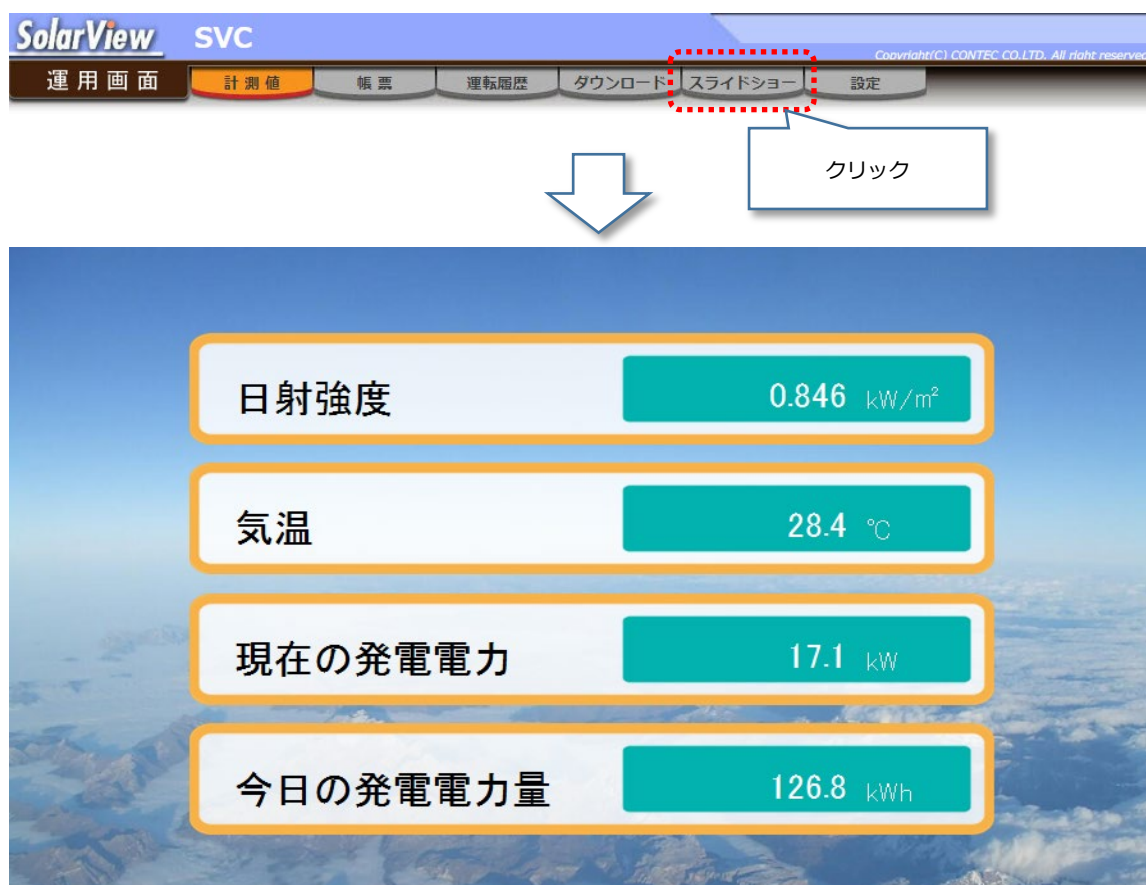
ディスプレイで表示しているスライドショーは Web ブラウザでも見ることができます。
ただし、ディスプレイで表示している内容とは以下が異なります。

- ・表示ページガイドスは表示されない
 - ・現在日時は表示されない
 - ・ステータスアイコンは表示されない（パワコン異常、サービス停止など）
 - ・表示されるスライドは同時刻にディスプレイに表示されているものとは異なる
- ※Web ブラウザではスライドショーのページを表示した時に常に最初のスライドから始まります。

操作内容

No.1 スライドショーを Web ブラウザで表示

「運用画面」メニューの「スライドショー」をクリックします。



スライドは設定された時間、順番で自動的に切り替わります。
計測値は約 2 秒毎に更新されます。

3.7. システム情報を確認する

本製品のシステムの情報を確認します。

操作内容

No.1 「システム情報」画面の表示

「運用画面」メニューから「設定」→「設定画面」メニューの「システム情報」をクリックします。



クリック

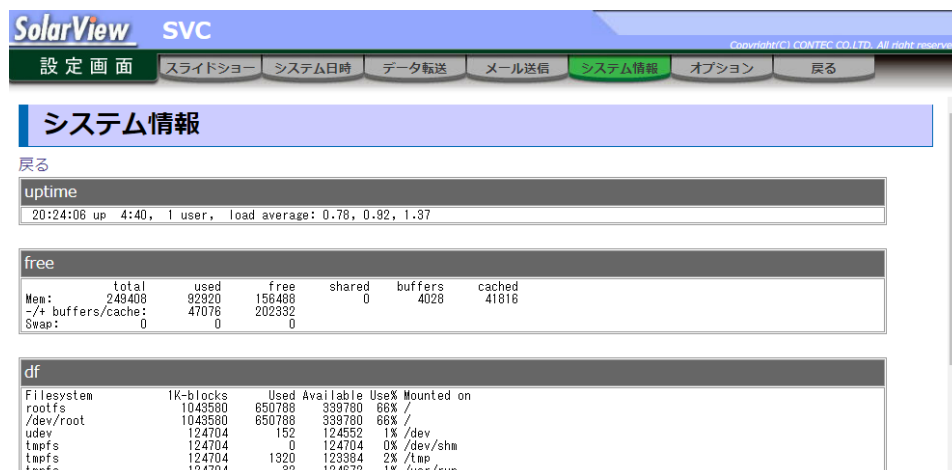
システム情報

バージョン	SolarView Compact ver.8.20	
IPアドレス	192.168.1.101	
MACアドレス	00804CABC515	
アクセス元	192.168.1.34	
空き容量	2408.6 (MB)	
発電開始日	2015年04月01日 (自動判別)	
各設定の最終更新日	サービス設定	2023/06/29 15:46:53
	ユーザー設定	2023/06/29 20:20:21
	データ転送設定	2016/01/28 15:59:30
	パワコン設定	2023/06/29 16:17:58
	メールサーバ設定	2023/06/29 15:41:44
	スケジュール設定	2016/01/28 15:59:30
	NTP時刻同期設定	2016/01/28 15:59:30
	DNSサーバ設定	2023/06/29 15:45:12
	ネットワーク設定	2023/06/29 15:44:43

詳細

No.2 システム情報の詳細を表示

「システム情報」画面で[詳細]のリンクをクリックすると表示されます。



システム情報

戻る

uptime

20:24:06 up 4:40, 1 user, load average: 0.78, 0.92, 1.37

free

	total	used	free	shared	buffers	cached
Mem:	248408	82320	156488	0	4028	41016
-/+ buffers/cache:	47076	0	202332			
Swap:	0	0	0			

df

Filesystem	1K-blocks	Used	Available	Use%	Mounted on
rootfs	1043580	650788	398780	68%	/
/dev/root	1043580	650788	398780	68%	/
udev	124704	152	124552	1%	/dev
tmpfs	124704	0	124704	0%	/dev/shm
tmpfs	124704	1320	123384	2%	/tmp
tmpfs	124704	32	124672	1%	/var/run

4. 設定する

本章では本製品の設定方法を説明します。

操作は Web ブラウザから行います。本製品に Web アクセスして操作を行ってください。

(アクセス方法は「1.1 本製品に接続する」を参照ください。)

4.1. メール送信機能を使う

メール送信機能を使うには外部にメールサーバ（送信用の SMTP サーバ）が必要になります。

事前にインターネットサービスプロバイダの提供するメールサービスに契約する等して本製品で利用できるメールサービスをご用意ください。

【 SolarView Air 】をお使いの場合、メールサーバは当社指定のものが予め設定されています。メールサーバの設定は変更しないでください。

本製品で利用できるメールサービスの仕様

① ユーザー／パスワード、メールアドレスに記号、全角文字が使われていないこと

ユーザー、パスワード、メールアドレスに記号が用いられている場合、設定できないことがあります。

② メールサービスに制限があるもの

無料のメールサービス等では時間あたりのメール送信数や定期的なメールチェックを求めるものがあります。このようなサービスでの利用はトラブルの元となります。

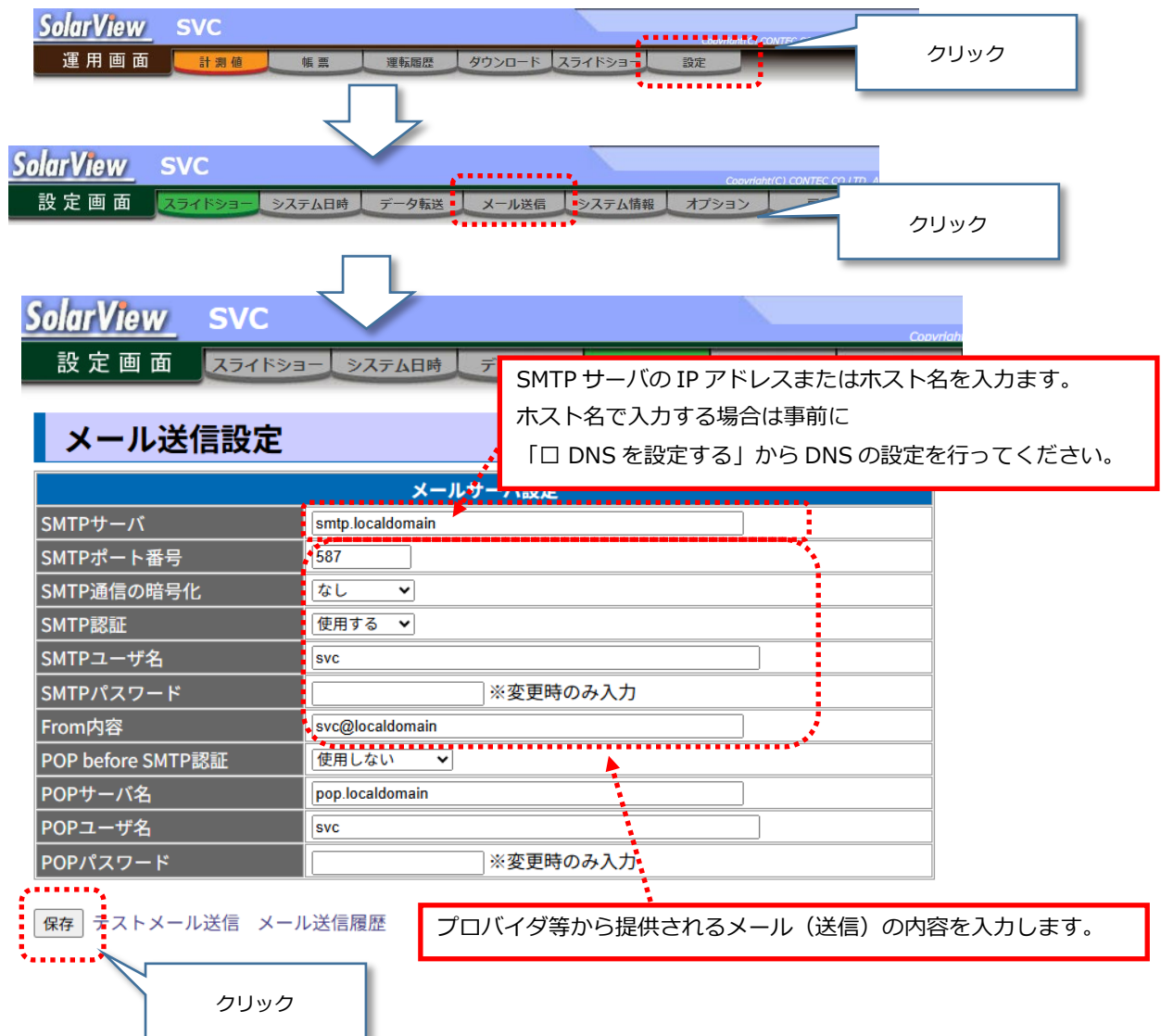
■ メールサーバの設定を行う

※SolarView Airをお使いの場合は操作しないでください。

操作内容

No.1 メールサーバの設定

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「メール送信」をクリックします。



「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「メール送信」をクリックします。

クリック

クリック

SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
ホスト名で入力する場合は事前に
「□DNSを設定する」からDNSの設定を行ってください。

メール送信設定

メールサーバ設定

SMTPサーバ: smtp.localdomain

SMTPポート番号: 587

SMTP通信の暗号化: なし

SMTP認証: 使用する

SMTPユーザ名: svc

SMTPパスワード: ※変更時のみ入力

From内容: svc@localdomain

POP before SMTP認証: 使用しない

POPサーバ名: pop.localdomain

POPユーザ名: svc

POPパスワード: ※変更時のみ入力

保存 テストメール送信 メール送信履歴

クリック

プロバイダ等から提供されるメール（送信）の内容を入力します。

設定内容はメールサーバ毎に異なります。メールサーバの設定をご確認のうえで入力してください。

SMTP通信の暗号化では2種類の暗号化方式が選択できます。SMTPSは常時暗号化、STARTTLSはSMTPサーバに接続してから暗号化となります。SMTPポート番号も合わせてどちらを使うかを確認してください。SMTPSは465、STARTTLSは587が使われることが多いです。

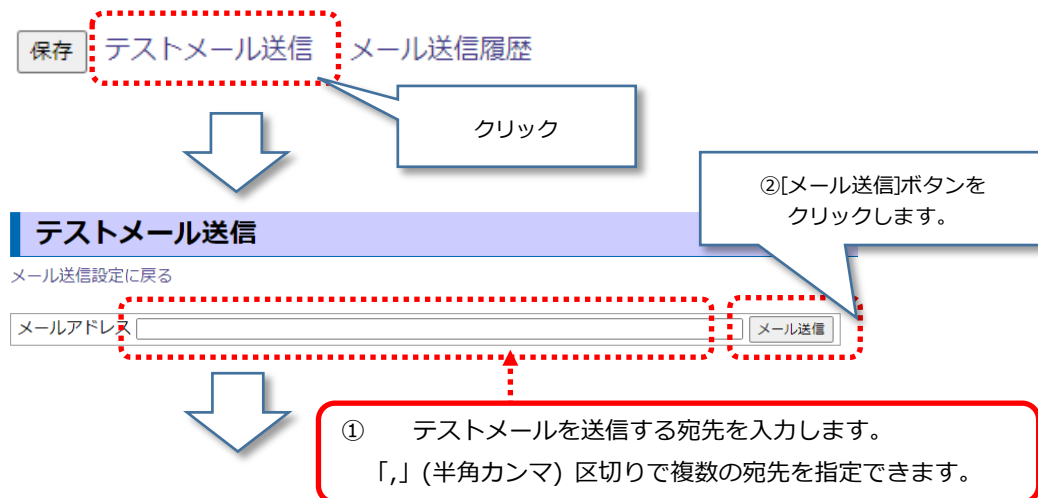
SMTP通信の暗号化	なし
SMTP認証	なし
SMTPユーザ名	SMTPS
	STARTTLS

入力が完了したら[保存]ボタンをクリックします。設定は次回メール送信時から反映されます。

次項では登録した設定を使ってテストメールを送信する方法を説明します。

No.2 テストメールの送信

「メール送信設定」画面の[テストメール送信]をクリックします。



テストメールを送信しました

結果	OK	日時	2022/04/26 13:35:23
		サイズ	1,166 bytes

通信内容	
-- Start [2022/04/26 13:35:23] --	
<- 220	
-> EHLO	
<- 250-	
<-250-PIPELINING	
<-250-SIZE 10240000	
<-250-VRFY	
<-250-ETRN	
<-250-STARTTLS	
<-250-AUTH PLAIN LOGIN DISCONNECT MD5 CRAM MD5	

SMTP サーバとの通信内容が表示され、テストメールが送信されます。

送信先が携帯電話などの場合、メールフィルタによって到達しないことがあります。

本機能を使って送信した宛先の全てにテストメールが届いたことを確認してください。

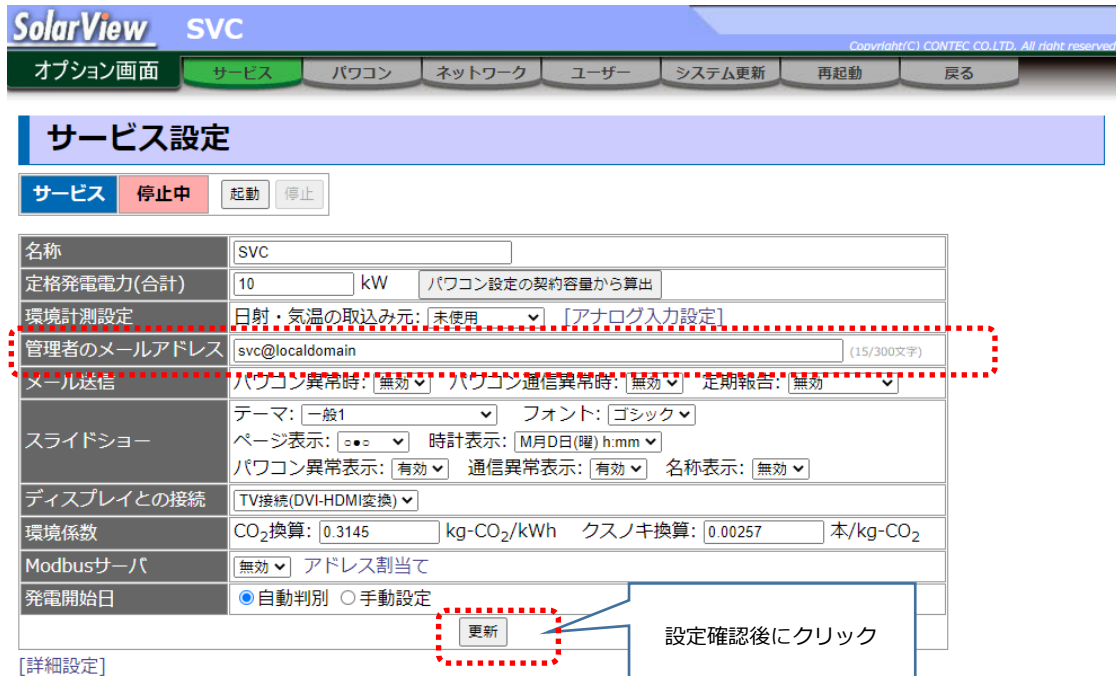
送信されたテストメールの内容は「[送信メールのフォーマット](#)」を参照ください。

■ メールの送信先／送信条件を設定する

操作内容

No.1 送信先と送信条件を設定

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「オプション」をクリックし「サービス設定」画面を開きます。メールの送信先と送信条件は本画面から行います。設定はサービス起動中でも行えます。



サービス設定

サービス 停止中 起動 停止

名称	SVC		
定格発電電力(合計)	10	kW	パワコン設定の契約容量から算出
環境計測設定	日射・気温の取込み元: 未使用 [アナログ入力設定]		
管理者のメールアドレス	svc@localdomain (15/300文字)		
メール送信	パワコン異常時: 無効	パワコン通信異常時: 無効	定期報告: 無効
スライドショー	テーマ: 一般1	フォント: ゴシック	
	ページ表示: 1/2/3	時計表示: M月D日(曜) h:mm	
	パワコン異常表示: 有効	通信異常表示: 有効	名称表示: 無効
ディスプレイとの接続	TV接続(DVI-HDMI変換)		
環境係数	CO ₂ 換算: 0.3145	kg-CO ₂ /kWh	クスノキ換算: 0.00257 本/kg-CO ₂
Modbusサーバ	無効 アドレス割当て		
発電開始日	☒ 自動判別 ☐ 手動設定		
	更新		

[詳細設定]

設定確認後にクリック

サービス設定の基本設定の中に「管理者のメールアドレス」と「メール送信」の条件を設定する箇所があります。設定項目は以下になります。

管理者のメールアドレス	メール送信先のアドレスを入力します。 複数の宛先に送信したい場合は半角カンマ (,) 区切りで指定してください。 300 文字まで入力可能です。 ※一部のキャリアメールで許可されていた「@の直前に「.」がある」「@より前に「.」が複数連続する」ような RFC822 に準拠していないメールアドレスは設定できません。	
メール送信	パワコン異常時	有効にすると、パワコンで異常が発生したときに送信します。 どのステータスをメール送信対象にするかは「4.2 パワコン異常検出時の履歴保存／メール送信動作を設定する」を参照して設定してください。
	パワコン通信異常時	有効にすると、パワコンと通信異常が発生したときに送信します。 夜間に電源 OFF するパワコンの場合は「無効」を推奨します。
	定期報告	時刻を選択すると毎日その時刻に定期報告メールを送信します。 定期報告メールでは ・メール送信時の発電電力 ・昨日の発電電力量 などを含むメールを送信します。 詳細は「□送信メールのフォーマット」を参照ください。
	出力抑制開始／終了時	【SV-AIR-MC310-P01 のみ】 出力抑制（100%未満の発電指示）の開始／終了の際にメールで通知します。

入力が完了したら[更新]ボタンをクリックします。設定は直ちに反映されます。

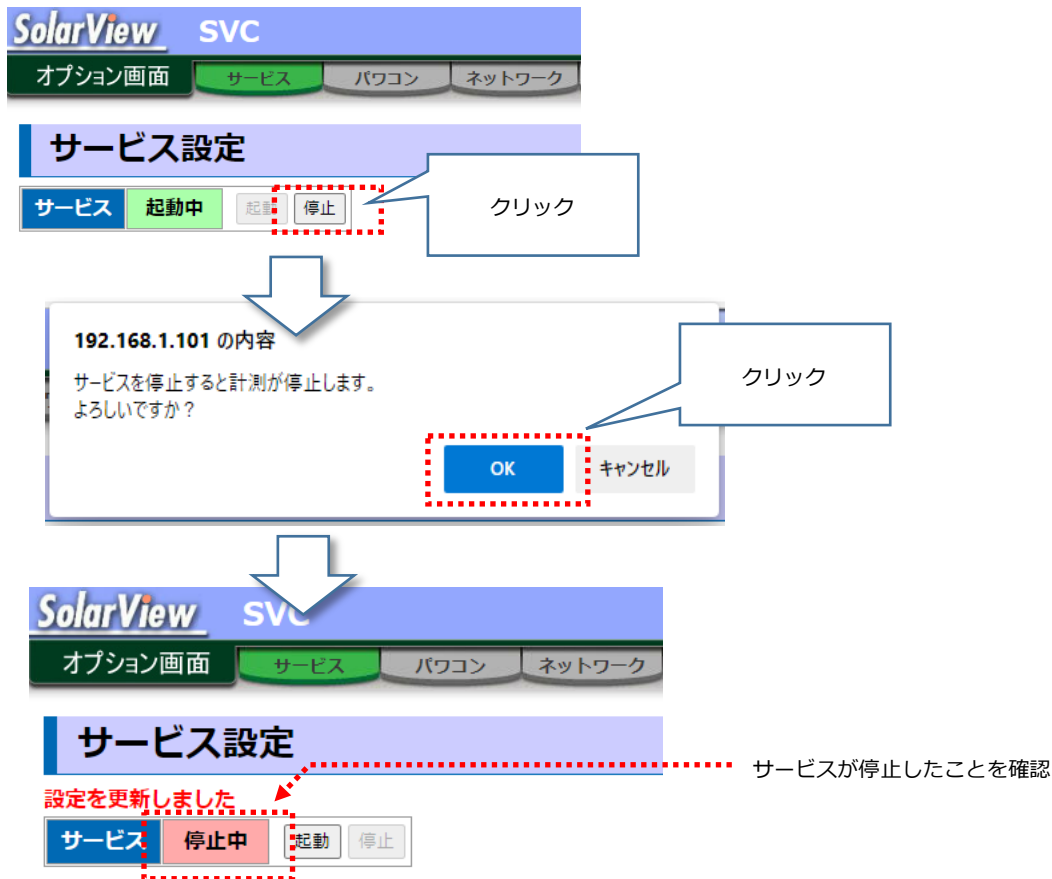
4.2. パソコン異常検出時の履歴保存／メール送信動作を設定する

パソコンから取得するステータスごとに、メール送信の有無、履歴保存の有無を指定できます。
この設定はパソコン機種毎に共通となり、1台ずつ別の設定をすることはできません。

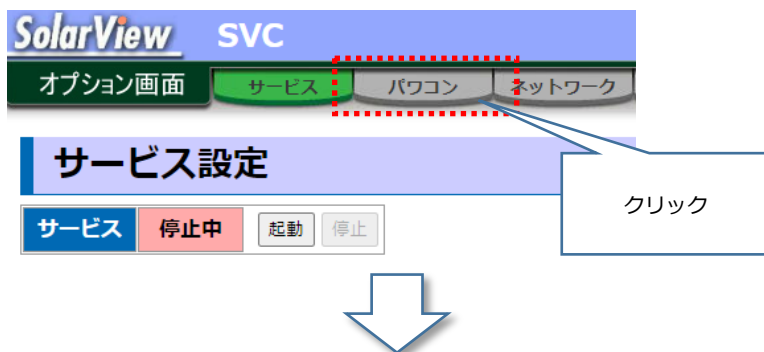
設定するにはトップ画面から、[運用画面] → [設定画面] → [オプション画面] へと移動してください。

操作内容

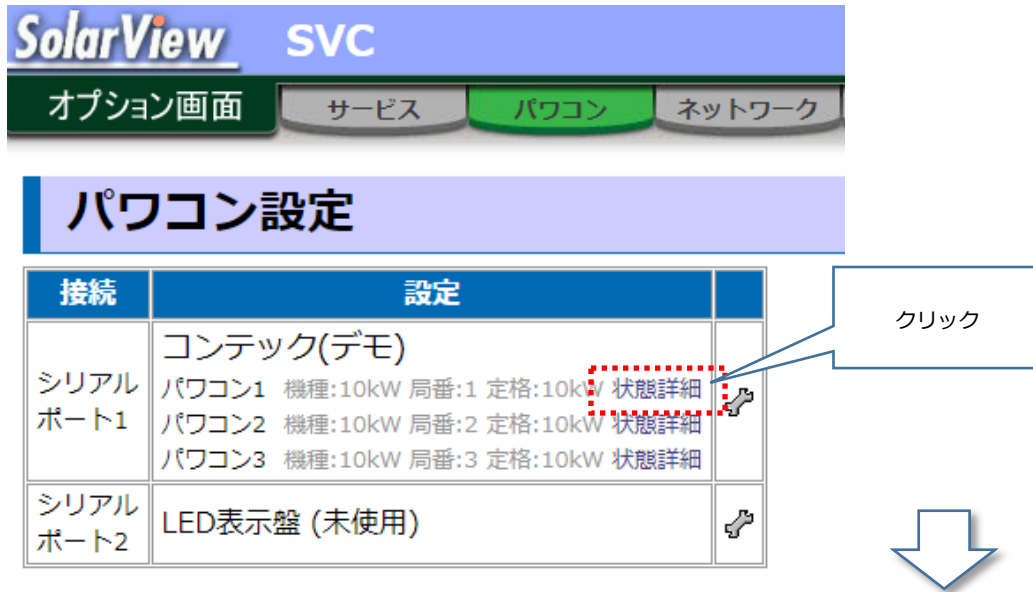
- No.1** サービス設定メニューで、サービスを[停止]してください。
 既に停止状態になっている場合は、次へ進んでください。



- No.2** メニューのパソコンをクリックしてください。



No.3 パワコン設定の画面で機種名の横に表示されている【状態詳細】をクリックします。



SolarView SVC

オプション画面 サービス **パワコン** ネットワーク

パワコン設定

接続	設定	
シリアルポート1	コンテック(デモ)	
	パワコン1 機種:10kW 局番:1 定格:10kW 状態詳細	
	パワコン2 機種:10kW 局番:2 定格:10kW 状態詳細	
	パワコン3 機種:10kW 局番:3 定格:10kW 状態詳細	
シリアルポート2	LED表示盤 (未使用)	

クリック

No.4 【状態詳細】画面が表示されます。
対象異常一覧に、選択したパワコンの異常一覧を表示しています。

それぞれのステータス毎に「履歴対象」「監視対象」のチェックボックスがあります。

- ・履歴対象にチェックがある → ステータスが変化した際に履歴に残す
- ・監視対象にチェックがある → ステータスが変化した際にメールを送信する

また監視対象にチェックがある場合、

「ステータスが ON の時を異常とする」

「ステータスが OFF の時を異常とする」

を選択できます。監視対象のこの設定に従ってパワコンが異常状態かどうかを判断します。

※ここでの判断が計測値画面でのパワコン状態（正常／異常）になります。



状態詳細

パワコン設定トップ

製造元 コンテック(デモ)
機種 10kW

※パワコンの異常検出設定は機種毎の設定になります。設定は全局番のパワコンで共通です

対象異常一覧

更新 初期設定に戻す

名称	履歴対象	異常設定 (異常時はメール送信)	
		監視対象	条件
PCS_STATUS			
RUN	☒	☒	● ONの時に異常 ○ OFFの時に異常
STOP	☒	☒	
TEST1	☐	☐	
TEST2	☐	☐	

更新 初期設定に戻す

✓が対象

設定完了後は【更新】ボタンをクリックして設定を保存します。

設定した内容で計測を開始する場合は、サービス設定画面で、サービスを【起動】する必要があります。

異常設定を工場出荷時に戻したい場合には【初期設定に戻す】ボタンをクリックします。

4.3. スライドショーの表示内容を変更する

本製品ではスライドショーのテーマを 5 種類用意しています。

そのテーマをベースにして

- ・ フォント
- ・ ページガイダンスの表示
- ・ 日時表示
- ・ 異常状態アイコン表示
- ・ 発電所名称の表示

などの設定を行うことでスライドショーの表示を変更することができます。

スライドショーの設定はサービスが起動中でも行うことができます。

設定時の注意

- ・ ディスプレイで表示される本体のスライドショーでは、フォーマットの変更が反映されるのは次週の 1 ページ目が読み込まれたときとなります。
- ・ ブラウザ上でスライドショーを表示する場合、No. 2 の「テーマ」のみ変更が反映されます。
- ・ テーマとフォントの設定は更新してから約 15 秒後にスライドに反映されます。

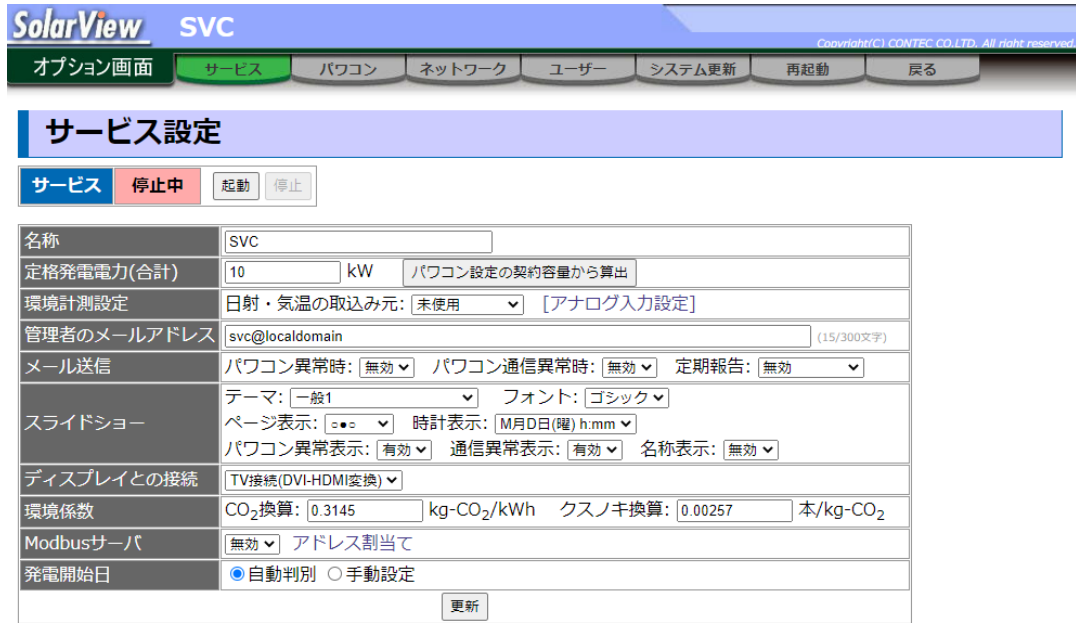
■ テーマを変更する

操作内容

No.1 「サービス設定」画面を表示する

テーマの変更はサービス設定画面より行います。

[運用画面]メニューの[設定]→[設定画面]メニューの[オプション]をクリックしてサービス設定画面を開きます。



サービス設定

サービス 停止中 起動 停止

名称	SVC		
定格発電電力(合計)	10 kW	パワコン設定の契約容量から算出	
環境計測設定	日射・気温の取込み元: [未使用] [アナログ入力設定]		
管理者のメールアドレス	svc@localdomain (15/300文字)		
メール送信	パワコン異常時: [無効] パワコン通信異常時: [無効] 定期報告: [無効]		
スライドショー	テーマ: [一般1] フォント: [ゴシック] ページ表示: [1/2] 時計表示: [M月D日(曜) h:mm] パワコン異常表示: [有効] 通信異常表示: [有効] 名称表示: [無効]		
ディスプレイとの接続	TV接続(DVI-HDMI変換)		
環境係数	CO ₂ 換算: 0.3145 kg-CO ₂ /kWh	クスノキ換算: 0.00257	本/kg-CO ₂
Modbusサーバ	[無効] アドレス割当て		
発電開始日	☒ 自動判別 ☐ 手動設定		

[詳細設定] 更新

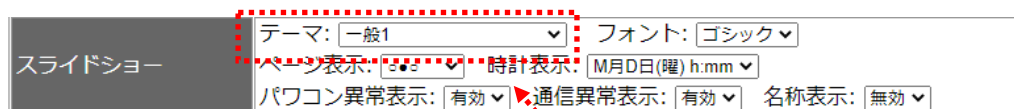
No.2 「テーマ」を変更する

テーマは5種類から選ぶことができます。工場出荷時設定では「一般1」が設定されています。

変更する場合には「スライドショー」の「テーマ」を変更してください。

設定変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。

テーマの変更が反映されるには約 15 秒程度かかります。

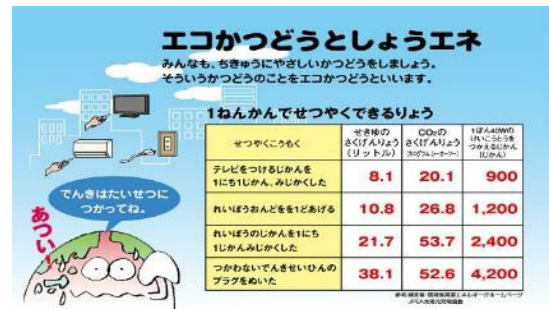


テーマは以下から選択できます。

- ・学生1 (小学生低学年まで)
- ・学生2 (小学校高学年から)
- ・一般1 ※工場出荷時設定
- ・一般2
- ・一般3

各テーマのイメージは次ページを参照ください。

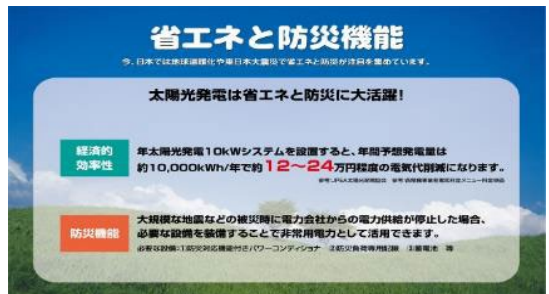
テーマ1 学生1 (小学校低学年まで)



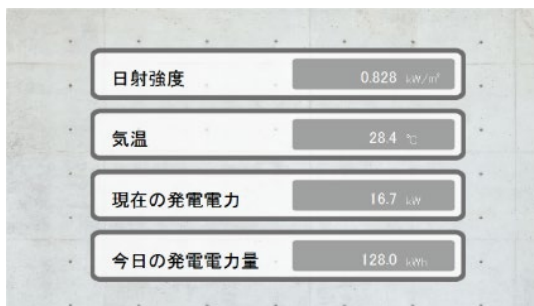
テーマ2 学生2 (小学校高学年から)



テーマ3 一般1



テーマ4 一般2



テーマ5 一般3



■ フォントを変更する

操作内容

No.1 「フォント」の変更

表示に使用するフォントを変更することができます。



スライド種類が「環境コンテンツ」※1となっているスライドのフォントは変更できません。
(スライドの種類は「ロスライド毎の設定を変更する」を参照ください。)

設定変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。

フォントの変更が反映されるには約15秒程度要します。

スライドショー

テーマ: 一般1	フォント: ゴシック
ページ表示: 1/2	時計表示: M/D白(曜) h:mm
パワコン異常表示: 有効	通信異常表示: 有効
名称表示: 無効	

「フォント」は
以下から選択します。

- ・ゴシック
- ・明朝



フォント：ゴシックでの表示



フォント：明朝での表示

■ ページ表示を表示する

操作内容

No.1 「ページガイドンス表示」の変更

ディスプレイ左上に表示しているページガイドンスの表示形式を変更できます。
設定変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。

スライドショー	テーマ: 一般1	フォント: ゴシック
	ページ表示:	時計表示: M月D日(曜) h:mm
	パソコン異常表示: 有効	通信異常表示: 有効
名称表示: 無効		



「ページ表示」は以下から選択します。

- ・無効 … 表示しない
- ・n/N … 数字で表現
- ・○●○ … ○で表現
- ・□■□ … □で表現
- ・☆☆☆ … ☆で表現

■ 時計を表示する

操作内容

No.1 「時計表示」の変更

ディスプレイ右上に表示している時計表示の表示形式を変更できます。
変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。

スライドショー	テーマ: 一般1	フォント: ゴシック
	ページ表示:	時計表示: M月D日(曜) h:mm
	パソコン異常表示: 有効	通信異常表示: 有効
名称表示: 無効		



「時計表示」は以下から選択します。

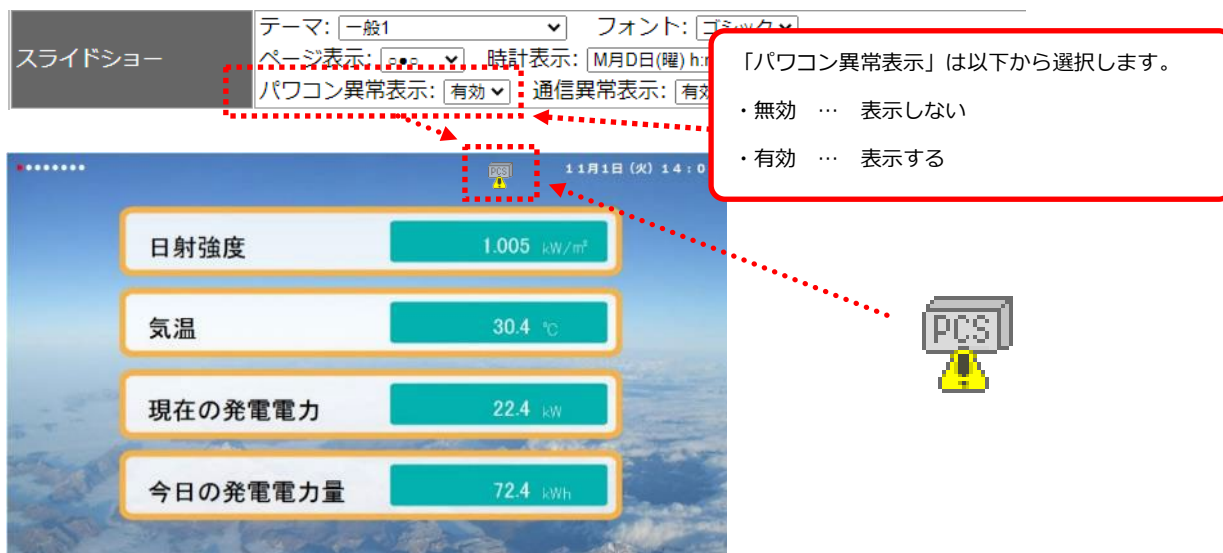
- ・無効
- ・M月D日(曜) h:mm
- ・M月D日 h:mm
- ・M/D h:mm
- ・M月D日 h時m分

■ パワコン異常時にアイコンを表示する

操作内容

No.1 「パワコン異常の表示」の変更

ディスプレイ上部にパワコン異常通知のアイコンを表示するかどうかを変更します。
変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。

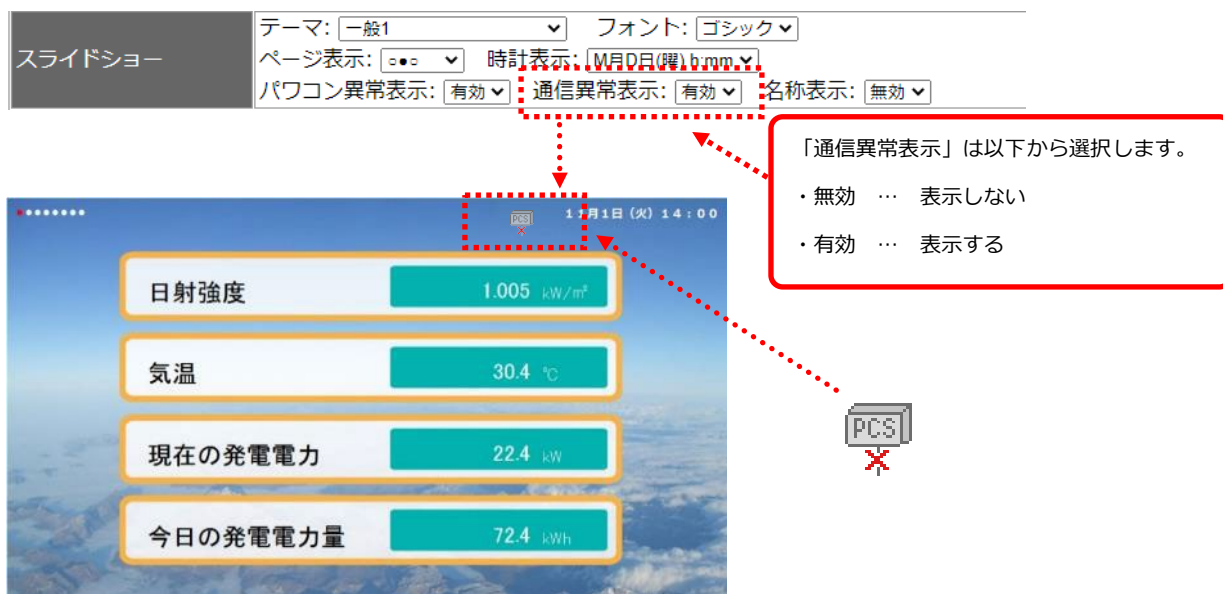


■ パワコン通信異常時にアイコンを表示する

操作内容

No.1 「通信異常の表示」の変更

ディスプレイ上部にパワコン通信異常通知のアイコンを表示するかどうかを変更します。
変更後[更新]ボタンをクリックすると設定を更新します。



■ スライドショーの背景を変更する

操作内容

No.1 背景に使う画像を登録する

「□スライドショーに使う画像ファイルを登録する」を参考に、背景画像に使う画像を本製品に登録します。登録した画像はスライド1～3、7、8で背景画像として利用できます。

No.2 背景に使う画像を選択する

画像を登録すると画像一覧の右端にが表示されます。

をクリックするとその画像がスライドショーの背景になります。

画像の登録

[スライドショー設定に戻る](#)

[ファイルの選択](#) ファイルが選択されていません [ファイルを転送](#)

ディスク使用率: 8.2 % 【空き=2408.6 MB】

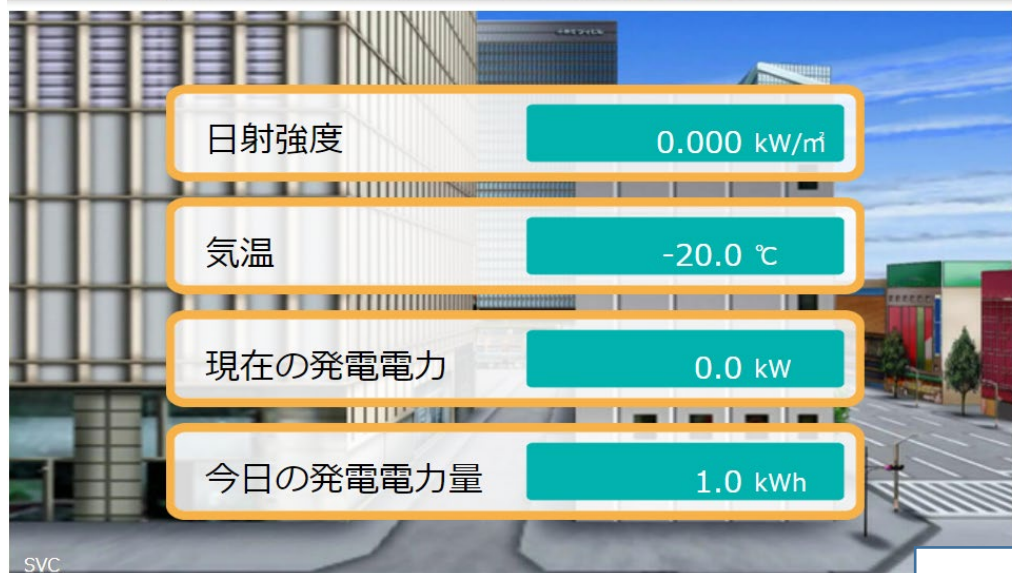
利用できる画像の一覧						
名前	プレビュー	大きさ(ピクセル)	ファイルサイズ	形式	更新日時	
1 システム構成 1 .png		1280 x 720	166 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	
2 システム構成 2 .png		1280 x 720	56 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	
3 システム構成 3 .png		1280 x 720	73 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	
4 背景_街.jpg		1280 x 720	100 KB	JPEG	2017/08/04 16:22:00	

↓

SolarView SVC 2023年6月29日 21:37

Copyright(C) CONTEC CO.LTD. All right reserved.

運用画面 | 計測値 | 帳票 | 運転履歴 | ダウンロード | **スライドショー** | 設定



クリック

背景指定を解除したい場合はをクリックします。

4 背景_街.jpg		1280 x 720	100 KB	JPEG	2017/08/04 16:22:00	
------------	---	------------	--------	------	---------------------	---

■ スライド毎の設定を変更する

スライド毎の設定は[更新]ボタンをクリックすると設定が変更されますが、以下の注意点があります。



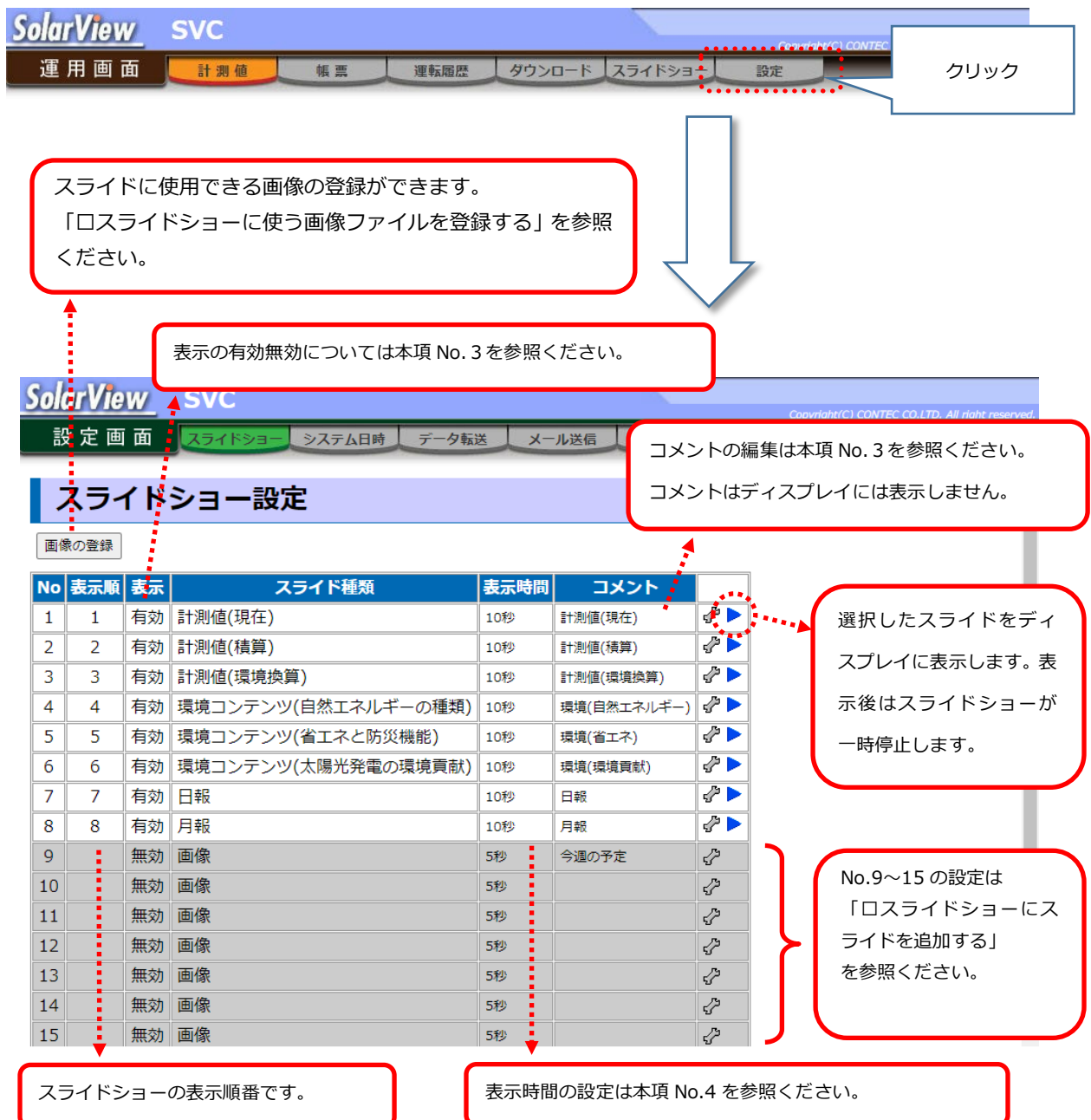
更新ボタンを押してもディスプレイ表示はすぐに反映されません。

1枚目のスライドが表示されたときに反映されます。

■ 各スライドの表示の有無を設定する

操作内容

No.1 スライドの一覧を表示



クリック

スライドに使用できる画像の登録ができます。
「ロスライドショーに使う画像ファイルを登録する」を参照
ください。

表示の有効無効については本項 No. 3 を参照ください。

コメントの編集は本項 No. 3 を参照ください。
コメントはディスプレイには表示しません。

選択したスライドをディ
スプレイに表示します。表
示後はスライドショーが
一時停止します。

No.9～15 の設定は
「ロスライドショーにス
ライドを追加する」
を参照ください。

スライドショーの表示順番です。

表示時間の設定は本項 No.4 を参照ください。

「No.1～8」のスライドは内容を編集することができません。(表示の有効無効や表示時間の変更は可能です。)

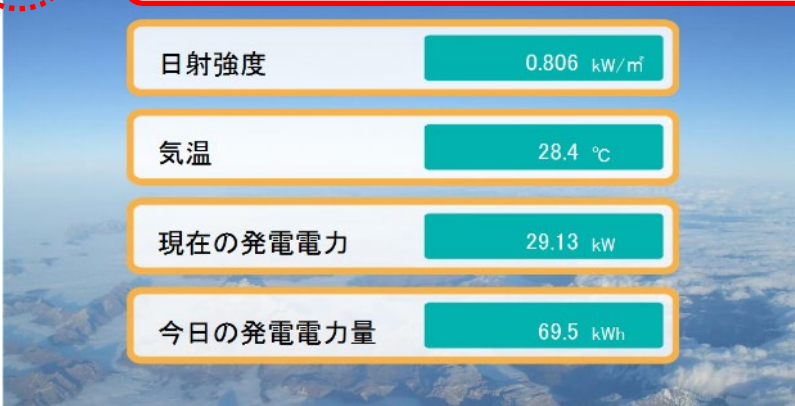
「No.9～15」は内容の編集が可能なスライドとなります。

内容の編集方法は「ロスライドショーにスライドを追加する」をご参照ください。

をクリックしてスライドを表示したときの注意点

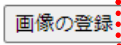
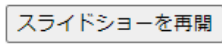
 をクリックするとディスプレイに選択したスライドを表示しますが、スライドショーは一時停止します。
 スライドショーが一時停止している場合、ディスプレイに一時停止のアイコンが表示されます。

ディスプレイでページ表示部に「 || 」が表示されている場合は
 スライドショーが一時停止しています。



スライドショーが一時停止している場合、スライドショーの設定は以下になります。

スライドショー設定

[スライドショーを再開]ボタンが表示されます。

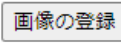
No	表示順	表示	スライド種類	表示時間	コメント	
1	1*	有効	計測値(現在)	10秒	計測値(現在)	
2	2	有効	計測値(積算)	10秒		
3	3	有効	計測値(環境換算)	10秒		

表示中のスライドに「 * 」がつきます。

[スライドショーの再開]ボタンをクリックすると一時停止が解除され、スライドショーが再開します。

スライドショー設定

スライドショーを再開しました



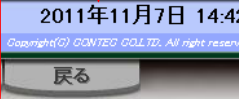
No	表示順	表示	スライド種類	表示時間	コメント	
1	1	有効	計測値(現在)	10秒	計測値(現在)	
2	2	有効	計測値(積算)	10秒	計測値(積算)	
3	3	有効	計測値(環境換算)	10秒	計測値(環境換算)	

No.2 設定変更する「スライドショー設定」を表示（スライド No.1～8）

No	表示順	表示	スライド種類	変更するスライドをクリック	
1	1	有効	計測値(現在)	10秒	計測値(現在)
2	2	有効	計測値(積算)	10秒	計測値(積算)
3	3	有効	計測値(環境換算)	10秒	計測値(環境換算)
4	4	有効	環境コンテンツ(自然エネルギーの種類)	10秒	環境(自然エネルギー)
5	5	有効	環境コンテンツ(省エネと防災機能)	10秒	環境(省エネ)
6	6	有効	環境コンテンツ(太陽光発電の環境貢献)	10秒	環境(環境貢献)
7	7	有効	日報	10秒	日報
8	8	有効	月報	10秒	月報

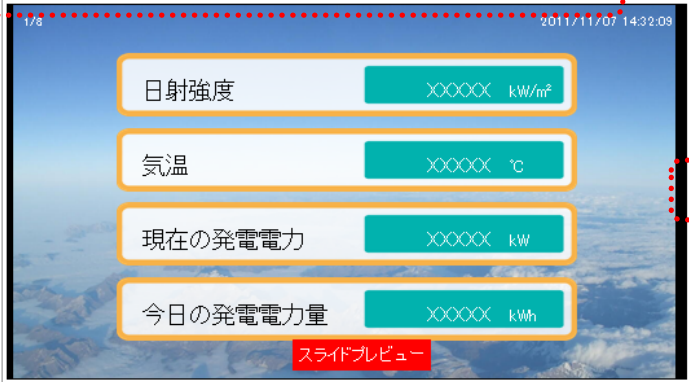


各番号をクリックすることで設定するスライドを切り替えます。
「スライド一覧に戻る」をクリックすると
スライド一覧画面に戻ります。



スライドショー設定(スライド1)

スライド一覧に戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



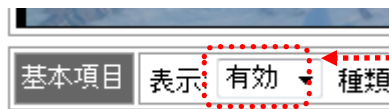
このスライドを画面に表示

基本項目 表示: 有効 ▼ 種類: 計測値(現在) ▼ 表示時間: 10 秒 コメント: 計測値(現在) 更新

[このスライドを画面に表示]ボタンは本項 No.1 の  と同様に
ディスプレイのスライドショーを一時停止してスライドを表示します。
スライドショーの再開方法は本項 No.1 の
「  をクリックしてスライドを表示したときの注意点 」を参照してください。

基本項目の「種類」は「スライド種類」は変更することはできません。

No.3 スライド表示の有効・無効の設定



「表示」は以下から選択します。

- ・無効 … 表示しない
- ・有効 … 表示する

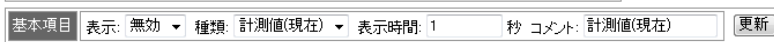
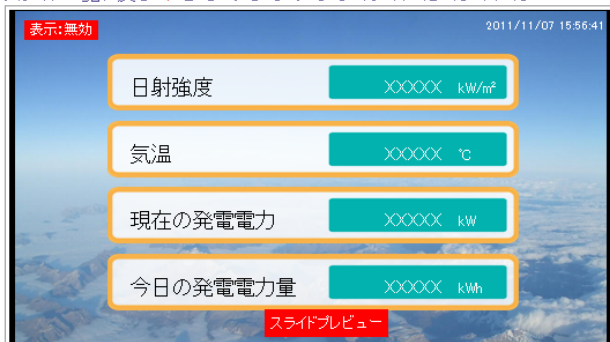
無効に設定して[更新]ボタンをクリックすると、[このスライドを画面に表示]ボタンは表示されなくなります。



スライドショー設定(スライド1)

スライド1の設定を保存しました
設定はスライドショーが次周になった時に反映されます

スライダー一覧に戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

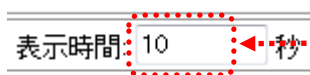


■ 各スライドの表示時間を設定する

操作内容

No.1 スライドの表示時間の設定

[更新]ボタンをクリックすることによって表示時間が更新されます。
設定はスライドショーが次周になったときに反映します。



スライドの表示時間を設定します。
時間は1～999 秒まで指定できます。

■ 各スライドにコメントを入力する

操作内容

No.1 コメントの入力

スライドショーのコメントを入力します。
ここで入力したコメントは管理用のコメントとして「スライドショー設定」のスライダー一覧で表示されます。
コメントの入力後、[更新]ボタンをクリックすると反映します。

■ スライドショーにスライドを追加する

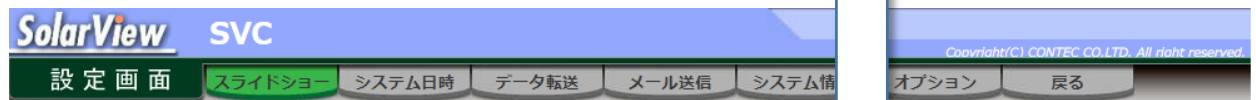
操作内容

No.1 「スライドショー設定」画面の表示（スライド No.9～15）

「運用画面」の「設定」をクリックします。



変更するスライドをクリック



スライドショー設定(スライド15)



スライドの設定画面が表示されます。

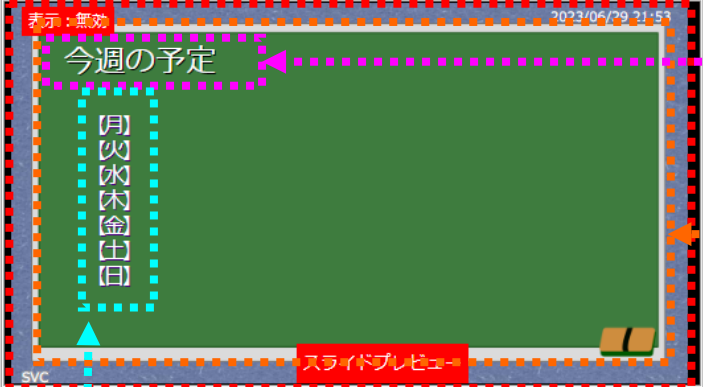
スライド No 9～15 の設定画面では
スライドの編集項目も表示されます。

基本設定	表示: 無効	種類: 画像	表示時間: 5	秒	コメント:	更新
背景画像	720_ARCB.png ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します					
タイトル	サイズ: 72 位置: (100, 100) 色: white black フォント: 通常					
本文	サイズ: 56 位置: (100, 100) 色: white black フォント: 通常					

スライド No.9 は工場出荷時に掲示板のサンプルとなるようなスライドが設定されています。
このスライドを使って設定内容を説明します。

スライドショー設定(スライド9)

一覧へ戻る 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15



表示: 無効 2023/06/29 21:53

..... タイトル 本項 No.4 参照

..... 背景画像 本項 No.3 参照

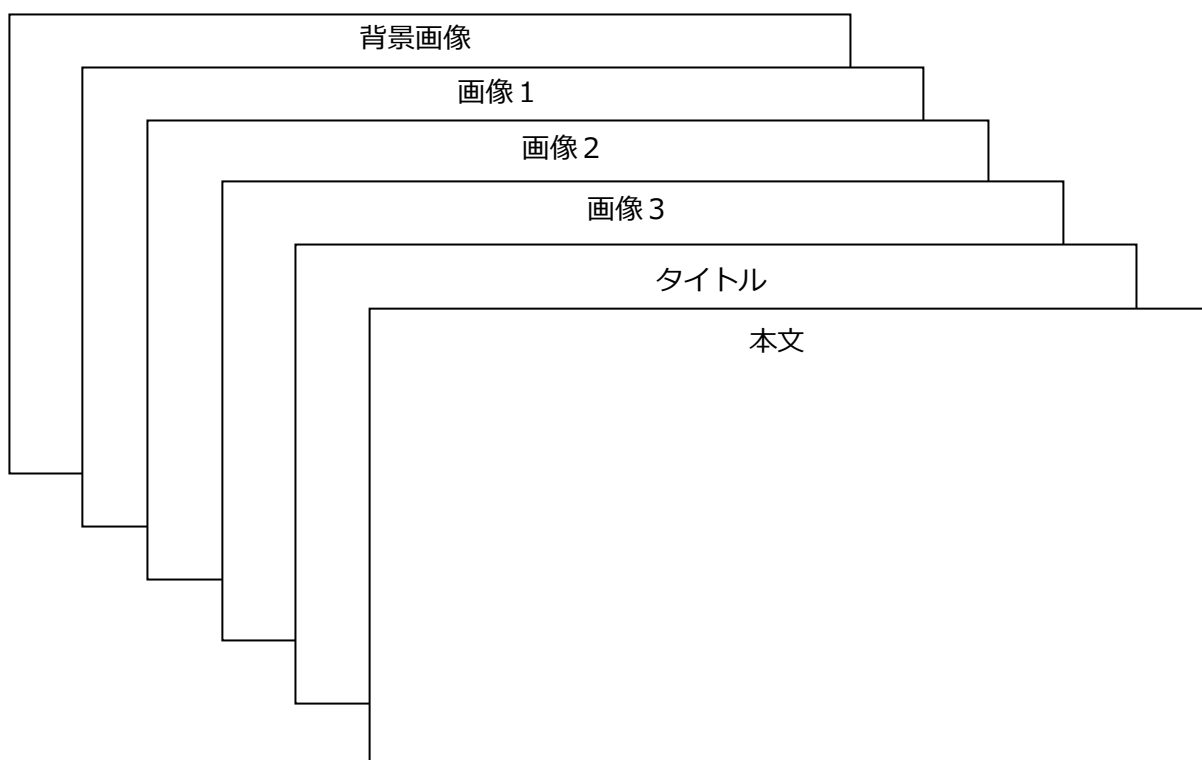
..... 画像 本項 No.6 参照

SVC スライドプレビュー

基本設定	表示: 無効	種類: 画像	表示時間: 5 秒	コメント: 今週の予定	更新
背景画像	bg_paper_2.jpg ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します				
タイトル	今週の予定 サイズ: 72 位置: (100, 70) 色: white black フォント: 通常				
本文	【月】 【火】 【水】 【木】 【金】 【土】 【日】 サイズ: 56 位置: (140, 210) 色: white indian フォント: 通常				

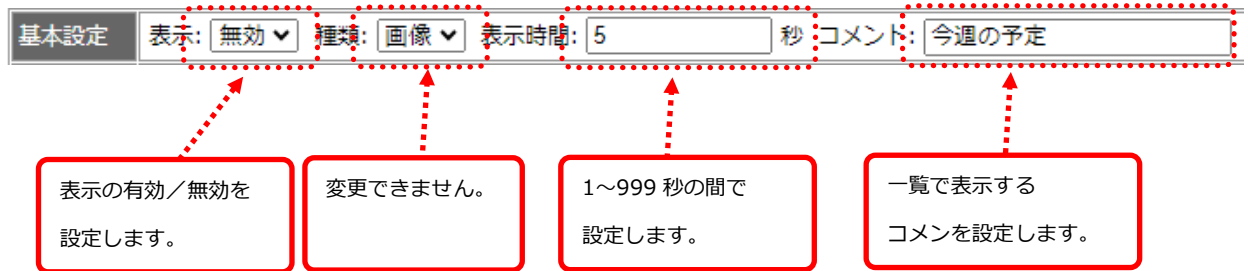
本文 本項 No.5 参照

「背景画像」、「画像」、「タイトル」、「本文」を編集してスライドを作成します。
これらの表示順は下記となっており、「本文」が最前面に表示されます。



No.2 「基本項目」の設定

設定は「ロスライド毎の設定を変更する」と同様です。詳細はそちらを参照ください。

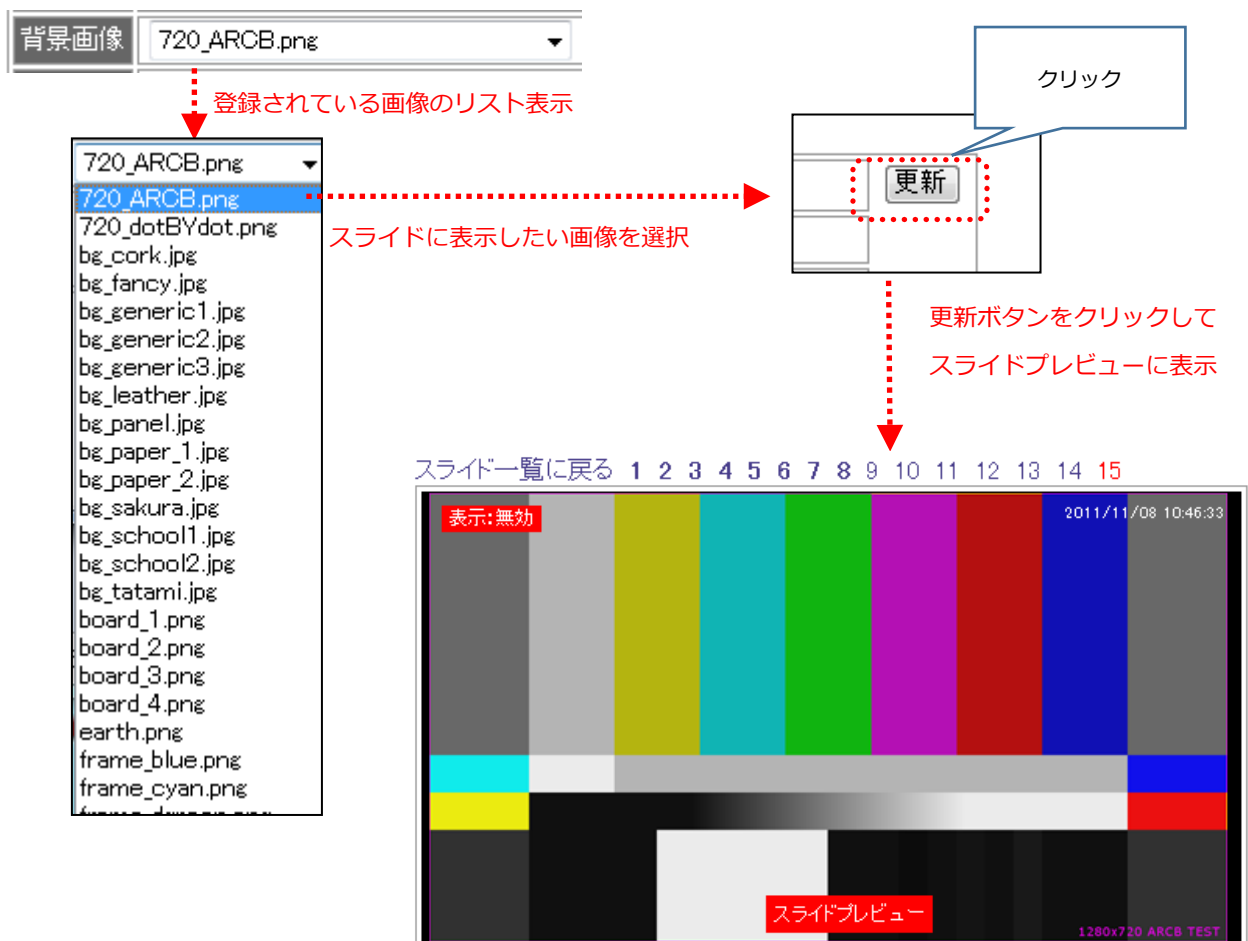


⚠ 「コメント」には、環境依存文字は使用できません（例：(株)、①、②、ミ、和）

No.3 「背景画像」の設定

登録されている画像から選択してスライドの背景に設定します。

画像の登録方法は「ロスライドショーに使う画像ファイルを登録する」を参照ください。

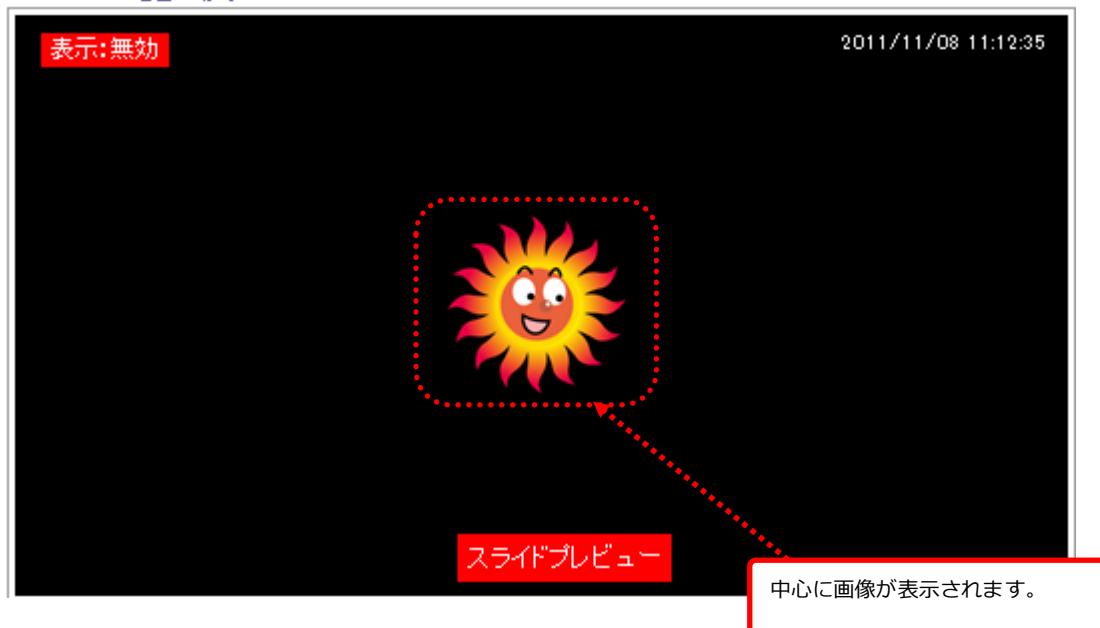


本製品のディスプレイ表示の解像度は1280×720 です。

1280×720 以外の解像度の画像を背景に指定した場合、背景はスライドの中心に表示されます。

(次ページ) 例：製品に登録済の「sun.png」(解像度 223×224)を背景画像に設定した場合

スライド一覧に戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



No.4 「タイトル」と「本文」の設定

「タイトル」と「本文」では、表示したい文字列、サイズ、位置、色、フォントを設定できます。
下記では「タイトル」の設定を説明しますが「本文」も同様の操作で設定できます。

- 表示文字

タイトル	タイトル	サイズ: 70	位置: (100 , 100)	色: white	black	フォント: 通常 ▼
------	------	---------	-------------------	----------	-------	------------

「タイトル」の文字の入力は50文字まで入力できます。（「本文」は特に制限はございません。）
例）「タイトル」と入力し、【更新】ボタンをクリックするとプレビューが下記の表示になります。

スライド一覧に戻る 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



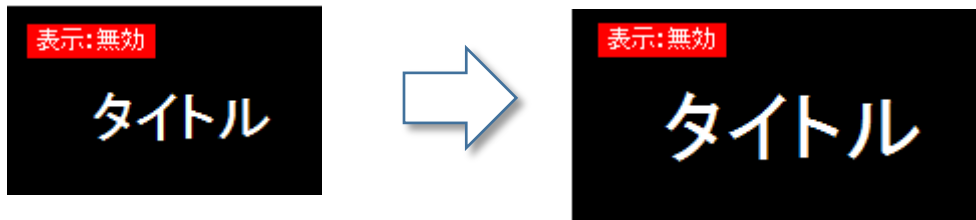
「タイトル」、「本文」には、環境依存文字は使用できません（例：(株)、①、②、ミ、㊦）

- ・ サイズ

タイトル	タイトル	サイズ: 70	位置: (100 , 100 ,)	色: white	black	フォント: 通常
------	------	---------	---------------------	----------	-------	----------

サイズは 8~120 の範囲で選択することができます。選択リストが表示さ

例) サイズを「72」→「100」に変更し、[更新] ボタンをクリックすると文字のサイズが変更されます。



- ・ 位置

タイトル	タイトル	サイズ: 70	位置: (100 , 100 ,)	色: white	black	フォント: 通常
------	------	---------	---------------------	----------	-------	----------

位置は $x = -50 \sim 1280$, $y = -50 \sim 720$ まで入力することができます。

例) 位置を (0 , 0)に変更し、[更新] ボタンをクリックすると文字の位置が変更されます。



・ 色

タイトル
サイズ: 72 ▼ 位置: (100 , 100) 色: white black フォント: 通常 ▼

文字の色

文字の影色



色の文字部分をクリックするとカラーピッカー（色選択画面）が表示されます。

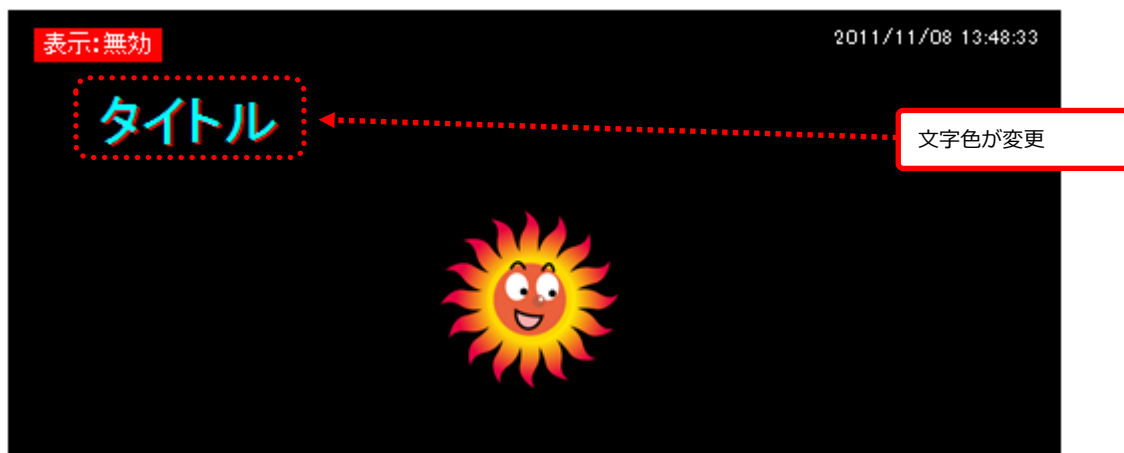
タイトル
サイズ: 72 ▼ 位置: (100 , 100) 色: white black フォント: 通常 ▼

クリック



タイトル
サイズ: 72 ▼ 位置: (100 , 100) 色: cyan black フォント: 通常 ▼

色の設定後「更新」ボタンをクリックすると以下のように文字色の変更されます。



・ フォント

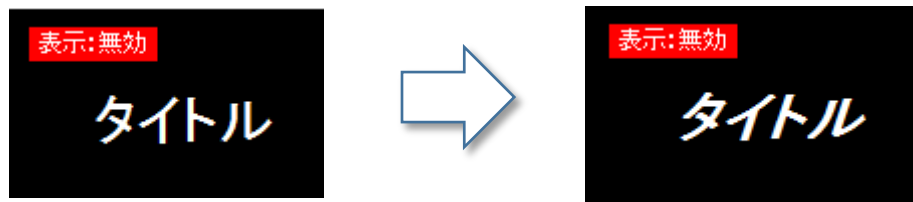
タイトル	タイトル	サイズ: 70	位置: (100 , 100)	色: white	black	フォント: 通常 ▼

例) フォントを「太字斜体」に変更します。

タイトル	タイトル	サイズ: 70	位置: (100 , 100)	色: white	black	フォント: 通常 ▼

フォント: 太字斜体 ▼
 通常
 太字
 斜体
 太字斜体

フォントの設定後、「更新」ボタンをクリックすると以下のように変更されます。



No.5 「画像」の設定

スライドに3枚までの画像と表示位置を指定することができます。

基本設定	表示: 無効 ▼	種類: 画像 ▼	表示時間: 5 秒	コメント:	更新
背景画像	720_ARCB.png ▼				
タイトル	タイトル	サイズ: 72 ▼	位置: (100 , 100)	色: white	black
本	①クリックすると登録済み画像の一覧を表示します。				
	位置: (200 , 200)	色: white	black	フォント: 通常 ▼	
画像	画像1: 未使用 ▼	位置: (0 , 0)			
	画像2: 720_ARCB.png ▼	位置: (0 , 0)			
	画像3: 720_ARCB.png ▼	位置: (0 , 0)			
	720_dotBYdot.png bg_cork.jpg bg_fancy.jpg bg_generic1.jpg bg_generic2.jpg bg_generic3.jpg bg_leather.jpg				

③設定を完了したらクリックします。

②表示位置は (x, y) で指定します。
 入力可能な値は以下の通りです。
 x : -50~1280
 y : -50~720
 例) x=0, y=0 →左上
 x=1280,y=720 →右下

例) 位置(0, 450)、画像 : panel.png



No.6 「計測値」の設定

スライドに計測値を表示することができます。表示可能な項目は「発電電力」「日射強度」「気温」「積算電力量」「CO₂削減量」となります。表示したい項目をチェックし、表示する位置座標を入力します。値を入力し【更新】ボタンをクリックして設定を保存します。

基本設定	表示: 無効	種類: 画像	表示時間: 5 秒	コメント: 今週の予定	更新
背景画像	sun.png ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します				
タイトル	タイトル サイズ: 72 位置: (100, 80) 色: cyan black フォント: 太字斜体				
本文	サイズ: 48 位置: (140, 160) 色: cyan indigo フォント: 通常				
画像	画像1: panel.png 位置: (0, 450) 画像2: 未使用 位置: (0, 0)				
計測値表示	☐ 発電電力 位置: (500, 190) ☐ 積算電力量 位置: (50, 450) ☐ 日射強度 位置: (50, 50) ☐ CO ₂ 削減量 位置: (850, 590) ☐ 気温 位置: (50, 150) 初期値をセット				



計測値の表示枠はテーマに応じたものになります。

No.7 表示を有効にしてスライドショーに追加

スライドショー設定(スライド9)

設定を更新しました[スライド9]

設定はスライドショーが次周になった時に反映されます

一覧へ戻る 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15



基本設定	表示: 有効	種類: 画像	表示時間: 5 秒	コメント: 今週の予定	更新
背景画像	sun.png ※背景画像が未設定の場合、「共通背景」または「テーマの背景」を表示します				
タイトル	タイトル サイズ: 72 位置: (100, 80) 色: cyan black フォント: 太字斜体				

設定はスライドショーが次周になったときに反映します。

■ スライドショーに使う画像ファイルを登録する

- ・ 画像ファイルを登録する

操作内容

No.1 「画像の登録」画面の表示

「運用画面」の「設定」 → 「スライドショー設定」の[画像の登録]ボタンをクリックします。

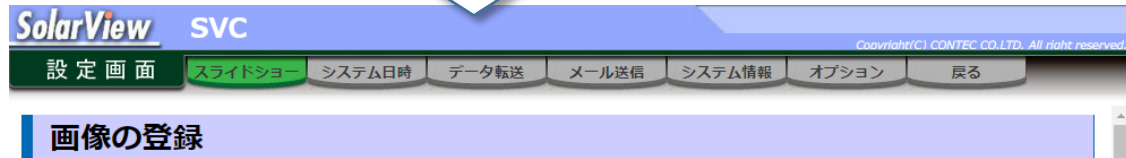


クリック

スライドショー設定

No	表示順	表示	スライド種類	表示時間	コメント	
1	1	有効	計測値(現在)	10秒	計測値(現在)	🔍 ▶
2	2	有効	計測値(積算)	10秒	計測値(積算)	🔍 ▶
3	3	有効	計測値(環境換算)	10秒	計測値(環境換算)	🔍 ▶
4	4	有効	環境コンテンツ(自然エネルギーの種類)	10秒	環境(自然エネルギー)	🔍 ▶
5	5	有効	環境コンテンツ(省エネと防災機能)	10秒	環境(省エネ)	🔍 ▶
6	6	有効	環境コンテンツ(太陽光発電の環境貢献)	10秒	環境(環境貢献)	🔍 ▶

クリック



画像の登録

スライドショー設定に戻る

ディスク使用率 : 8.2 % 【空き=2409.0 MB】

利用できる画像の一覧							
	名前	プレビュー	大きさ(ピクセル)	ファイルサイズ	形式	更新日時	
1	システム構成 1.png		1280 x 720	166 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	🔍 🗑️ ▶
2	システム構成 2.png		1280 x 720	56 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	🔍 🗑️ ▶
3	システム構成 3.png		1280 x 720	73 KB	PNG	2017/08/04 16:12:00	🔍 🗑️ ▶
4	背景_街.jpg		1280 x 720	100 KB	JPEG	2017/08/04 16:22:00	🔍 🗑️ ▶
5	背景_地球.jpg		1280 x 720	89 KB	JPEG	2017/08/04 16:24:00	🔍 🗑️ ▶
6	720_480B.png		1280 x 720	21 KB	PNG	2011/09/15	▶

No.2 画像ファイルを転送する

本製品にパソコンの画像ファイルを転送することができます。転送する画像ファイルは以下の形式で作成してください。

画像の形式

- 拡張子 : 「.jpg」または「.png」で作成してください。
- 解像度 : 1280×720 以下の画像を使用してください。
- ファイルサイズ : 1 MB 以下で作成してください。
- ファイル名 : 半角英数字で作成してください。




6	720_ARCB.png		1280 x 720	21 KB	PNG	2011/09/15 13:02:13	
7	720_dotBYdot.png		1280 x 720	8 KB	PNG	2011/09/15 13:02:13	
8	IMG_0034_xga.JPG		1024 x 768	159 KB	JPEG	2023/06/29 22:17:06	

転送した画像が一覧に追加されます

- ・ 画像ファイルを編集する

操作内容

No.1 画像ファイルの編集

本製品では登録されている画像の指定サイズへのリサイズや、指定範囲の切り出しを行うことができます。
スライドに使用している画像は編集することができません。

30	sun.png		223 × 224	「 sun.png 」ファイルはスライドで 使用中のため、編集できません。			0:44:49	
31	test.jpg		1280 × 720	57 KB	JPEG	2011/11/14 10:33:57		
32	test.png	TEST	220 × 155	1 KB	PNG			





設定画面
 スライドショー
 システム日時
 データ転送
 メール送信
 システム情報
 オプション

選択した画像の解像度が初期表示されます。

画像の登録

test.jpg の大きさを 横:1280 縦:720 (ピクセル)に変更します。

拡大・縮小して調整
 切り出して調整 (切り出し開始位置 横:0 縦:0 から)
 キャンセル



画像の登録

① 切り出し、または拡大・縮小したい解像度を入力してください。

test.jpg の大きさを 横: 720 縦: 480 (ピクセル) に変更します。

拡大・縮小して調整

切り出して調整

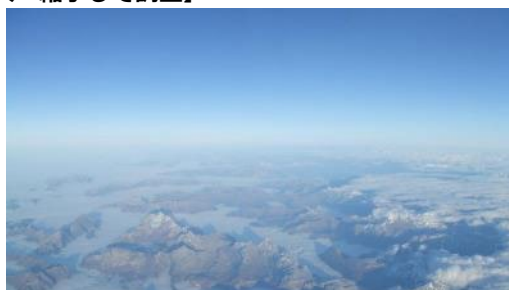
(切り出し開始位置 横: 0 縦: 0 から)

キャンセル



上図の位置で調整を行った場合下記となります。

【拡大・縮小して調整】

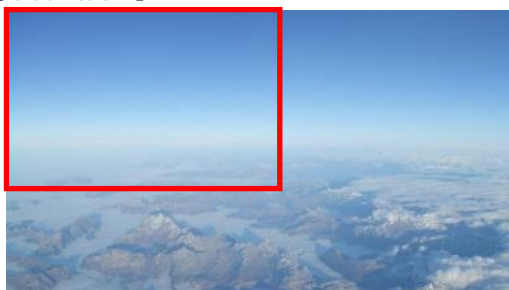


解像度 : 1280 × 720

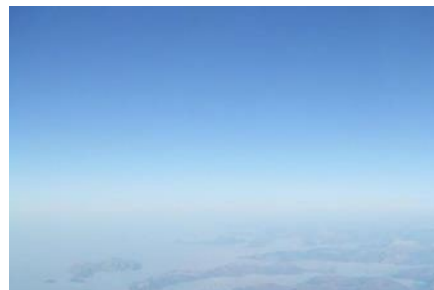


解像度 : 720 × 480

【切り出して調整】



解像度 : 1280 × 720



(0,0)点から 720 × 480 を切り出した画像

- ・ 画像ファイルを削除する

操作内容

No.1 画像ファイルの削除

「利用できる画像の一覧」から  をクリックすると登録されている画像を削除できます。

 スライドで使用している画像は削除できませんのでご注意ください。

30	sun.png		223 × 223	「 sun.png 」ファイルはスライドに使用しているので、削除できません。				2011/11/14 10:44:49	
31	test.jpg		1280 × 720	57 KB	JPEG	2011/11/14 10:33:57			
32	test.png	TEST	220 × 155	1 KB	PNG	2011/11/14 10:12:36			

 をクリック

画像の登録

test.jpg を削除してよろしいですか？

削除

キャンセル

「削除」ボタンをクリック



4.4. 接点監視機能を使う

本製品では有電圧接点（DC 12～24V）を取り込んで設備監視を行うことができます。

接続方法等は解説書を参照ください。

接点監視機能は接点の状態の変化後、信号が 10 秒以上安定した場合に変化を検知します。

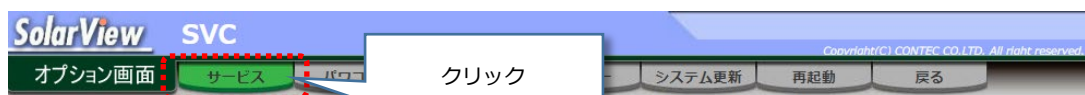
■ 接点監視機能を設定する

工場出荷時状態では接点監視機能は無効になっています。接点監視機能を有効にするには設定を行う必要があります。

操作内容

No.1 「接点監視設定」の表示

「オプション画面」の「サービス設定」から[詳細設定]→[接点監視設定]をクリックします。

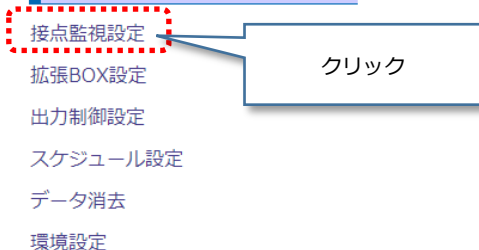


サービス設定

サービス	停止中	起動	停止
名称	SVC		
定格発電電力(合計)	100	kW	パワコン設定の契約容量から算出
環境計測設定	日射・気温の取込み元: パワコン1 [アナログ入力設定]		
管理者のメールアドレス	(0/300文字)		
メール送信	パワコン異常時: 無効 パワコン通信異常時: 無効 定期報告: 無効		
スライドショー	テーマ: 一般1 フォント: ゴシック ページ表示: 〇●〇 時計表示: M月D日(曜) h:mm パワコン異常表示: 有効 通信異常表示: 有効 名称表示: 無効		
ディスプレイとの接続	TV接続(DVI-HDMI変換)		
環境係数	CO ₂ 換算: 0.3145 kg-CO ₂ /kWh クスノキ換算: 0.00257 本/kg-CO ₂		
Modbusサーバ	無効 アドレス割当て		
発電開始日	☒ 自動判別 ☐ 手動設定		
更新			



詳細設定メニュー



No.2 「接点監視設定」を行う

接点監視設定では

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ① 接点の名称 | … 表示やメール送信時にこの名称を用います |
| ② 履歴対象にするか? | … 状態が変化すると履歴に記録します |
| ③ メール送信対象にするか? | … 状態が変化するとメール送信します |
| ④ ディスプレイに状態を表示するか? | … ディスプレイに状態を表示します |
- を設定します。

接点監視設定

接点異常定義ファイルが見つかりませんでした

[戻る](#)

	名称	履歴対象	メール送信	ディスプレイ表示
接点1	接点1	--▼	--▼	--▼
接点2	接点2	--▼	--▼	--▼
接点3	接点3	--▼	--▼	--▼
接点4	接点4	--▼	--▼	--▼

[更新](#)

※初期状態では設定が存在しないので上記のようなエラーメッセージが表示されます。

各接点に対し「名称」「履歴対象にするか」「メール送信対象にするか」「ディスプレイ表示するか」を指定します。

- ・履歴対象 … 「○」を指定すると接点の ON/OFF 変化を運転履歴に保存します。
- ・メール送信 … 「○」を指定すると接点の ON/OFF 変化時にメールを送信します。
- ・ディスプレイ表示 … 「○」を指定すると接点が ON の時にディスプレイ右上に「」のように表示します。

設定が終わったら[更新]ボタンをクリックして設定を保存します。

No.3 サービスを起動する

接点監視設定が完了したらサービスを起動します。サービスが起動すると接点監視機能が有効になります。

■ 接点信号の状態を見る

接点信号の状態は「運用画面」の「計測値」画面から下記のように確認できます。



現在の発電	87.88	kW
気温	29.5	°C
日射強度	0.983	kW/m²

パワコン	発電	ステータス
1	44.23 kW	RUN STOP TEST1 TEST2
2	43.65 kW	RUN STOP TEST1 TEST2

接点が ON の時は背景色：オレンジ、前景色：白で接点のランプが点灯します。

接点が OFF の時は背景色：薄緑、前景色：白で接点のランプが消灯します。

■ 接点信号の履歴を見る

「運用画面」の「運転履歴」をクリックします。



クリック

レベルをチェックし、
設接点監視を選択します。

14件の

☐ 検出日時 から まで

☒ レベル 接点監視 ☐ パワコン パワコン1 ステータス: ☒ ON ☒ OFF

☐ 信号名称 (部分一致)

新しい順に 10件 表示

No	検出日時	レベル	検出元	信号名称	ステータス
1	2022/08/24 21:51:11	接点監視	接点1	接点1	ON
2	2022/08/24 21:48:13	接点監視	接点3	接点3	ON
3	2022/08/24 10:59:46	接点監視	接点4	接点4	OFF
4	2022/08/24 10:59:18	接点監視	接点4	接点4	ON
5	2022/08/24 10:58:39	接点監視	接点2	接点2	OFF
6	2022/08/24 10:58:32	接点監視	接点2	接点2	ON
7	2022/08/24 10:58:03	接点監視	接点1	接点1	OFF

7件の履歴が見つかりました

運転履歴の消去は [サービス設定] 画面の [詳細設定] → [データ消去] から行えます

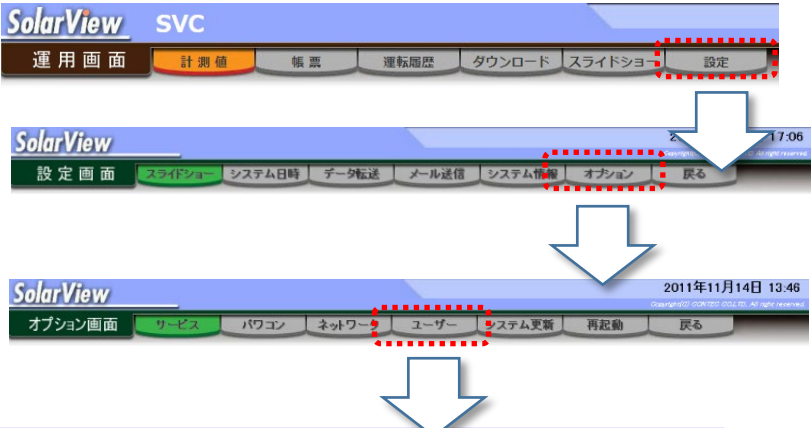
4.5. ユーザー情報を設定する

■ ユーザーを登録する

操作内容

No.1 「ユーザー設定」画面の表示と登録

「運用画面」メニューの「設定」→「オプション」→「ユーザー」をクリックします。



ユーザー設定

ユーザーの追加・削除

登録済みユーザーリスト

solar

① ユーザー名を入力します。既存ユーザー名を入力するとパスワードの変更、存在しないユーザー名を入力すると新規登録になります。

② パスワードを入力します。

③ [登録]ボタンをクリック

登録済みユーザーリスト

ユーザー名

パスワード

指定可能文字：半角英数字と「-(ハイフン)」 「_(アンダーバー)」

登録 削除

ユーザー認証範囲の設定

全画面を認証対象にする 設定画面、オプション画面のみを認証対象にする

■ ユーザーを削除する

操作内容

No.2 登録されているユーザーを削除する

※ 1 ユーザーしか登録されていない場合、そのユーザーを削除することはできません。

ユーザー設定

ユーザーを登録しました

登録済みユーザーリスト

solar

test

① 削除するユーザー名を一覧からクリックするかキーボードから入力します。

② [削除]ボタンをクリック

ユーザー名

パスワード

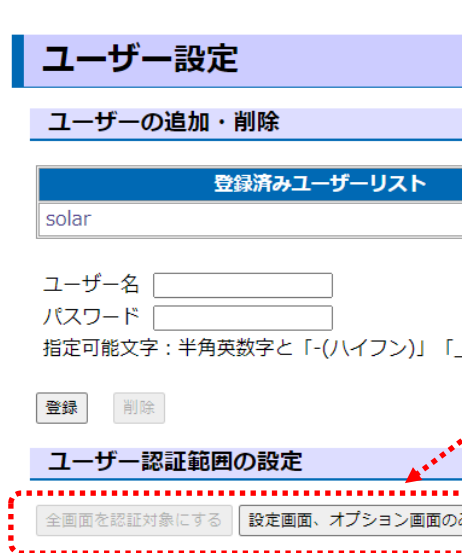
登録 削除

■ 認証画面の範囲を変更する

操作内容

No.3 ユーザー認証が必要な画面の範囲を変更する

ユーザー認証範囲の設定のボタンをクリックすることでユーザー認証の対象となる画面を変更することができます。Ver.8.00 以降の工場出荷時の設定では全画面を認証対象にしています。



ユーザー設定

ユーザーの追加・削除

登録済みユーザーリスト

solar

ユーザー名

パスワード

指定可能文字：半角英数字と「-(ハイフン)」 「_」

ユーザー認証範囲の設定

② ユーザー認証を行う画面の範囲を以下に合わせて選択します。

- ・全画面を認証対象にする（推奨）
すべての画面が認証対象となり、ユーザー認証を行わないと画面にアクセスできません。
- ・設定画面・オプション画面のみを認証対象とする
「運用画面」 … ユーザー認証なしで閲覧可能
「設定／オプション画面」 … ユーザー認証を行わないとアクセス不可

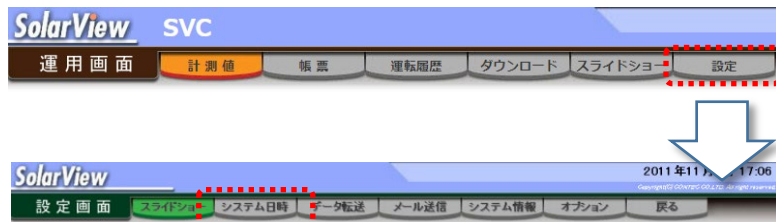
セキュリティ面から「全画面を認証対象にする」で運用することを強く推奨します。

4.6. システム日時を変更する

操作内容

No.1 「システム日時設定」の画面の表示と日時の設定

「運用画面」メニューの「設定」→「システム日時」をクリックします。



システム日時設定

現在のシステム日時
2022/08/24 08:26:41

変更後のシステム日時
2022 / 08 / 24 08 : 26 : 41

① 変更する日時を入力します。

登録/更新 PCの日時をセット

NTP時刻同期設定

②[登録/更新]ボタンをクリック

システム日時設定

システム時刻を変更しました

現在のシステム日時
2022/08/24 22:27:00

システム日時が変更されたことを確認します。

変更後のシステム日時
2022 / 08 / 24 22 : 27 : 00

登録/更新 PCの日時をセット

NTP時刻同期設定

【PCの日時をセット】ボタンをクリックするとPCのシステム時刻がセットされます。セット後は【登録/更新】ボタンをクリックしてください。

変更後のシステム日時
2022 / 04 / 26 14 : 12 : 48

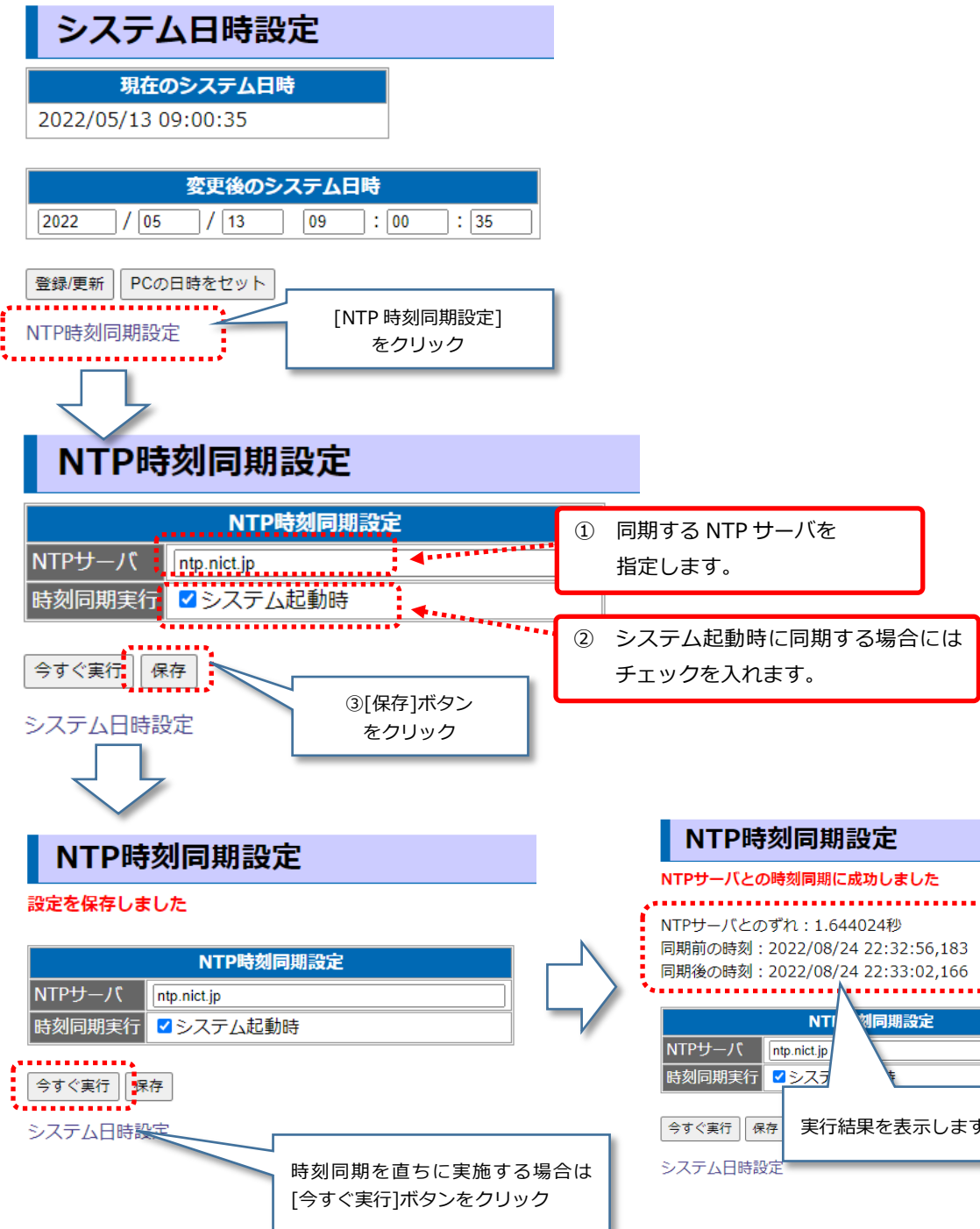
登録/更新 PCの日時をセット

No.2 NTP 時刻同期の設定

※SolarView Air をお使いの場合は操作しないでください。

時刻同期で参照する NTP サーバを変更するには以下の手順で行います。

NTP の時刻同期は初期設定では毎日 AM 2:02:20 に実施します。



4.7. ネットワーク設定を変更する

※SolarView Air をお使いの場合は操作しないでください。

■ IP アドレスの設定

操作内容

No.1 「ネットワーク設定」画面の表示

「運用画面」メニューの「設定」→「オプション」→「ネットワーク」をクリックします。

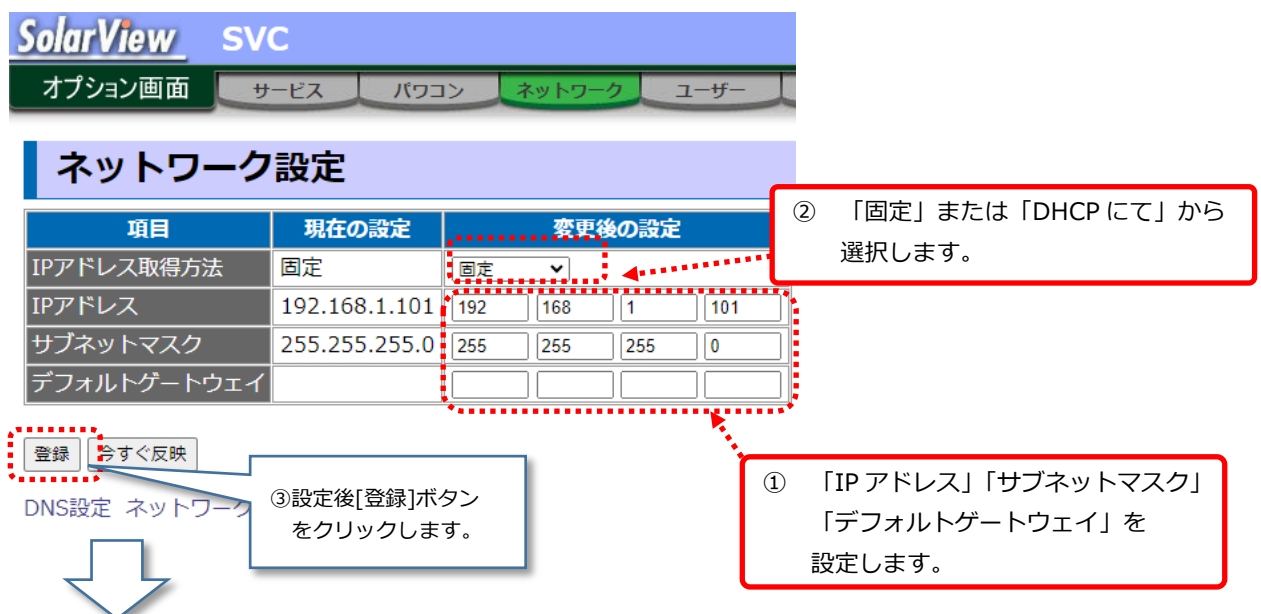


項目	現在の設定	変更後の設定
IPアドレス取得方法	固定	固定
IPアドレス	192.168.1.101	192 168 1 101
サブネットマスク	255.255.255.0	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ		

登録 今すぐ反映

DNS設定 ネットワーク導通チェック

No.2 IP アドレスの設定と反映



② 「固定」または「DHCP にて」から選択します。

① 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

③ 設定後[登録]ボタンをクリックします。

登録 今すぐ反映

DNS設定 ネットワーク

ネットワーク設定

設定を保存しました

変更は「[今すぐ反映]ボタンを押す」か「システムを再起動」した場合に有効になります

項目	現在の設定	変更後の設定			
IPアドレス取得方法	固定	固定 ▼			
IPアドレス	192.168.1.110	192	168	1	110
サブネットマスク	255.255.255.0	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ					

登録 **今すぐ反映**

DNS設定 ネットワーク導通チェック

登録した IP アドレスを反映するには
[今すぐ反映]ボタンをクリック

ネットワーク設定

ネットワーク設定を変更しました

新設定 → <http://192.168.1.110>

反映後は新設定のリンク先より
再アクセスしてください。

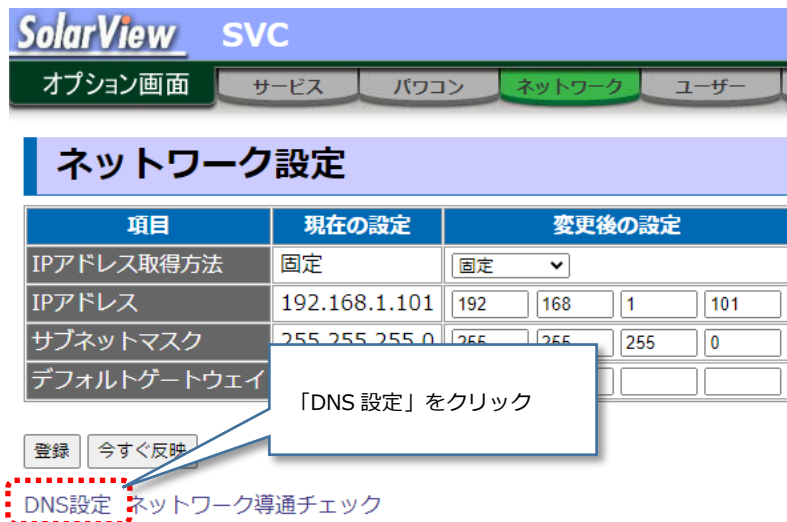
* Reconfiguring network interfaces...

■ DNS を設定する

操作内容

No.1 DNS の設定

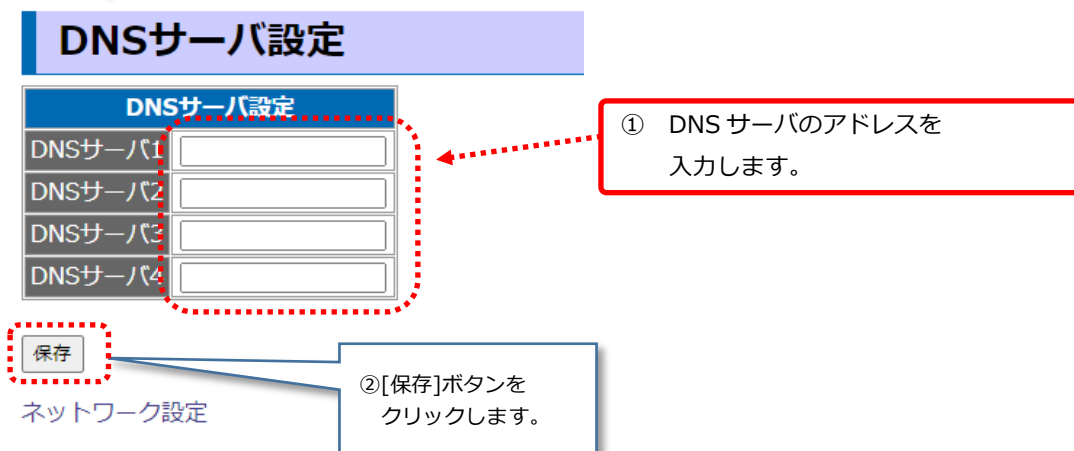
「ネットワーク設定画面」を開きます。



項目	現在の設定	変更後の設定
IPアドレス取得方法	固定	固定 ▼
IPアドレス	192.168.1.101	192 168 1 101
サブネットマスク	255.255.255.0	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ		

登録 今すぐ反映 ネットワーク導通チェック

「DNS 設定」をクリック

DNSサーバ設定	
DNSサーバ1	
DNSサーバ2	
DNSサーバ3	
DNSサーバ4	

保存

① DNS サーバのアドレスを入力します。

② [保存]ボタンをクリックします。

ネットワーク設定

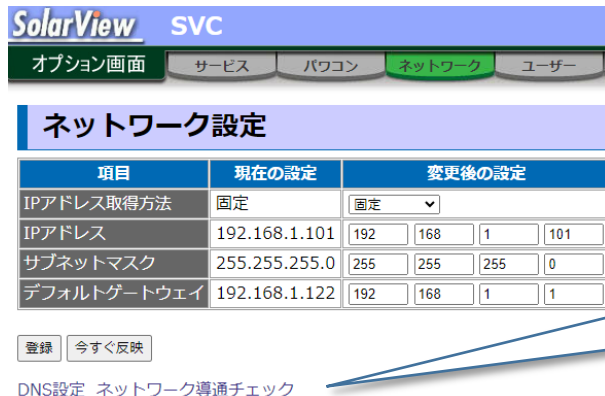
設定は[保存]ボタンをクリックした時点で反映します。

■ ネットワーク導通のチェックを行う

操作内容

No.1 ネットワーク導通チェック

「ネットワーク導通チェック」画面では「ネットワークの導通の確認」(ping)と「DNSの名前解決の確認」(nslookup)を実行しネットワークの導通確認を行うことができます。



SolarView SVC

オプション画面 サービス パソコン **ネットワーク** ユーザー

ネットワーク設定

項目	現在の設定	変更後の設定
IPアドレス取得方法	固定	固定 ▼
IPアドレス	192.168.1.101	192 168 1 101
サブネットマスク	255.255.255.0	255 255 255 0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.122	192 168 1 1

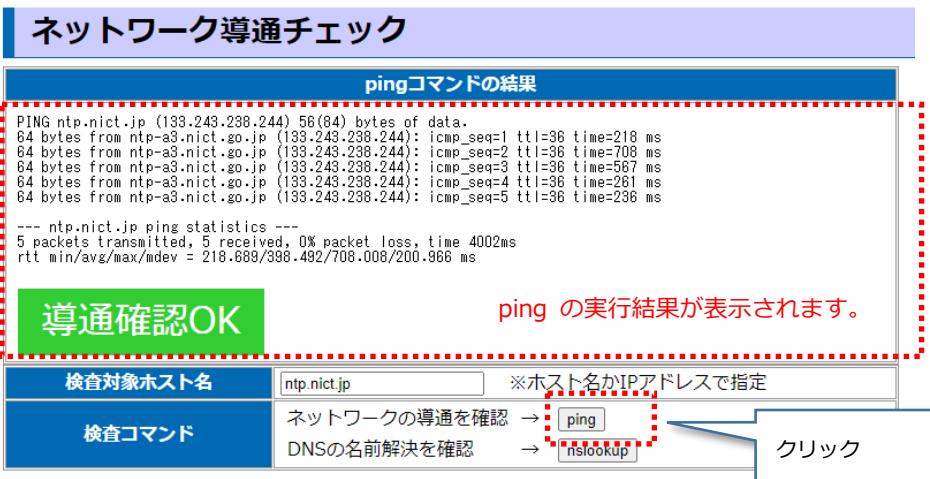
登録 今すぐ反映

DNS設定 ネットワーク導通チェック

ネットワーク設定から
「ネットワーク導通チェック」
をクリック

■ ネットワークの導通を確認 (ping)

「検査対象ホスト名」にホスト名か IP アドレスを入力し、[ping]ボタンをクリックします。



ネットワーク導通チェック

pingコマンドの結果

```

PING ntp.nict.jp (133.243.238.244) 56(84) bytes of data:
64 bytes from ntp-a3.nict.go.jp (133.243.238.244): icmp_seq=1 ttl=36 time=218 ms
64 bytes from ntp-a3.nict.go.jp (133.243.238.244): icmp_seq=2 ttl=36 time=708 ms
64 bytes from ntp-a3.nict.go.jp (133.243.238.244): icmp_seq=3 ttl=36 time=567 ms
64 bytes from ntp-a3.nict.go.jp (133.243.238.244): icmp_seq=4 ttl=36 time=281 ms
64 bytes from ntp-a3.nict.go.jp (133.243.238.244): icmp_seq=5 ttl=36 time=236 ms

--- ntp.nict.jp ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 received, 0% packet loss, time 4002ms
rtt min/avg/max/mdev = 218.689/398.492/708.008/200.966 ms
  
```

導通確認OK ping の実行結果が表示されます。

検査対象ホスト名: ntp.nict.jp ※ホスト名かIPアドレスで指定

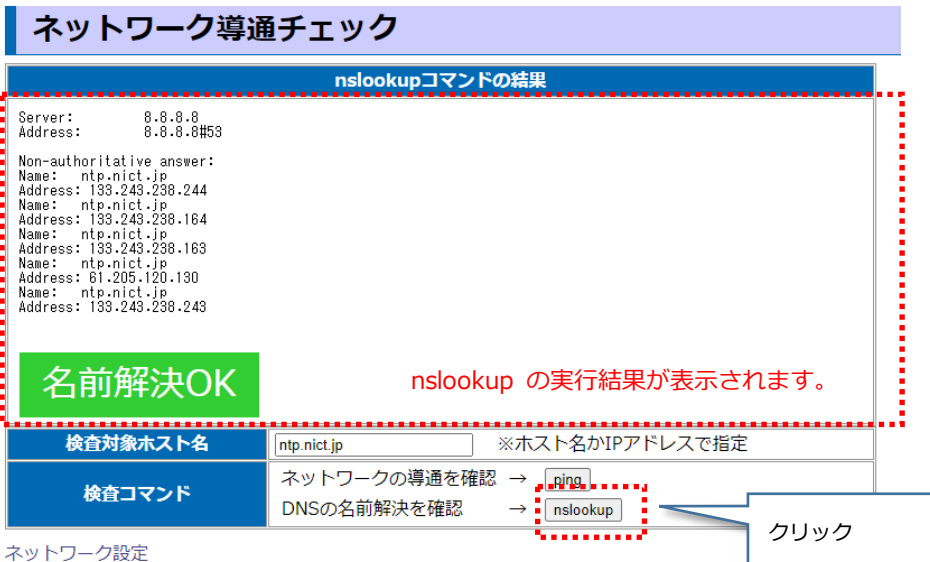
検査コマンド: ネットワークの導通を確認 → ping
DNSの名前解決を確認 → nslookup

クリック

ネットワーク設定

■ DNSの名前解決を確認 (nslookup)

「検査対象ホスト名」にホスト名を入力し、[nslookup]ボタンをクリックします。



ネットワーク導通チェック

nslookupコマンドの結果

```

Server:      8.8.8.8
Address:     8.8.8.8#53

Non-authoritative answer:
Name:   ntp.nict.jp
Address: 133.243.238.244
Name:   ntp.nict.jp
Address: 133.243.238.164
Name:   ntp.nict.jp
Address: 133.243.238.163
Name:   ntp.nict.jp
Address: 61.205.120.130
Name:   ntp.nict.jp
Address: 133.243.238.243
  
```

名前解決OK nslookup の実行結果が表示されます。

検査対象ホスト名: ntp.nict.jp ※ホスト名かIPアドレスで指定

検査コマンド: ネットワークの導通を確認 → ping
DNSの名前解決を確認 → nslookup

クリック

ネットワーク設定

No.2 表示内容を指定する

表示する内容を選択します。

表示内容
日射強度 ▼

日射強度 ▼
日射強度
気温
総合：発電電力
総合：発電電力量(本日)
総合：発電電力量(今月)
総合：発電電力量(今年)
総合：発電電力量(累積)
総合：発電電力量(昨日)
時分秒

No.3 桁数を指定する

表示する桁数（有効桁）を選択します。

桁数
6 ▼

6 ▼
1
2
3
4
5
6

No.4 小数桁数を指定する

表示する小数桁数を選択します。

小数桁
3 ▼

3 ▼
0
1
2
3
4
5

No.5 表示内容の単位を指定する

表示内容の単位を設定します。

単位設定
kW/m² ▼

kW/m² ▼
kW/m²

単位を設定してください。

選択できる単位は表示内容で異なります。

日射強度 : kW/m²

気温 : °C

発電電力 : W, kW, MW

発電電力量 : Wh, kWh, MWh

No.6 係数を指定する

各値に係数を掛けたい場合（CO₂ 換算など）、詳細設定から各項目に係数を設定することができます。

No	表示内容	桁数	小数桁	単位設定
1	日射強度 ▼	6 ▼	1 ▼	kW/m ² ▼
2	気温 ▼	6 ▼	1 ▼	°C ▼
3	総合：発電電力 ▼	6 ▼	2 ▼	kW ▼
4	総合：発電電力量(本日) ▼	6 ▼	2 ▼	kWh ▼

Ⓜ 詳細設定

Ⓜ 係数が1以外の場合、単位設定はkW/kWhにしてください

No.1の係数	1
No.2の係数	1
No.3の係数	1
No.4の係数	1

係数が 1 の場合はそのままの値、10 の場合は 10 倍の値を LED 表示盤に送信します。

No.7 設定の保存

LED表示盤設定(シリアルポート2)

パソコン設定トップ

No	表示内容	桁数	小数桁	単位設定
1	日射強度 ▼	6 ▼	1 ▼	kW/m ² ▼
2	気温 ▼	6 ▼	1 ▼	℃ ▼
3	総合：発電電力 ▼	6 ▼	2 ▼	kW ▼
4	総合：発電電力量(本日) ▼	6 ▼	2 ▼	kWh ▼

田 詳細設定

保存

クリック

完了(29)

プレビュー

0.1

20.5

0.00

0.00

4.9. 計測データファイルを転送する

※SolarView Air をお使いの場合は操作しないでください。

本製品では、FTP を使って計測データを転送することができます。

転送可能なデータは「1 分データ」、「日報データ」、「月報データ」、「年報データ」、「運転履歴」です。

計測データは CSV ファイル（「,」区切りのテキストファイル）になります。

操作内容

No.1 「データ転送設定」画面の表示と設定

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「データ転送」をクリックします。

※データ転送設定は、サービスを停止してから行ってください。



■転送先設定

設定	内容
転送先サーバ	転送先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
転送先ディレクトリ	転送先のリモートのディレクトリを指定してください。
ユーザ名	転送先の認証のユーザ名を入力してください。
パスワード	転送先の認証のパスワードを入力してください。
転送モード	FTP パッシブ通信、FTP アクティブ通信、を選択してください。 通常は FTP パッシブ通信で問題ありません。
データ圧縮	未使用または gzip を選択してください。

■転送対象

名称	内容
1 分データ	1 分単位で 1 日分の計測データファイルです
日報	1 時間単位で 1 日分の計測データファイルです
月報	1 時間単位で 1 日分の計測データファイルです
年報	1 時間単位で 1 日分の計測データファイルです
運転履歴 (CSV)	運転履歴ファイルです。
運転履歴 (LOG)	運転履歴ファイルです。ただし異常名称等がコードになっています。

入力が完了したら[更新]ボタンをクリックして設定を保存します。

設定はサービスを起動すると反映され1時間毎（変更できます）に各計測データファイルが転送されます。

転送の際には指定したディレクトリを起点として以下のディレクトリに転送します。



No.2 テスト送信

転送先の設定の更新後、「データ転送設定」の「テスト送信」をクリックするとデータ転送テストが行えます。

データ転送設定

	転送先サーバ	転送先ディレクトリ	ユーザ名	パスワード	転送モード	データ圧縮
転送先		/			ftp-passive ▼	未使用 ▼
転送対象	☒ 1分データ ☒ 日報 ☒ 月報 ☒ 年報 ☒ 運転履歴(CSV) ☐ 運転履歴(LOG)					

更新

テスト送信

[テスト送信]ボタンをクリック

```

*** Data transfer function TEST***
1MB file send to [サーバ名]/[転送先ディレクトリ]

-- Test file transport (1 / 5) --
TEST file transport completed. (0.3 sec)
-- Test file transport (2 / 5) --
TEST file transport completed. (0.6 sec)
-- Test file transport (3 / 5) --
TEST file transport completed. (0.3 sec)
-- Test file transport (4 / 5) --
TEST file transport completed. (0.6 sec)
-- Test file transport (5 / 5) --
TEST file transport completed. (0.5 sec)

Data transported result => 17.4 Mbps
          
```

テスト用のファイルを転送した結果が表示されます。

No.3 データ転送間隔の変更

初期状態ではデータ転送は1時間に一回行います。この間隔を変更するには以下の手順で行います。

「データ転送設定」の「詳細設定」→「スケジュール設定」をクリックします。

データ転送設定

	転送先サーバ	転送先ディレクトリ	ユーザ名	パスワード	転送モード	データ圧縮
転送先		/			ftp-passive ▼	未使用 ▼
転送対象	☒ 1分データ ☒ 日報 ☒ 月報 ☒ 年報 ☒ 運転履歴(CSV) ☐ 運転履歴(LOG)					

更新

テスト送信

データ転送間隔は [詳細設定] から設定できます

詳細設定メニュー

接点監視設定

拡張BOX設定

出力制御設定

スケジュール設定

データ消去

環境設定

SolarView SVC

設定画面 | スライドショー | システム日時 | **データ転送** | メール送信 | システム情報 | オプション | 戻る

スケジュール設定

戻る

現在 7 件のスケジュールが登録されています

スケジュール設定					
有効	コメント	実行日時条件			実行プログラム
☒	時刻の同期	毎月	毎日	毎曜日	/etc/init.d/ntpsync.sh
		02	02	20	
☒	日報作成	毎月	毎日	毎曜日	/home/www/html/convert_daily.php
		毎時	00	20	
☒	月報作成	毎月	毎日	毎曜日	/home/www/html/convert_monthly.php
		00	05	40	
☒	年報作成	毎月	毎日	毎曜日	/home/www/html/convert_yearly.php
		00	08	55	
☒	データ転送削除	毎月	毎日	毎曜日	/usr/local/bin/transport_csv.sh
		毎時	00	40	

設定例：

1分毎(00秒時)に実行する場合 → 「毎月,毎日,毎曜日,毎時,毎分,00,実行プログラム」
 毎日 AM 01:00:00 に実行する場合 → 「毎月,毎日,毎曜日,01,00,00,実行プログラム」
 毎月1日の AM 02:00:00 に実行する場合 → 「毎月,01,毎曜日,02,00,00,実行プログラム」
 毎週月曜日の AM 05:00:00 に実行する場合 → 「毎月,毎日,月曜日,05,00,00,実行プログラム」

保存

以下のいずれかを設定可能

- ✓ 毎分
- ✓ 3 分毎
- ✓ 5 分毎
- ✓ 10 分毎
- ✓ 15 分毎
- ✓ 20 分毎
- ✓ 30 分毎
- ✓ 00 (デフォルト設定)

「データ転送削除」の実行日時の分の項目を変更します。

変更が完了したら [保存] ボタンをクリックして設定を保存します。



スケジュール設定のうち「データ転送削除」以外の設定は変更しないでください。

変更するとシステムが正常に動作しなくなることがあります。

4.10. 接続しているディスプレイの種類を変更する

本製品と接続しているディスプレイの種類を変更する方法を説明します。

接続しているディスプレイでの表示の一部が切れているなどの症状が発生している場合、この設定を変更することで症状が改善することがあります。

本製品をディスプレイに HDMI で接続するには同梱の DVI-D→HDMI 変換アダプタをご利用ください。

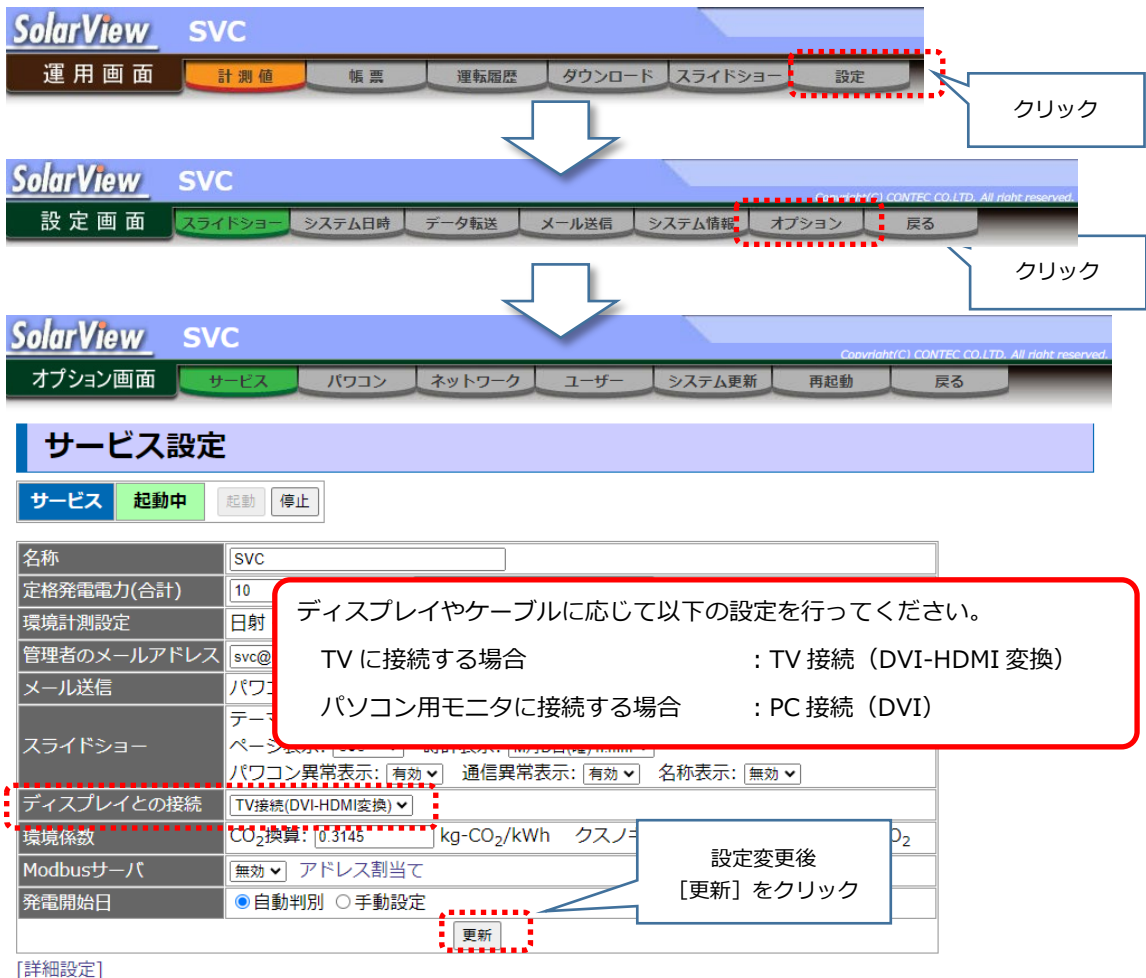
本製品ではディスプレイ信号を 720p(解像度 1280×720) 60Hz で出力していますが、HDMI 経由の場合、液晶テレビの仕様によっては表示できないことがあります(DDC 信号が必須の液晶テレビの場合、表示できないことがあります)。接続するディスプレイが決まっている場合には事前に表示テストを行うことを推奨します。

(事前テストをされる場合、当社の評価機貸出しサービスもご利用頂けます)

操作内容

No.1 「サービス設定」画面を表示

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「オプション」をクリックします。



The screenshot shows the SolarView SVC web interface. The top navigation bar includes '運用画面', '計測値', '帳票', '運転履歴', 'ダウンロード', 'スライドショー', and '設定'. A red box highlights '設定', with a 'クリック' (Click) label. Below this, the '設定画面' menu is shown with 'オプション' highlighted, also with a 'クリック' label. The 'オプション画面' is then displayed with 'サービス' selected. The 'サービス設定' page shows the 'サービス' status as '起動中'. A red box highlights the 'ディスプレイとの接続' dropdown menu, which is currently set to 'TV接続(DVI-HDMI変換)'. A text box explains that users should select the appropriate connection type based on their display or cable: 'TVに接続する場合 : TV接続 (DVI-HDMI変換)' and 'パソコン用モニターに接続する場合 : PC接続 (DVI)'. The '更新' button is highlighted with a red box and a '設定変更後 [更新] をクリック' label.

サービス設定

サービス 起動中 起動 停止

名称 SVC

定格発電電力(合計) 10

環境計測設定 日射

管理者のメールアドレス svc@

メール送信 パワ

スライドショー デー

パワコン異常表示: 有効 通信異常表示: 有効 名称表示: 無効

ディスプレイとの接続 TV接続(DVI-HDMI変換)

環境係数 CO₂換算: 0.3145 kg-CO₂/kWh クスノ

Modbusサーバ 無効 アドレス割当て

発電開始日 自動判別 手動設定

更新

ディスプレイやケーブルに応じて以下の設定を行ってください。

TVに接続する場合 : TV接続 (DVI-HDMI変換)

パソコン用モニターに接続する場合 : PC接続 (DVI)

設定変更後 [更新] をクリック

[詳細設定]

設定を変更したら、[更新]ボタンをクリックします。

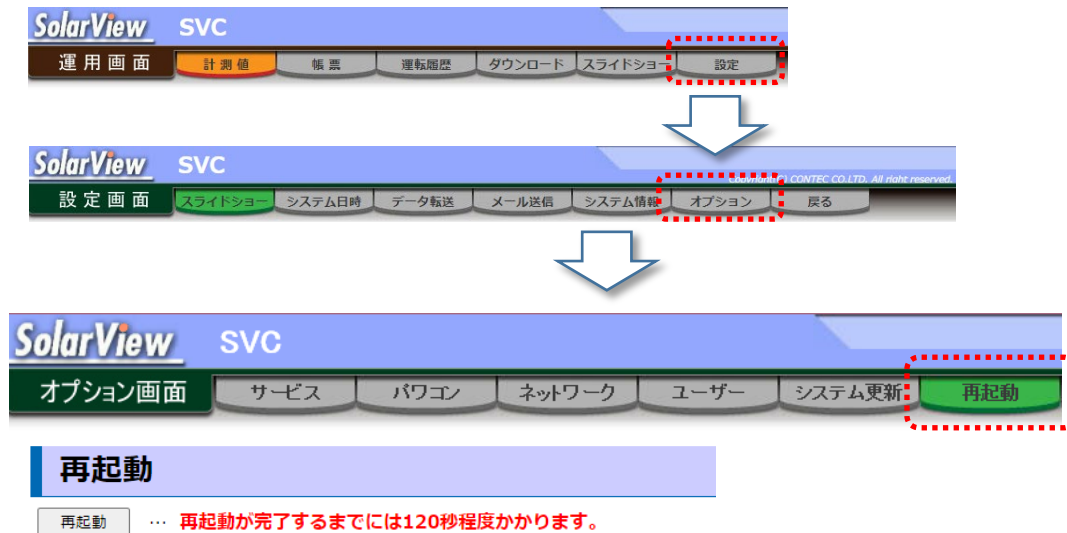
設定は直ちに反映されます。

4.11. Web ブラウザから本体を再起動する

操作内容

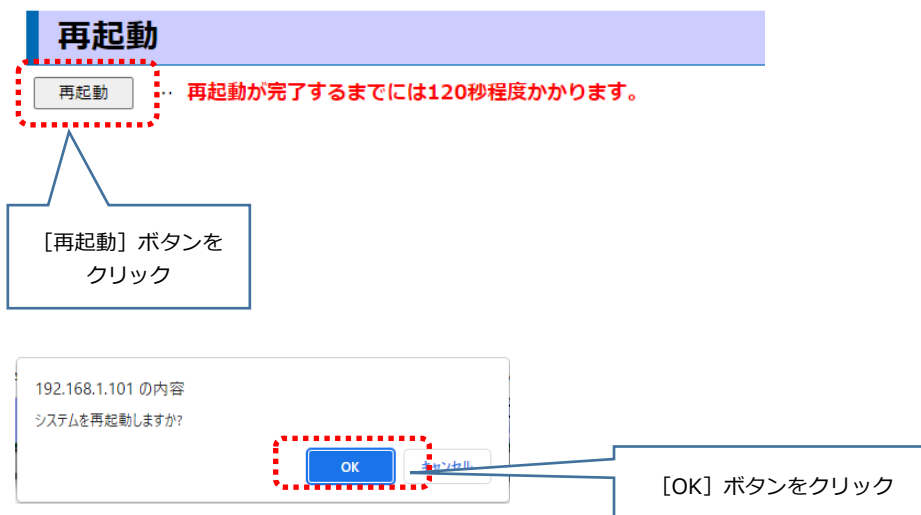
No.1 「再起動」画面の表示

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「オプション」→「再起動」をクリックします。



No.2 システムの再起動

再起動ボタンをクリックし、確認のメッセージの[OK]ボタンを押してください。
システムの再起動が始まり、約 120 秒程度で完了します。



4.12. 設定をバックアップする

■ バックアップファイルを作成する

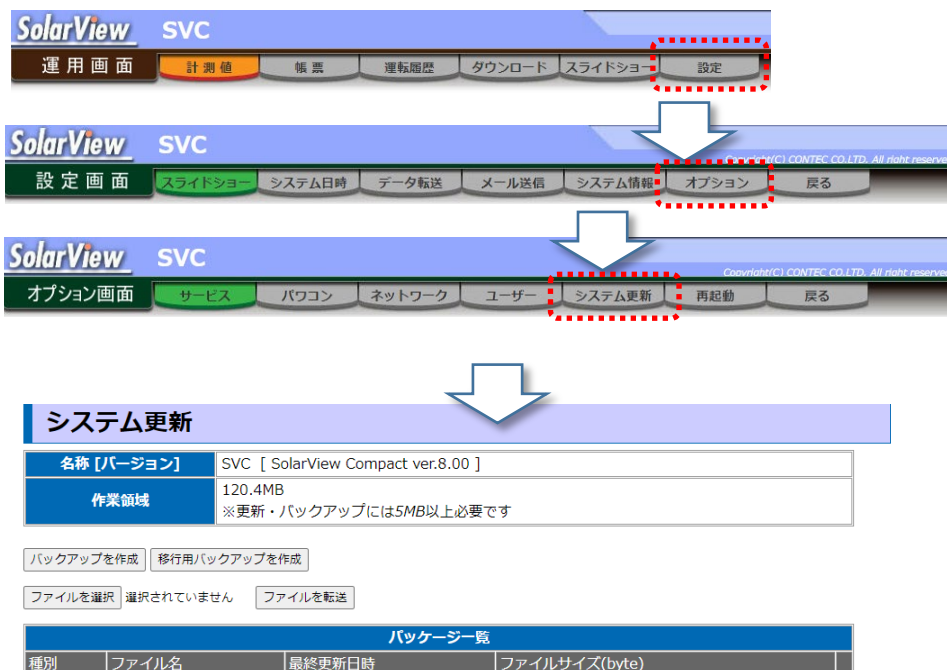
本機能では運用中の SolarView Compact や SolarView Air の設定のバックアップが行えます。取得したバックアップは同一機器の設定を復元する場合や別の機器に設定をコピーする場合に利用できます。

バックアップしたデータは同じバージョンの機器でご利用ください。バージョンが異なると動作しないことがあります。

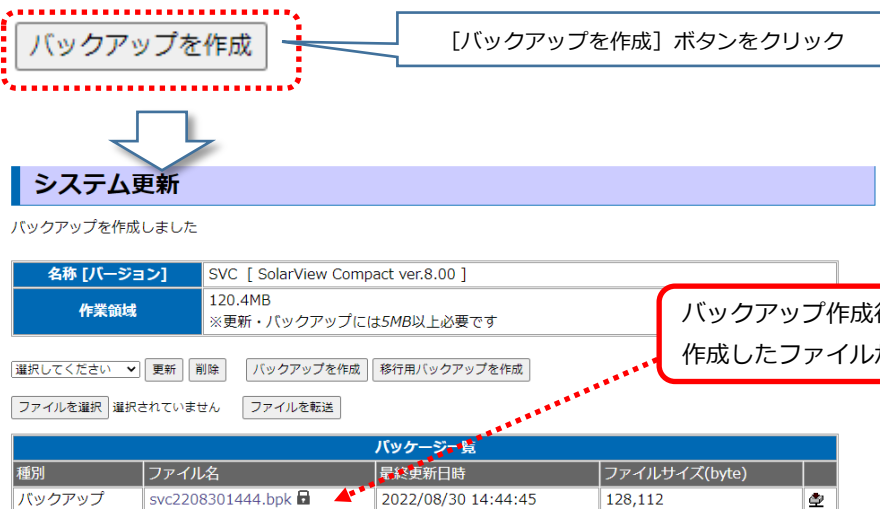
操作内容

No.1 「システム更新」画面の表示

「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「オプション」→「システム更新」をクリックします。



No.2 バックアップファイルの作成



■ バックアップファイルをダウンロードする

操作内容

No.1 バックアップファイルのダウンロード

登録されているバックアップファイルをダウンロードします。

パッケージ一覧				
種別	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ(byte)	
バックアップ	svc2209010829.bpk 	2022/09/01 08:29:44	123,728	

 をクリック

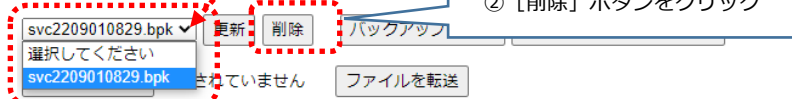
 をクリックするとファイルのダウンロードダイアログが表示されますので指示に従い PC に保存します。
ダウンロードしたバックアップファイルの名称は変更しないようにしてください。

■ バックアップファイルを削除する

操作内容

No.1 バックアップファイルの削除

①バックアップファイルを選択します。



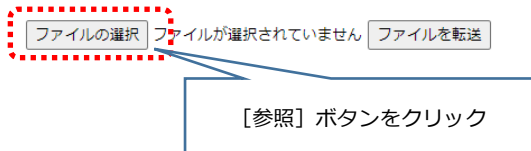
パッケージ一覧				
種別	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ(byte)	
バックアップ	svc2209010829.bpk 	2022/09/01 08:29:44	123,728	

■ バックアップファイルをアップロードして設定を復元する

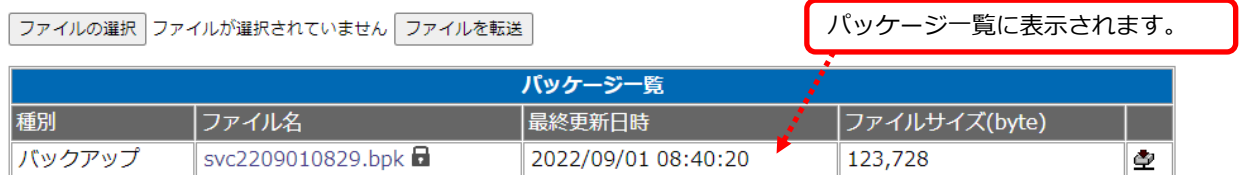
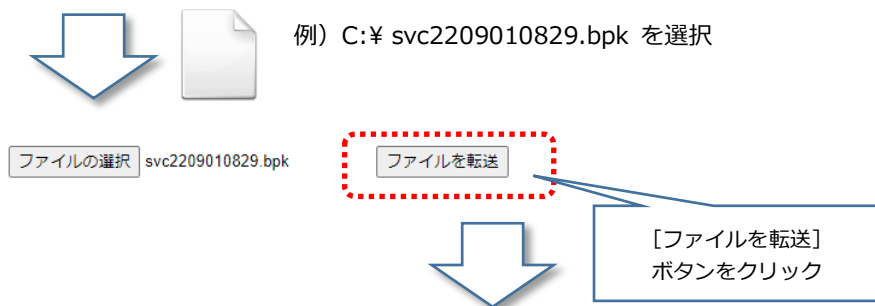
※SolarView Airをお使いの場合は操作しないでください。

操作内容

No.1 バックアップファイルのアップロード

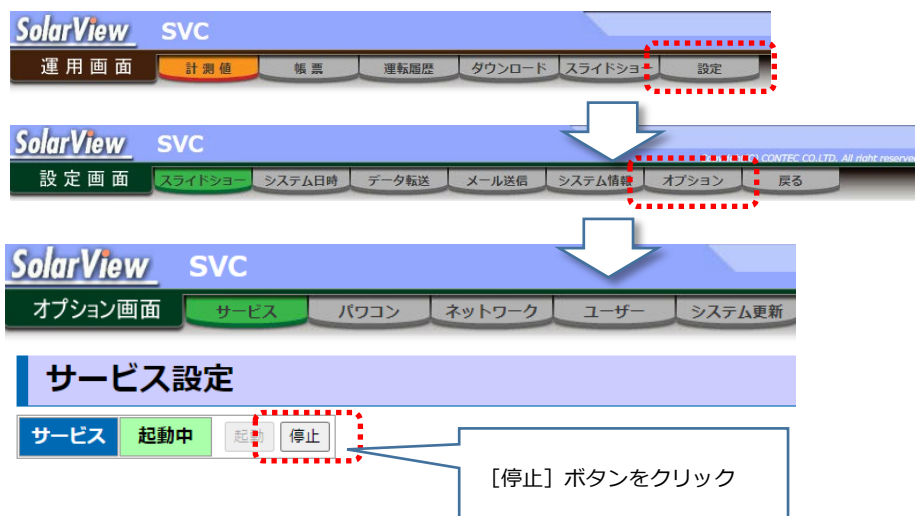


[参照]ボタンをクリックすると「アップロードするファイルの選択」ダイアログが表示されます。
復元するバックアップファイルを選択してください。



No.2 サービスの停止

バックアップファイルからシステムを更新する場合、サービスの停止を行います。
「運用画面」メニューの「設定」→「設定」の「オプション」をクリックします。



No.3 バックアップファイルからシステムの復元

サービスを停止させたら、再度システムの更新画面を表示します。



① [システム更新] をクリック

オプション画面
サービス
パソコン
ネットワーク
ユーザー
システム更新
再起動
戻る

システム更新

② 復元するバックアップファイルを選択

選択してください

▼

選択してください
 svc2209010829.bpk

更新

削除

バックアップを作成

移行用バックアップを作成

バックアップ

svc2209010829.bpk

更新日時

22/09/01 08:40:20

ファイルサイズ(byte)

123,728

③ [更新] ボタンをクリック



システム更新

更新を行っています [svc2209010829.bpk]

...

更新が終了しました
更新は再起動（手動）後に有効になります

名称【バージョン】	SVC [SolarView Compact ver.8.00]
作業領域	121.8MB ※更新・バックアップには5MB以上が必要です

バックアップを作成

移行用バックアップを作成

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

ファイルを転送

バックアップ一覧			
種別	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ(byte)
バックアップ	svc2209010829.bpk	22/09/01 08:40:20	123,728

システム更新履歴

Thu Sep 1 08:29:41 JST 2022 [RESTORE] svc2209010829

① 更新履歴に追記されます

「更新が終了しました」のメッセージが表示されれば更新完了です。
更新の反映には再起動が必要です。再起動操作を行ってください。
(再起動は「4.11Web ブラウザから本体を再起動する」を参照ください。)

4.13. 機器を新しいものに交換し、設定／計測データを移行する

運用中の SolarView Compact や SolarView Air を新しい機器に交換する際に、本機能を利用することで設定／計測データを新しい機器に移行することができます。新しい機器への移行は以下の手順で行います。

- ① 運用中の機器で「移行用バックアップ」を作成し PC にダウンロードする
- ② 運用中の機器を取り外し、新しい機器に取り替える
- ③ 新しい機器に①で取得した「移行用バックアップ」をアップロードし「更新」を行う
- ④ 新しい機器で移行した設定／計測データが反映されているか確認。必要あれば再設定を行う
- ⑤ 新しい機器で動作確認を行う

■ 運用中の機器で「移行用バックアップ」を作成する

操作内容

No.1 「システム更新」画面の表示

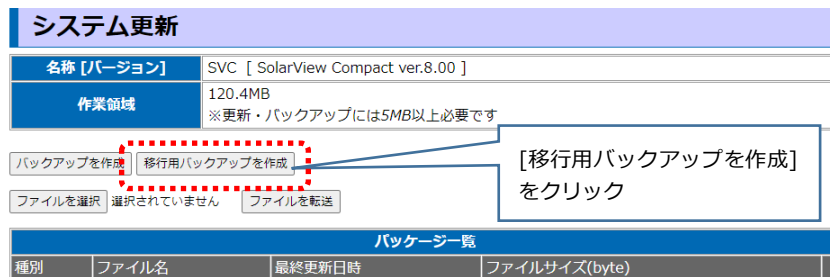
「運用画面」メニューの「設定」→「設定画面」メニューの「オプション」→「システム更新」をクリックします。



No.2 「移行用バックアップ」を作成し、PC にダウンロードする

「移行用バックアップを作成」ボタンをクリックします。

ボタンはサービス起動中には無効になっています。作業前にサービスを停止させてください。



システム更新

バックアップを作成しました

名称【バージョン】	SVC [SolarView Compact ver.8.00]
作業領域	121.8MB ※更新・バックアップには5MB以上必要です

ファイルが選択されていません

バックアップ作成後、パッケージ一覧に作成したファイルが表示されます。

パッケージ一覧			
種別	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ(byte)
移行用バックアップ	SVC2209011104.bpk	2022/09/01 11:04:10	11,968

をクリック

データ移行用バックアップで作成されるバックアップファイルは前項の「4. 12. 設定をバックアップする」で作成されるバックアップと異なり計測データを含みます。データ移行用バックアップの場合はファイル名の先頭3文字が「SVC」と大文字になり、設定のみのバックアップは「svc」と小文字になります。

をクリックするとファイルのダウンロードダイアログが表示されますので指示に従い PC に保存します。

ダウンロードしたバックアップファイルの名称は変更しないようにしてください。

■ 運用中の機器を取り外し、新しい機器に取り替える

操作内容

- No.3** データ移行用バックアップファイルを PC にダウンロードしたら運用中の機器を新しい機器に取り替えます。取り替えが終わったら電源を投入し、利用承諾を行ったのち、ソフトウェアを最新のものに更新します。ソフトウェアは当社 Web サイトより最新のバージョンを入手しアップデートしてください。

■ 新しい機器に「移行用バックアップ」をアップロードし「更新」を行う

操作内容

- No.4** 新しい機器のシステム更新画面を開き、ダウンロードした移行用バックアップファイルをアップロードします。

①[ファイルを選択]をクリックし、アップロードするファイルを選択

②[ファイルを転送]をクリックしてアップロード

システム更新

名称【バージョン】	SVC [SolarView Compact ver.8.00]
作業領域	120.4MB ※更新・バックアップには5MB以上必要です

選択されていません

パッケージ一覧			
種別	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ(byte)

システム更新

転送成功 : SVC2209011104.bpk

名称【バージョン】	SVC [SolarView Compact ver.8.00]
作業領域	121.7MB ※更新・バックアップには5MB以上必要です

ファイルが選択されていません

③アップロードした移行用バックアップを選択し[更新]をクリック

[更新]ボタンをクリックするとデータ移行用バックアップに含まれている設定/計測データを新しい機器に取り込みます。取り込みが完了したらシステムを再起動します。

データ移行用バックアップ機能は以下の組合せでご利用頂けます。
組合せに応じて移行される設定が異なりますので注意してください。

・ SolarView Compact→SolarView Compact の場合

- 【移行対象】 日報、月報、年報、運転履歴、
サービス設定、名称、パワコン設定、LED 表示盤設定、アナログ入力設定、接点入力設定、
拡張 BOX 設定、ネットワーク設定、DNS 設定、NTP 設定、
データ転送設定、メールサーバ設定、定期実行設定
- 【移行対象外】 スライドショー設定、登録画像、パワコン詳細設定、1 分毎計測データ、
拡張 BOX 自体の IP アドレス

・ SolarView Compact/Air→SolarView Air の場合（SolarView Compact→SolarView Compact との相違点）

- 【移行対象】 出力制御設定、出力制御カレンダー ※出力制御対象の場合
- 【移行対象外】 データ転送設定、メールサーバ設定、定期実行設定、
クラウドサービスでの発電所／ユーザー情報、クラウドサービスでの通信途絶設定

【SolarView Air への移行における注意事項】

- ① **SolarView Air への移行の場合、新しい機器の下記の設定は変更しないでください。**機能に影響します。
データ転送設定、メールサーバ設定、定期実行設定、NTP 設定
- ② SolarView Air で IP アドレスを変更されている場合、移行できるのはコントローラの設定のみとなり、
ルーターの IP アドレス／ネットワーク設定は反映されません。ルーターの設定は別途実施してください。
- ③ SolarView Air→SolarView Air の場合、**機器交換後はサイトコードが新しい機器のものに変わります。**
クラウドサービスにログインする際には新規設置の時の同様に新しい認証情報を使ってください。
- ④ **新しい機器でもユーザー登録が必要です。**ユーザー登録は機器毎に必要となります。
- ④ **マルチアカウントを利用されている場合、登録情報の再設定が必要になります。**
交換した機器のマルチアカウントを利用されていた場合
… 新しい機器のマルチアカウントに今まで登録していた発電所を登録し直す必要があります。
他の機器のマルチアカウントに交換した機器を登録していた場合
… 運用中のマルチアカウントに登録されている発電所情報を交換したもののから新しいものに
変更する必要があります。

■ 新しい機器で移行した設定／計測データが反映されているか確認。必要あれば再設定を行う

操作内容

- No.5** 新しい機器の再起動が完了したら移行した設定・計測データが反映されているか確認します。
No.4 の説明に記載しています移行対象の設定・計測データを確認して頂くともに**移行対象外の機能を使われている
場合には再設定を行ってください。**

■ 新しい機器で動作確認を行う

操作内容

- No.6** 新しい機器の設定・計測データの確認が完了したらサービスを開始し、動作の確認を行います。
下記の項目について正常に動作しているかを必ず確認してください。

- ・パワコンとの通信の確認
… パワコンとの通信状態が正常かどうか、計測値モニタの画面で確認します。
- ・計測値のパワコンとの読合せ
… 発電電力 (kW) がパワコンの値と一致するか、計測値モニタの画面で確認します。

【メール送信機能を利用している場合】

- ・テストメールの送信

- … メール送信設定からテストメールを送信し、送信先でテストメールが受信できているかを確認します。

【拡張 BOX SV-OPT-CNT2DI8-BOX を利用している場合】

- ・通信確認

- … 通信状態が正常かどうか、計測値モニタの画面で確認します。

【SolarView Air を利用している場合】

- ・クラウドサービスとの通信確認

- … クラウドサービスに新しい機器の認証情報でログインし、計測値が正常に表示されるか確認します。

付録

➤ FTP で計測データを取得する

本製品では「FTP サーバ」機能をサポートしており、FTP クライアントを使うことで計測データ（CSV ファイル）を取得することができます。

「FTP サーバ」機能を利用する場合の注意事項

- ・親機と子機のネットワークは同一ネットワークになるようにネットワーク設定を行う必要があります。
- ・FTP の通信は Ethernet(TCP/IP)を用いますが暗号化はされていません。
安全なネットワーク環境下でご利用ください。
- ・Ver.9.00 以降では出荷時は機能が無効になっています。機能を利用するには以下の操作を行ってください。
 - ①「オプション」→「サービス」→「詳細設定」→「常駐サービス設定」を開く
 - ②「常駐サービス設定」画面で「FTP サーバ」の自動起動を「有効」に設定する
 - ③【更新】ボタンをクリックして設定を保存する
 - ④ システムを再起動する（「オプション」→「再起動」→【再起動】ボタンをクリック）



操作内容

No.1 本製品に FTP でアクセスしてデータを取得する。

エクスプローラを起動し、アドレス部に「ftp://solar@192.168.1.101」と入力します。
(本製品の IP アドレスが 192.168.1.101 のとき)





ログオン後のフォルダ構成は下記になります。



必要なデータファイルをドラッグ&ドロップ等でコピーしてください。

➤ 計測データファイルのフォーマット

本製品は計測したデータを 1 分毎に保存します（1 分間データ）。

1 分毎に保存されたデータは、1 時間毎に日報データに集計されます。

また日報データは 1 日毎に月報データに、月報データは年報データに集約されます。

計測データファイルは 1 分間データ～年報データまで同一フォーマット(CSV 形式)になります。

【SD カードが 2GB モデルの場合（パワコン 9 台まで）】

SD カードが 2GB のモデルのものはカラム 60 までのデータが保存されます。

【SD カードが 4GB モデルの場合（パワコン 30 台対応版）】

SD カードが 4GB のモデルのものはカラム 186 までのデータが保存されます。

カラム 59 と 60 は 2GB/4GB で内容が異なりますので注意してください。

1 行目はヘッダ行、2 行目以降が計測データになり、下記のフォーマットで保存します。

日本語文字コード：SHIFT-JIS

区切り文字：「,」（カンマ：ASCII コードの 0x2c）

改行コード：CR+LF

カラム	項目	小数桁	備考
1	日時	なし	1 分データ YYYYY/MM/DD hh:mm 日報データ YYYYY/MM/DD hh:00 月報データ YYYYY/MM/DD 年報データ YYYYY/MM
2	日射量 (kWh/m ²)	4	1 分間の積算値
3	気温 (°C)	1	1 分間の平均値
4	発電電力量 (kWh)	4	パワコン 1～30 の積算値の合計
5	パワコン 1 発電電力量 (kWh)	4	1 分間の積算値
6	パワコン 2 発電電力量 (kWh)	4	
7	パワコン 3 発電電力量 (kWh)	4	
8	パワコン 4 発電電力量 (kWh)	4	
9	パワコン 5 発電電力量 (kWh)	4	
10	パワコン 6 発電電力量 (kWh)	4	
11	パワコン 7 発電電力量 (kWh)	4	
12	パワコン 8 発電電力量 (kWh)	4	
13	パワコン 9 発電電力量 (kWh)	4	
14	パワコン 1 直流電力量 (kWh)	4	1 分間の積算値
15	パワコン 1 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
16	パワコン 1 直流電流 (A)	2	
17	パワコン 1 交流電圧 (V)	1	
18	パワコン 1 交流電流 (A)	2	
19	パワコン 2 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
20	パワコン 2 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値

21	パワコン 2 直流電流 (A)	2	1 分間の平均値
22	パワコン 2 交流電圧 (V)	1	
23	パワコン 2 交流電流 (A)	2	
24	パワコン 3 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
25	パワコン 3 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
26	パワコン 3 直流電流 (A)	2	
27	パワコン 3 交流電圧 (V)	1	
28	パワコン 3 交流電流 (A)	2	
29	パワコン 4 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
30	パワコン 4 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
31	パワコン 4 直流電流 (A)	2	
32	パワコン 4 交流電圧 (V)	1	
33	パワコン 4 交流電流 (A)	2	
34	パワコン 5 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
35	パワコン 5 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
36	パワコン 5 直流電流 (A)	2	
37	パワコン 5 交流電圧 (V)	1	
38	パワコン 5 交流電流 (A)	2	
39	パワコン 6 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
40	パワコン 6 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
41	パワコン 6 直流電流 (A)	2	
42	パワコン 6 交流電圧 (V)	1	
43	パワコン 6 交流電流 (A)	2	
44	パワコン 7 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
45	パワコン 7 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
46	パワコン 7 直流電流 (A)	2	
47	パワコン 7 交流電圧 (V)	1	
48	パワコン 7 交流電流 (A)	2	
49	パワコン 8 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
50	パワコン 8 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
51	パワコン 8 直流電流 (A)	2	
52	パワコン 8 交流電圧 (V)	1	
53	パワコン 8 交流電流 (A)	2	
54	パワコン 9 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値
55	パワコン 9 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値
56	パワコン 9 直流電流 (A)	2	
57	パワコン 9 交流電圧 (V)	1	
58	パワコン 9 交流電流 (A)	2	
59	パワコン 10 発電電力量(kWh)	4	1 分間の積算値 ※4GB
	売電電力量(kWh)	3	1 分間の売電電力量 ※2GB

60	パワコン 10 直流電力量(kWh)	4	1 分間の積算値	※4GB
	買電電力量(kWh)	3	1 分間の売電電力量	※2GB
61	パワコン 10 直流電圧 (V)	1	1 分間の平均値	※4GB
62	パワコン 10 直流電流 (A)	2		
63	パワコン 10 交流電圧 (V)	1	1 分間の平均値	※4GB
64	パワコン 10 交流電流 (A)	2		
65～70	パワコン 11 計測値	データ順、内容はパワコン 10 と同様 ※4GB		
71～76	パワコン 12 計測値			
77～82	パワコン 13 計測値			
83～88	パワコン 14 計測値			
89～94	パワコン 15 計測値			
95～100	パワコン 16 計測値			
101～106	パワコン 17 計測値			
107～112	パワコン 18 計測値			
113～118	パワコン 19 計測値			
119～124	パワコン 20 計測値			
125～130	パワコン 21 計測値			
131～136	パワコン 22 計測値			
137～142	パワコン 23 計測値			
143～148	パワコン 24 計測値			
149～154	パワコン 25 計測値			
155～160	パワコン 26 計測値			
161～166	パワコン 27 計測値			
167～172	パワコン 28 計測値			
173～178	パワコン 29 計測値			
179～184	パワコン 30 計測値			
185	売電電力量(kWh)	3	1 分間の売電電力量	※4GB
186	買電電力量(kWh)	3	1 分間の買電電力量	※4GB

➤ 送信メールのフォーマット

【共通ルール】

- ・ 差出人は「名称」 + 「From で指定したメールアドレス」
- ・ 件名は「名称」 + 「発生源」 + 「説明」
- ・ 本文 1 行目は「名称」
- ・ 本文 2 行目はメールの送信日時

■ パワコン異常時送信メール例

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] パワコン 1
宛先	test@localdomain
SVC 2011/11/15 10:10:10 パワコン 1 の状態変化を検知しました。 ON→OFF 運転（ステータス 2 : ビット 7） OFF→ON 系統異常（ステータス 1 : ビット 2）	

パワコン異常時送信メールはパワコン毎に送信します。複数のパワコンで同時に異常が発生した場合、パワコン毎に複数のメールが送信されます。

■ パワコン通信異常時送信メール例

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] パワコン 1 通信異常
宛先	test@localdomain
SVC 2011/11/15 10:10:10 パワコン 1 通信異常 パワコン 1 で通信異常が発生しました	

通信異常からの復旧時は以下ようになります。

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] パワコン 1 通信復旧
宛先	test@localdomain
SVC 2011/11/15 10:10:10 パワコン 1 通信復旧 パワコン 1 で通信が復旧しました	

■ テストメール例

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] TEST-MAIL
宛先	test@localdomain
SVC 2011/11/15 10:10:10 TEST-MAIL 本メールは SolarView が送信したテストメールです。	

■ 接点監視メール例

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] 接点状態
宛先	test@localdomain
SVC 2023/02/05 10:10:10 OFF→ON 接点 1 名称 [接点 1] ON→OFF 接点 2 名称 [接点 2]	

OFF→ON 立ち上がり、ON→OFF 立ち下がり。

同時に複数の接点で状態変化があった場合、1 メールで行を追加して送信します。

■ 拡張 BOX(SV-OPT-CNT2DI8-BOX)の接点監視メール例

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	[SVC] 拡張 BOX 状態
宛先	test@localdomain
SVC 2023/02/05 10:10:10 ON→OFF 接点 1 名称 [DI0] OFF→ON 接点 3 名称 [DI2]	

OFF→ON 立ち上がり、ON→OFF 立ち下がり。

同時に複数の接点で状態変化があった場合、1 メールで行を追加して送信します。

■ 定期メール

差出人	SVC <svc@localdomain>
件名	定期報告 8/17
宛先	test@localdomain
〇〇発電所 2014/08/17 18:00:05 定期報告 08/17 ----- 現在の状態 (2014 年 08 月 17 日 18:00 現在) 日射 : 0.214 kW/m² 気温 : 28.7 °C 発電 : 512.0 kW パワコン 1 = 512.0 kW 本日の発電電力量 = 9215.9 kWh ----- 2014 年 08 月 16 日の報告 発電量 : 12288.0 kWh パワコン 1 = 12288.0 kWh 発電時間 : 00:01 ~ 00:00 日射量 : 5.04 kWh/m² 最高気温 : 28.6 °C 最低気温 : 28.6 °C ----- 過去との比較 前日の日射量付近の過去の発電実績 (±0.5kWh/m²以内の発電量が多い順 5 件) 2014/08/16 5.04kWh/m² 12287kWh 2014/08/15 4.62kWh/m² 4154kWh	

「SVC」の表記はシステムの SVC 名称です。

SVC 名称を変更したい場合は「サービス」※1の画面で変更することができます。



SVC 名称には、環境依存文字は使用できません (例: 株、①、②、㏄、㏆)

※1 「運用画面」の「設定」をクリック→「設定画面」の「オプション」をクリックで表示します。

➤ Modbus サーバを使用する（開発者向け機能）

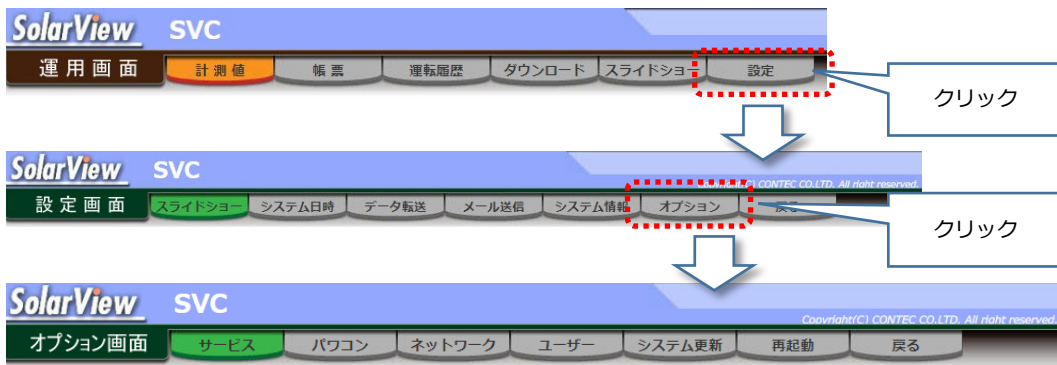
Modbus サーバを有効にすると、Modbus Slave のサービスが開始され Modbus Master から本製品の計測データを取得することができるようになります。対応するプロトコルは Modbus/TCP、ファンクションコードは「04：入力レジスタ読み出し」になります。

本機能は工場出荷時状態では無効です。Modbus 通信が必要な場合は機能を有効にしてください。

操作内容

No.1 Modbus サーバを有効にする

「運用画面」の「設定」→「設定画面」の「オプション」をクリックします。



サービス設定

サービス **起動中**

名称	SVC					
定格発電電力(合計)	100	kW	パワコン設定の契約容量から算出			
環境計測設定	日射・気温の取込み元: パワコン1 [アナログ入力設定]					
管理者のメールアドレス	(0/300文字)					
[有効]を選択	パワコン異常時:	無効	パワコン通信異常時:	無効	定期報告:	無効
	テーマ:	一般1	フォント:	ゴシック		
	ページ表示:	□●□	時計表示:	[M月D日(曜)] h:mm		
	パワコン異常表示:	有効	通信異常表示:	有効	名称表示:	無効
環境係数	CO ₂ 換算:	0.3145	kg-CO ₂ /kWh			
Modbusサーバ	無効	アドレス割当て				
発電開始日	無効	☐ 判別	☐ 手動設定			
				更新	クリックして設定を保存	

[詳細設定]

Modbus 通信時のアドレスマップは「アドレス割当て」をクリックすることで確認できます。

Modbusサーバ アドレス割当て

アドレス概略	
Function Code 4(Input Register)	
読込アドレス	内容
0	パワコン1 計測データ
100	パワコン2 計測データ
200	パワコン3 計測データ
300	パワコン4 計測データ
400	パワコン5 計測データ
500	パワコン6 計測データ
600	パワコン7 計測データ
700	パワコン8 計測データ
800	パワコン9 計測データ

アドレス概略→詳細の順で表示され、概略アドレス番号をクリックすると当該の詳細にジャンプします。

➤ デジタルサイネージと連携する

本製品は Web ブラウザ機能を備えたデジタルサイネージと連携することができます。デジタルサイネージの Web 機能から以下の本製品の URL を参照することでデジタルサイネージに本製品の画面を表示できます。デジタルサイネージに表示できる画面は以下の 2 つになります。

- ・ スライドショー
- ・ 計測値モニタ

■ スライドショーを表示

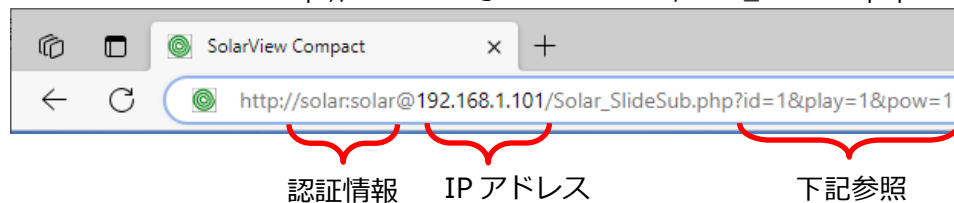
操作内容

No.1 デジタルサイネージ Web 用スライドショーを表示

Web ブラウザを起動し、アドレス部に以下のアクセス先を入力してください。

http://「ユーザー名」:「パスワード」@「IP アドレス」/Solar_SlideSub.php?id=1&play=1&pow=1

※工場出荷時設定の場合 http://solar:solar@192.168.1.101/Solar_SlideSub.php?id=1&play=1&pow=1



「id」、「play」、「pow」の値を指定することによって表示するスライドショーを変更することができます。

パラメータ	概要
id	表示するスライドを指定。id=0 でスライド No. 1 を表示。
play	スライド遷移するかどうかを指定。 play=0 のときスライド遷移無。 play=1 のときスライド遷移有。
pow	ブラウザ内に表示するスライドの解像度の倍率を指定。 pow=1.5 のとき 1920×1080 の解像度で表示。 pow=1 のとき 1280×720 の解像度で表示。 pow=0.5 のとき 640×360 の解像度で表示。
bg_color	背景色を RGB16 進数で指定します。(未指定時は 000000=黒) 例：白を指定 bgcolor=FFFFFF

■ 計測値を表示

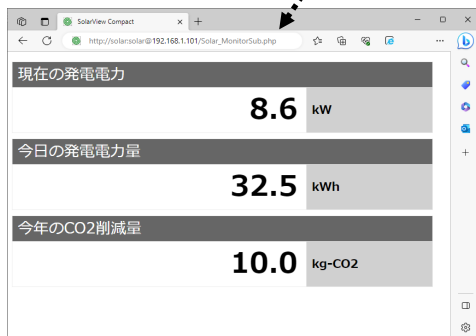
操作内容

No.1 計測値モニタを表示

Web ブラウザを起動し、アドレス部に以下のアクセス先を入力してください。

http://「ユーザー名」:「パスワード」@「IP アドレス」/Solar_MonitorSub.php

※工場出荷時設定の場合 http://solar:solar@192.168.1.101/Solar_MonitorSub.php



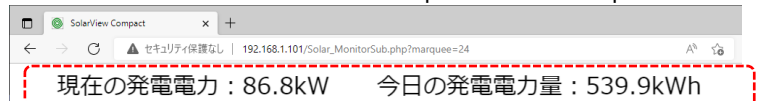
計測値モニタは用意された表示領域幅を使って表示するようにオートスケール機能があります。

URL の末尾に「?」を付け、以降に下記のパラメータを追加することで表示する項目を変更できます。

複数のパラメータを指定する場合は「&」で連結してください。

例) http://solar:solar@192.168.1.101/Solar_MonitorSub.php?show_pyrano=1&show_temp=1

パラメータ	概要
show_pyrano	日射強度の表示を指定。未指定は非表示、1 で表示。
show_temp	気温の表示を指定。未指定は非表示、1 で表示。
show_kwh	今日の積算電力量の表示を指定。未指定は表示、0 で非表示。
show_kwh_m	今月の積算電力量の表示を指定。未指定は非表示、1 で表示。
show_kwh_y	今年の積算電力量の表示を指定。未指定は非表示、1 で表示。
show_co2	今年の CO2 換算値の表示を指定。未指定は表示、0 で非表示。
bg_color	背景色を RGB16 進数で指定。(未指定時は 000000=黒、FF0000 なら赤)
marquee	表示をテロップ風に変更する。未指定は通常表示 セットする値はフォントサイズ。marquee=24 なら 24pt



← 右から左にテキストが流れます

marquee_spd	marquee 指定時のスクロール速度を指定します。 1 が最遅で未指定時は 3 です。数値が大きいほど早くなります。
fcolor	marquee 指定時のみ有効で文字色を RGB16 進数で指定します。(未指定時は 000000=黒) 例 : 白を指定 fcolor=FFFFFF

例) http://192.168.1.101/Solar_MonitorSub.php?marquee=24&bg_color=FF0000&fcolor=FFFFFF&marquee_spd=10



■ スライドショーをサイネージプレイヤー／Webブラウザのフレームに埋め込む時の注意事項

本製品で Ver.8.10 以降、セキュリティ強化の取り組みとして「同一 Web 画面の中に複数サイトのフレームを埋め込む」ところを禁止するパラメータを追加しています。

具体的には HTTP ヘッダに「X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を追加しており、このパラメータを受けてほとんどの Web ブラウザでは本製品のページをフレームとして組み込むことができません。

フレームに組み込めるようにする為に Ver.8.20 以降で「HTTP ヘッダの X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を無効にする設定を追加しています。

「HTTP ヘッダの X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を無効にするには以下の設定を変更してください。

- ・「オプション画面」→「サービス」を開き、「詳細設定」を開く
- ・「詳細設定」から「環境設定」を開く

環境設定

[戻る](#)

- | | |
|---|------------------------------|
| ☐ 画像のインライン化を無効にする | … IES以前で帳票を見る必要がある場合にチェック |
| ☐ HTTPヘッダの「X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を無効にする | … 本機のコンテンツをframeで利用する場合にチェック |
| ☐ Webサーバのログを有効にする | … 本機のWebサーバのログ機能を有効する場合にチェック |

[更新](#)

- ・「HTTP ヘッダの「X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を無効にする」にチェックを付けて「更新」ボタンをクリックして設定を変更する

➤ HTTP 接続を有効にする（Ver.9.00 以降）

本製品では Ver.9.00 以降では Web アクセスに暗号化に対応した HTTPS を用います。HTTPS が有効な状態では HTTP でアクセスしても HTTPS に転送し、通信の暗号化を優先します。

Web ブラウザ側の制約等で非暗号通信の HTTP を用いて接続させたい場合には、以下の手順で HTTPS を無効にすることで、HTTP でのアクセスを許可できます。

なお、設定は製品全体で有効となりますので、HTTPS を無効にした場合、接続する Web ブラウザは全て HTTP でアクセスしてください（URL の先頭は http://ではなく https://を指定）。

操作内容

No.1 環境設定を表示

Web ブラウザを起動し、「オプション画面」→「サービス設定」→「詳細設定」→「環境設定」を開きます。



「Web サーバを HTTPS で起動する」のチェックを外して「更新」ボタンをクリックすると本製品の Web サーバが再起動し、HTTP での通信のみを許可し、HTTPS での通信が無効になります。

HTTPS を無効にすると Web ブラウザからの接続は HTTP のみが可能になります。

Web ブラウザのキャッシュや URL の自動補完機能などが働くと URL に「http://本製品の IP アドレス」を入力しても「https://本製品の IP アドレス」に自動で置き換えられ、通信ができない場合がございます。このような場合、Web ブラウザの履歴やキャッシュをクリアしてください。

HTTP にした Web サーバを再び HTTPS で利用する場合は「Web サーバを HTTPS で起動する」にチェックを付けて「更新」ボタンをクリックしてください。

➤ サイト証明書を更新する（Ver.9.00 以降）

本製品で用意されているサイト証明書は認証機関の署名の無い自己証明書となります。

自己証明書ではなく、認証機関で署名されたサイト証明書に更新する場合、以下の手順で更新できます。

【注意事項】

本製品に登録できるサイト証明書は下記の仕様を満たしている必要があります。

- ①. x.509 形式であること
- ②. 証明書(cert ファイル)と秘密鍵(key ファイル)を連結した pem 形式のファイル

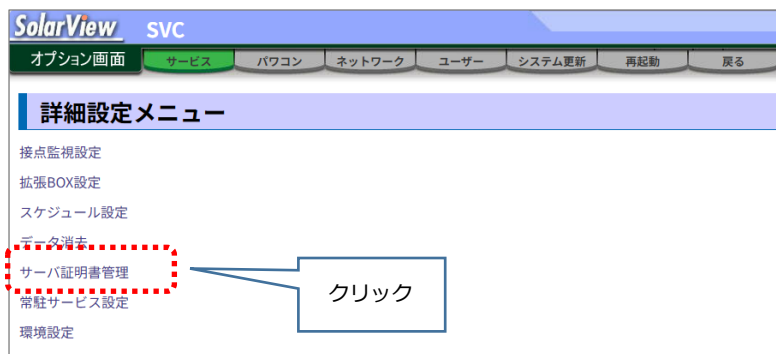
■
サイト

証明書を更新

操作内容

No.1 サイト証明書を更新

Web ブラウザを起動し、「オプション画面」→「サービス設定」→「詳細設定」→「サーバ証明書管理」を開きます。



「ファイルを選択」をクリックし、登録したい証明書を選択し「ファイルを転送」をクリックします。

サーバ証明書管理

[戻る](#)

更新日時	2026/04/10 16:09:26
Subject	/CN=localhost
有効期限	2036/04/07 16:09:26
シリアル番号	8547297DD0FE4CA0
フィンガープリント (SHA1)	57:9A:73:F7:BE:52:BF:F0:9F:13:83:FF:D2:48:52:52:36:74:CC:C0

[ファイルの選択](#)
ファイルが選択されていません
[ファイルを転送](#)

[証明書を再作成する\(自己証明書\)](#)

利用可能なサーバ証明書ファイルは以下の仕様になります。
 ・ x.509形式
 ・ 証明書(cert)と秘密鍵(key)を連結したpem形式のファイル

登録した証明書の情報は本画面で確認できます。

登録した証明書を止め、自己証明書に戻す場合は「証明書を再作成する（自己証明書）」をクリックします。

自己証明書を再作成し、製品のサイト証明書として登録します。

➤ USB メモリに計測データ(CSV ファイル)をコピーする

本製品では USB メモリを挿入することで計測データならびに運転履歴データを USB メモリにコピーすることができます。コピーしたデータはパソコンなどで利用できます。USB メモリにコピーしたデータは暗号化しておりませんので取扱にご注意ください。

本機能は Ver.9.00 未満では設定を行わなくても利用可能ですが、Ver.9.00 以降の初期状態では機能を事前に有効にする必要があります。

本製品で利用できる USB メモリは以下の仕様を満たす必要があります。

- ・ USB 2.0 対応のもの
- ・ 消費電流が 500mA 以下のもの
- ・ 暗号化、セキュリティ機能の無いもの
- ・ FAT32 でフォーマットされたもの
- ・ 空き容量が十分にあるもの

(2 年分のデータでは 2GB モデルで約 700MB、4GB モデルで約 2GB 必要になります)

上記を満たしていてもご利用頂けない場合もございます。予めご了承ください。

当社 Web サイトに動作検証済の USB メモリのリストを掲載しております。USB メモリを選定する際の参考にしてください。また USB メモリを使う際には本製品がノイズの無い環境で使われていることをご確認の上でご使用ください。

■ USB メモリを使う前の準備

操作内容

- No.1** 用意した USB メモリをパソコンに装着し、USB メモリのルートフォルダにフォルダ名「SolarView」を作成します。半角英字で大文字／小文字を区別して正確に入力してください。「SolarView」フォルダを作成したら USB メモリをパソコンから取り外します。

■ USB メモリの機能を有効にする (Ver.9.00 以降)

操作内容

- No.2** Web ブラウザを起動し「オプション」→「サービス」→「詳細設定」→「環境設定」を開きます。

環境設定

戻る

☐ 画像のインライン化を無効にする	… IE8以前で帳票を見る必要がある場合にチェック
☐ HTTPヘッダの「X-Frame-Options:SAMEORIGIN」を無効にする	… 本機のコンテンツをframeで利用する場合にチェック
☐ Webサーバのログを有効にする	… 本機のWebサーバのログ機能を有効する場合にチェック
☒ WebサーバをHTTPSで起動する	… 本機のWebサーバをHTTPS(通信暗号化)にする場合にチェック
☐ USBメモリを利用する	… データをUSBメモリにコピーする機能が必要な場合にチェック

「USB メモリを利用する」をチェックし「更新」ボタンをクリックします。
USB メモリの利用が許可されます。

■ USB メモリへ計測データをコピーする

操作内容

- No.3** 本製品の USB ポートに No.1 で作成した USB メモリを取り付けます。
USB メモリを取り付けると自動的にデータのコピーが開始されます。
コピーは同じ USB メモリで前回コピーした時点から更新／追加されたものをコピーします。
コピー中は本体の L2 LED（緑）が点灯します。
点灯と同時にディスプレイ上部にアイコン（）が表示されます。
L2 LED が点灯している間はデータのコピーアイコン表示中は
USB メモリを取り外さないでください。
L2 LED が消灯もしくはディスプレイのアイコン表示が消えればコピー完了です。
USB メモリを取り外します。

■ コピーしたデータをパソコンで確認する

操作内容

No.4 No.2 でデータをコピーした USB メモリをパソコンに取り付けデータを確認します。

本製品からコピーされたデータは USB メモリに作成した「SolarView」フォルダの中にコピーされています。コピーの際に、同一の USB メモリで複数の本製品のデータを管理できるように自動的に本製品の MAC アドレスのフォルダを作成しており、その中に計測データがコピーされています。

本製品の MAC アドレスは本体に貼付されたラベルに記載しております。ご確認ください。
コピー後の USB メモリのフォルダ構成は以下のようになります。

¥ SolarView ¥ 【MAC アドレス(自動生成)】 ¥

min¥	一分間データ (YYYYMMDDm.csv)
day¥	日報データ (YYYYMMDD.csv)
month¥	月報データ (YYYYMM.csv)
year¥	年報データ (YYYY.csv)
history.csv	運転履歴データ

※YYYY は年(西暦 4 桁)、MM は月(01~12)、DD は日(01~31)

各データの内容はダウンロードで取得できるファイルと同じです。詳細は「0

計測データファイルのフォーマット」を参照ください。

※CSV ファイルのタイムスタンプが日本時間から 9 時間ずれて表示されますが、これは仕様となります。ご容赦ください。

➤ オプション製品「SV-OPT-CNT2DI8-BOX」を利用する

オプション製品「SV-OPT-CNT2DI8-BOX」と本製品を組み合わせることで、下記の機能を追加できます。

- ・売電電力量パルス、買電電力量パルスの計測
- ・接点信号数を追加（本体内蔵 4 点 → 本体内蔵 4 点 + SV-OPT-CNT2DI8-BOX 8 点 = 全 12 点）

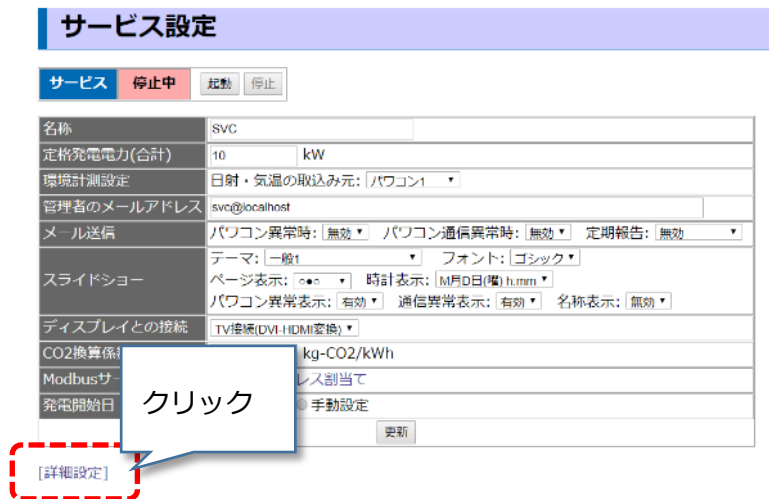
本製品と SV-OPT-CNT2DI8-BOX とは Modbus/TCP を用いて通信を行います。通信は暗号化されておりますので通信の安全性が保護された通信環境にてご利用ください。

■ SV-OPT-CNT2DI8-BOX を利用できるように設定する

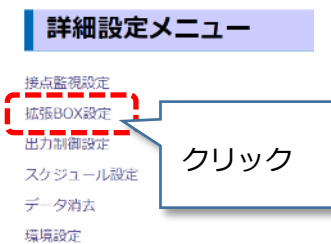
SV-OPT-CNT2DI8-BOX を本製品で利用するには本製品側で設定を行う必要があります。

設定の際にはサービスを停止状態にしてから作業を行います。

本製品の「サービス設定」画面から「詳細設定」をクリックします。



続いて「拡張 BOX 設定」をクリックし、拡張 BOX 設定画面を開きます。



拡張 BOX 設定では以下の項目を設定します。

- ① 利用する拡張 BOX の種類
- ② 拡張 BOX の IP アドレス
- ③ 通信異常発生／復旧時のメール送信有無
- ④ 「計測モニタ（総合）」の積算値表示設定
- ⑤ 接点信号の名称、変化時の履歴保存、メール送信有無
- ⑥ 売電／買電の 1 パルスあたりの電力量
- ⑦ 売電電力量の積算値（※再設定時に変更）

拡張BOX

戻る

項目	設定値	項目	設定
拡張BOX種類	無効 ①	電力量表示設定 ※計測モニタ(総合)	売電電力量 ④
接続先	IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 111 ②		
通信異常時	メール送信: 無効 ③		

信号	名称	履歴	メール	信号	名称	1パルスの電力量	積算電力量設定(kWh)
DI0	DI0 ⑤	---	---	CNT0	売電電力量	1 kWh ⑥	今日 144313.0
DI1	DI1	---	---				今月 1420304
DI2	DI2	---	---				今年 1420304
DI3	DI3	---	---				累積 1420304 ⑦
DI4	DI4	---	---				
DI5	DI5	---	---				
DI6	DI6	---	---				
DI7	DI7	---	---				

更新

クリック

各項目で設定する内容は以下になります。

No	項目名	初期値	入力する内容	備考
①	拡張 BOX 種類	無効	SV-OPT-CNT2DI8-BOX	
②	接続先	192.168.1.111	↑に設定されている IP アドレス	ネットワーク環境に合わせて設定
③	通信異常時	無効	通信異常通知が必要なら「有効」	送信先はサービス設定で指定されているメールアドレス
④	電力量表示設定 ※計測モニタ（総合）	発電電力量	計測モニタ（総合）に表示される積算値を売電電力量にする場合は「売電電力量」	
⑤	信号名称	DI0～DI7	入力する信号に合わせた名称	
	履歴	－（無効）	変化時の履歴が必要なら「○」	
	メール	－（無効）	変化時にメール送信が必要なら「○」	
⑥	1パルスの電力量：売電	1	1パルスあたりの kWh を指定 パルス出力機器の設定を参照	使わない場合は「0」を入力
	1パルスの電力量：買電	1		
⑦	積算電力量設定	全て 0	通常は変更しない	売電パルスの積算値を任意の値に変更したい場合に操作

②の接続先は SV-OPT-CNT2DI8-BOX をセットアップした際に指定した IP アドレス（初期値は 192.168.1.111）を入力します。

各項目の設定を行ったら「更新」ボタンをクリックして設定を保存します。

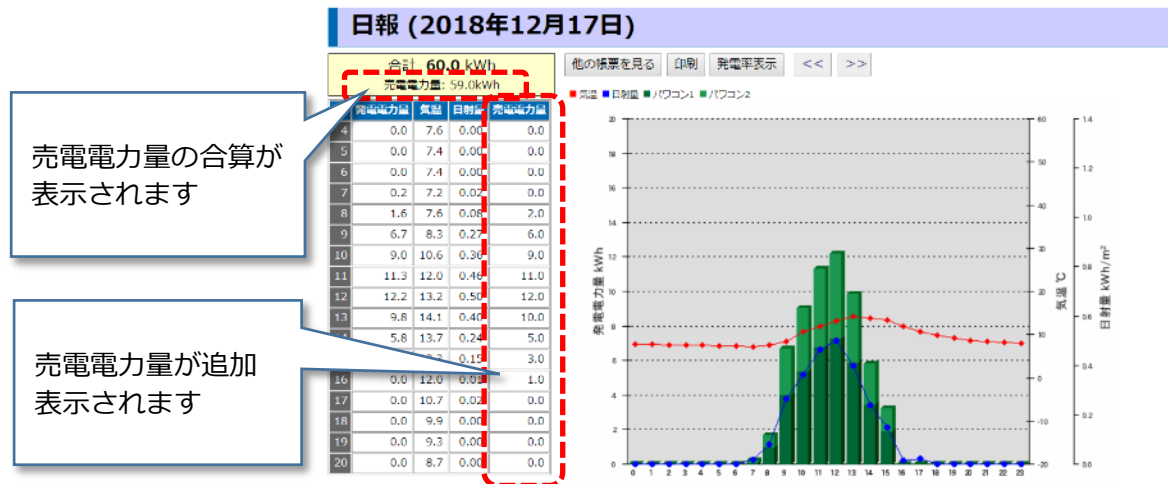
設定はサービスを起動した際に有効になりますので設定が完了したらサービスを開始してください。

■ 売電電力量を確認する

売電電力量は「帳票」画面もしくは「計測値モニタ（総合）」画面、「ダウンロード」画面から確認します。
 （※パルスあたりのkWhが「0」で設定されている場合、売電電力量は表示しません）

【帳票画面】で確認

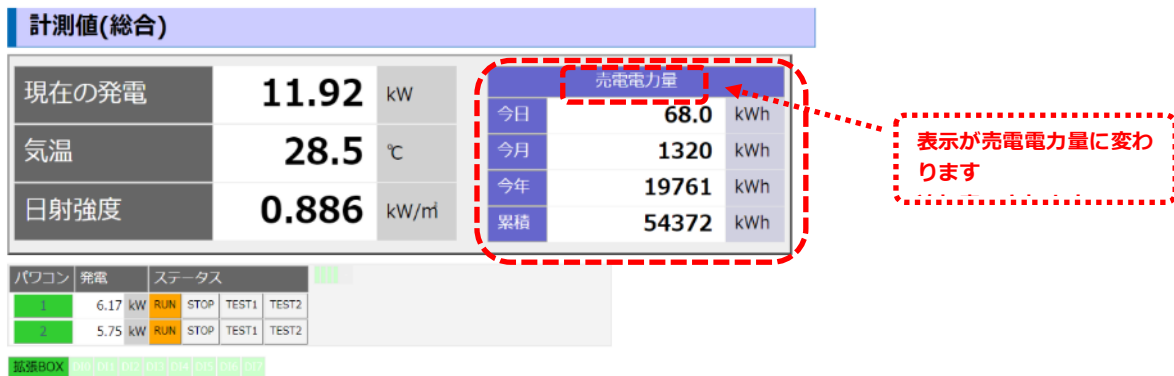
帳票画面では以下の表示になります。



- ・画面左上の発電電力量の合算値の下に売電電力量が追加
- ・表の右端に売電電力量が追加

【計測値モニタ（総合）画面】で確認

計測値モニタ（総合）画面では以下の表示になります。



- ・画面右側の積算値表示が「売電電力量」に変更

【ダウンロード画面】で表示

ダウンロード画面から直接ファイルの中身を参照したり、PC にデータをダウンロードすることで計測データに記録された「売電電力量」「買電電力量」を確認できます。SV-OPT-CNT2DI8-BOX が無効、通信異常が発生中、パルスあたりの電力量が 0 になっている場合は計測データに「*」を記録します。

■ 買電電力量を確認する

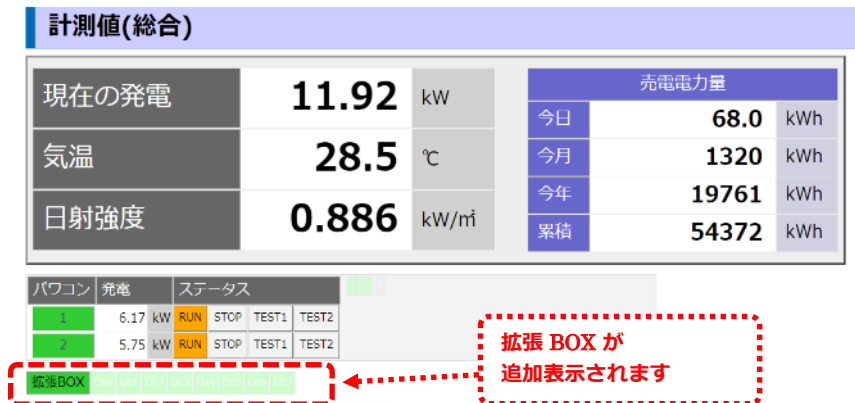
買電電力量は「ダウンロード」画面から計測データをダウンロードして確認します。売電電力量と同様に SV-OPT-CNT2DI8-BOX が無効、通信異常が発生中、パルスあたりの電力量が 0 になっている場合は計測データに「*」を記録します。

■ SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号を使って異常監視を行う

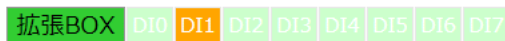
SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号を使って異常監視を行うには、拡張 BOX 設定で接点信号の信号名を設定した後で履歴やメールの有無を設定する必要があります。

接点状態の確認

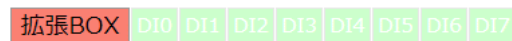
接点信号の状態は「計測値モニタ（総合）」画面で確認します。



接点が ON になると以下のように ON している信号がオレンジ色で点灯します。



SV-OPT-CNT2DI8-BOX との通信に異常が発生すると以下のように「拡張 BOX」の表記が赤色に変わります。



通信異常の発生／復旧は自動的に履歴に保存します。「拡張 BOX 設定」で通信異常時にメール送信を行う設定になっている場合にはメールを送信します。

運転履歴の確認

接点信号の状態変化、通信異常の履歴は「運転履歴」画面で確認します。

運転履歴

15件の履歴が登録されています

☐ 検出日時

から

まで

☐ レベル

システム▼

☐ パワコン

パワコン▼

ステータス:

☒ ON

☒ OFF

☐ 信号名称

(部分一致)

新しい履歴に▼

10件▼

表示

No	検出日時	レベル	検出元	信号名称	ステータス
1	2018/12/18 17:10:07	システム	拡張BOX	拡張BOX通信異常	OFF
2	2018/12/18 17:09:49	システム	拡張BOX	拡張BOX通信異常	ON
3	2018/12/18 17:09:20	接点監視	拡張BOX	[DI1]:異常信号 2	OFF
4	2018/12/18 17:09:16	接点監視	拡張BOX	[DI1]:異常信号 2	ON
5	2018/12/18 17:09:11	接点監視	拡張BOX	[DI0]:異常信号 1	OFF
6	2018/12/18 17:09:07	接点監視	拡張BOX	[DI0]:異常信号 1	ON
7	2018/12/18 17:08:53	システム	-	サービス起動	ON
8	2018/12/18 17:08:07	システム	-	サービス起動	OFF
9	2018/12/18 17:07:57	接点監視	拡張BOX	[DI1]:異常信号 2	OFF
10	2018/12/18 17:07:53	接点監視	拡張BOX	[DI1]:異常信号 2	ON

表示件数以上の履歴が見つかりました

接点信号の状態変化は「履歴」が有効な場合に履歴に記録します。SV-OPT-CNT2DI8-BOX との通信異常は自動的に履歴に記録します。

SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号は「レベル：接点監視」「検出元：拡張 BOX」として記録します。

メール送信対象に設定されている接点信号は信号名称を太字で表示します。

信号名称の先頭にはデバイス識別子の DI0～DI7 を付与して表示します。

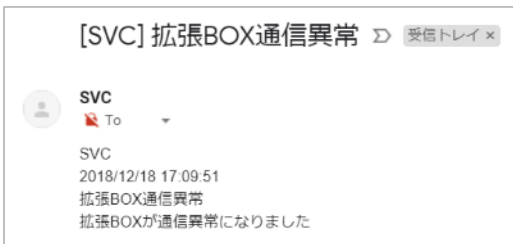
通信異常は「レベル：システム」「検出元：拡張 BOX」として記録します。

送信するメールの内容

接点信号の状態変化時は以下のメールを送信します。



通信異常の場合は以下のメールを送信します。



異常時にメールを送信するには事前にメールサーバ等の設定を行っておく必要があります。

設定方法は「4. 1. メール送信機能を使う」を参照ください。

■ SV-OPT-CNT2DI8-BOX のネットワーク設定を変更する

接続するネットワークの制限等で SV-OPT-CNT2DI8-BOX の IP アドレスを初期値(192.168.1.111)から変更する必要がある場合には、製品添付のセットアップガイドに従って IP アドレスの変更を行います。本製品には変更後の IP アドレスを拡張 BOX 接続先に指定してください。

■ SV-OPT-CNT2DI8-BOX の接点信号のノイズフィルタ設定を変更する

接点信号を取り込む際に信号のチャタリングなどノイズの影響が見られる場合、接点信号のノイズフィルタ設定を変更することで症状が改善する場合があります。

初期設定では売電／買電パルス信号（CNT0、CNT1）に 10msec、接点信号（DI0～8）に 100msec のフィルタを設定しています。フィルタの設定を変更する必要がある場合には、製品添付のセットアップガイドに従ってフィルタ値の変更を行います。

■ 接点信号、パルス信号をテスト入力する

最初の設置時や点検の際には接点信号、パルス入力の模擬信号を入力することをお奨めします。疑似信号の入力は各端子の「+」と「-」を短絡して行います。短絡状態が ON、開放状態が OFF となります。

➤ こんな時はどうすればいいの？ Q&A

Q1： スライドショーに計測値が表示されません。

A1： ディスプレイの画面上部にアイコンが表示されているかご確認ください。

計測値の表示に関するアイコンの対処法は以下になります。

各アイコンの意味は「2.2 スライドショーで表示されるアイコン」を参照ください。

アイコン 対処法



パソコンの設定を行ってサービスを起動してください。

(参照先：「1.2 初期設定を行う」)



接続されているパソコンのうち、1台でも通信異常が発生している時に表示されます。

パソコン通信用ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。



接続されているパソコンのうち、1台でもパソコン異常が発生している時に表示されます。パソコンの状態をご確認ください。

Q2： スライドショーのスライドが遷移しません。

A2： ディスプレイの画面左上（ページ番号表示位置）に「 || 」と表示されているかご確認ください。

表示されている場合、スライドショーは一時停止しています。「□スライド毎の設定を変更する」を参照し、スライドショーを再開してください。

Q3： 起動中の画面が出たまま、スライドショーに遷移しません。

A3： スライドショーの設定で、スライドショーが全て無効になっていないかを確認してください。

Q4： ディスプレイに何も映りません。

A4： 今一度ディスプレイに接続されていることと、

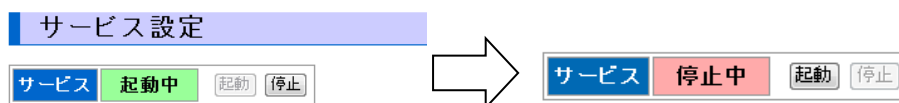
「4.10 接続しているディスプレイの種類を変更する」をご確認ください。

Q5：  のアイコンがディスプレイにずっと表示されています。

A5： 時計用電池の交換が必要な状態時に  が表示されます。
本製品の修理が必要です。当社までご相談ください。

Q6： 計測データを削除したいのですが。

A6： 「サービス設定」画面で「停止」ボタンを押し、サービスを停止してください。



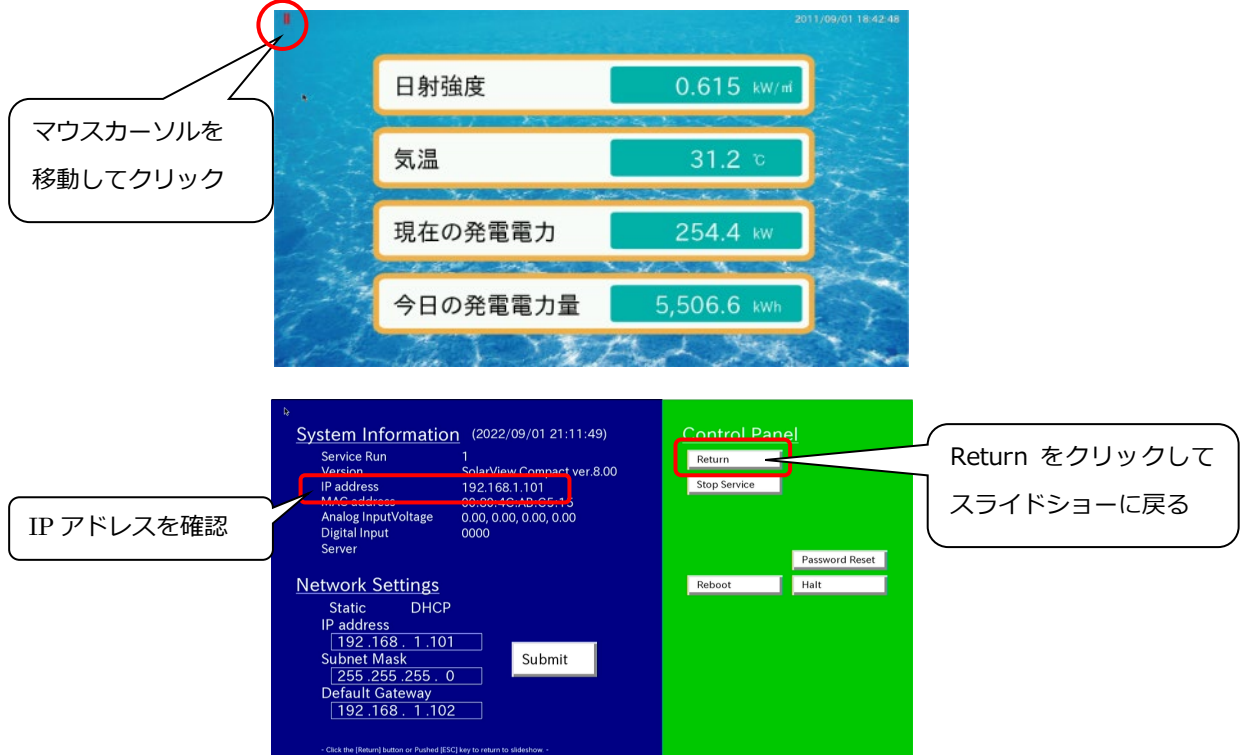
サービス停止後に[オプション画面]→[サービス設定]→[詳細設定]→[データ消去]から計測データの削除が行えます。

Q7: 本体の IP アドレスを忘れたので Web ブラウザからアクセスできません。

A7: 本体にディスプレイと USB 接続のマウスを接続します。

マウスをクリックするとスライドショーが一時停止します。

一時停止した状態でマウスカーソルを移動し、画面左上をクリックすると IP アドレスを含む本体情報が表示されます。



IP アドレスを確認したら「Return」をクリックしてスライドショーに戻してください。

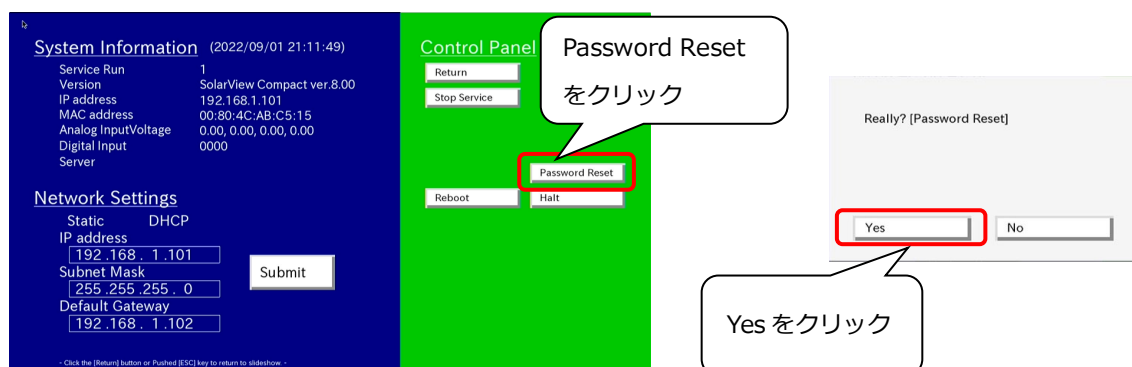
Q8: 設定したユーザー、パスワードを全て忘れてしまいました。出荷時の状態に戻せますか？

A8: 可能です。

A7 と同様にディスプレイとマウスを接続し本体情報を表示します。

「Password Reset」をクリックして認証情報をリセットします。

「Really? [Password Reset]」の確認が出ますので「Yes」をクリックします。



「Yes」をクリックすると認証情報が出荷時の状態に戻ります。

認証情報をリセットしたら「Return」をクリックしてスライドショーに戻してください。

認証情報は出荷時のままだとセキュリティリスクが高いです。早急にパスワードの変更を実施ください。

Q9 : USB メモリに計測データをコピーしたい。

A9 : 付録の「USB メモリに計測データ(CSV ファイル)をコピーする」を参照ください。

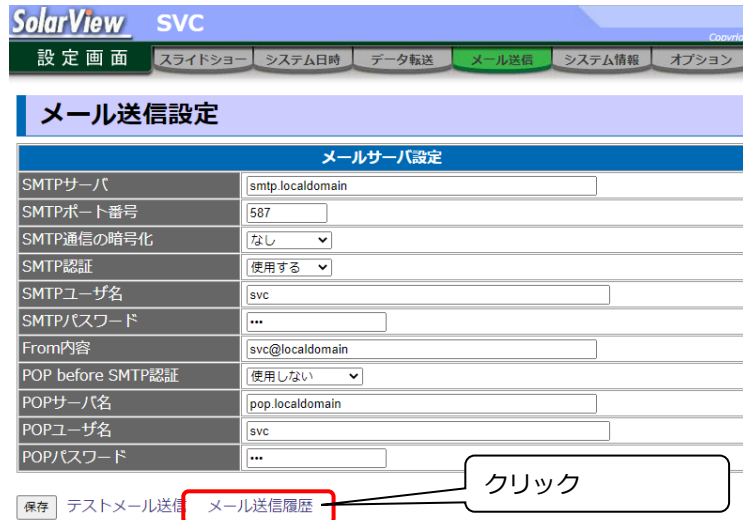
Q10 : 気象機器を日射計もしくは気温計のどちらかのみ接続する場合、接続していない項目の表示枠を消すことはできますか？

A10 : 日射強度と気温の表示はセットとなっており、片方を非表示にすることはできません。

Q12： 警報メールが届きません。

A12： 本製品ではメールサーバに対して送信した履歴を最大で 10 件まで保管しています。

履歴はメール送信設定画面から確認できます。



メール送信設定

メールサーバ設定

SMTPサーバ	smtp.localdomain
SMTPポート番号	587
SMTP通信の暗号化	なし
SMTP認証	使用する
SMTPユーザ名	svc
SMTPパスワード	...
From内容	svc@localdomain
POP before SMTP認証	使用しない
POPサーバ名	pop.localdomain
POPユーザ名	svc
POPパスワード	...

保存 テストメール送信 **メール送信履歴** クリック

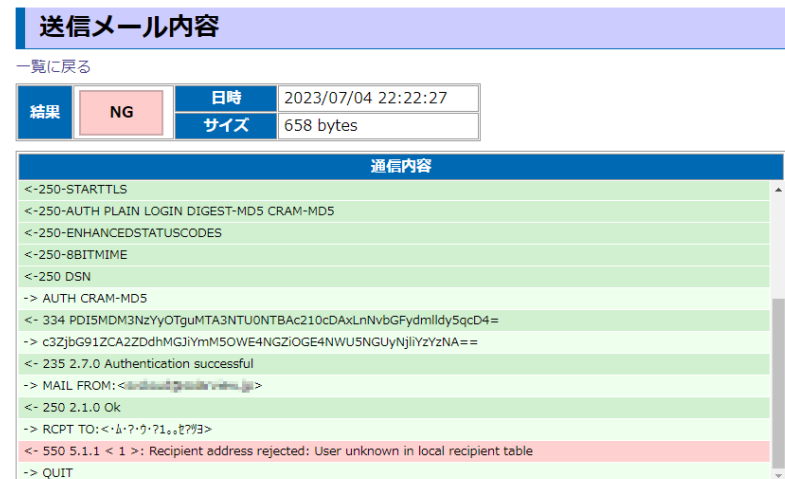


メール送信履歴

メール送信設定に戻る

No	日時	結果	サイズ(bytes)	件名
1	2023/07/04 22:26:00	OK	1,629	[SVC] パワコン1 状態
2	2023/07/04 22:24:57	OK	1,151	[SVC] パワコン1 通信復旧
3	2023/07/04 22:24:50	OK	1,155	[SVC] パワコン1 通信異常
4	2023/07/04 22:24:16	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態
5	2023/07/04 22:23:48	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態
6	2023/07/04 22:22:27	NG	1,160	[SVC] パワコン1 状態
7	2023/07/04 22:21:28	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態
8	2023/07/04 22:21:10	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態
9	2023/07/04 22:21:01	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態
10	2023/07/04 22:20:47	OK	1,160	[SVC] パワコン1 状態

NGとなっている履歴をクリック



送信メール内容

一覧に戻る

結果	NG	日時	2023/07/04 22:22:27
		サイズ	658 bytes

通信内容

```

<-250-STARTTLS
<-250-AUTH PLAIN LOGIN DIGEST-MD5 CRAM-MD5
<-250-ENHANCEDSTATUSCODES
<-250-8BITMIME
<-250 DSN
-> AUTH CRAM-MD5
<- 334 PDl5MDM3NzYyOTguMTA3NTU0NTBac210cDaxLnNvbG9ydmlldy5qcD4=
-> c3ZjbG91ZCA2ZDdhMGJYmM5OWE4NGZlOGU4NWU5NGUyNjYyZzNA==
<- 235 2.7.0 Authentication successful
-> MAIL FROM:<[redacted]>
<- 250 2.1.0 OK
-> RCPT TO:<[redacted]>
<- 550 5.1.1 <1>: Recipient address rejected: User unknown in local recipient table
-> QUIT
  
```

メールサーバとの通信内容が表示されますので通信内容を確認し、設定に不備が無い確認してください。

メール送信履歴はシステムが再起動するとクリアされます。

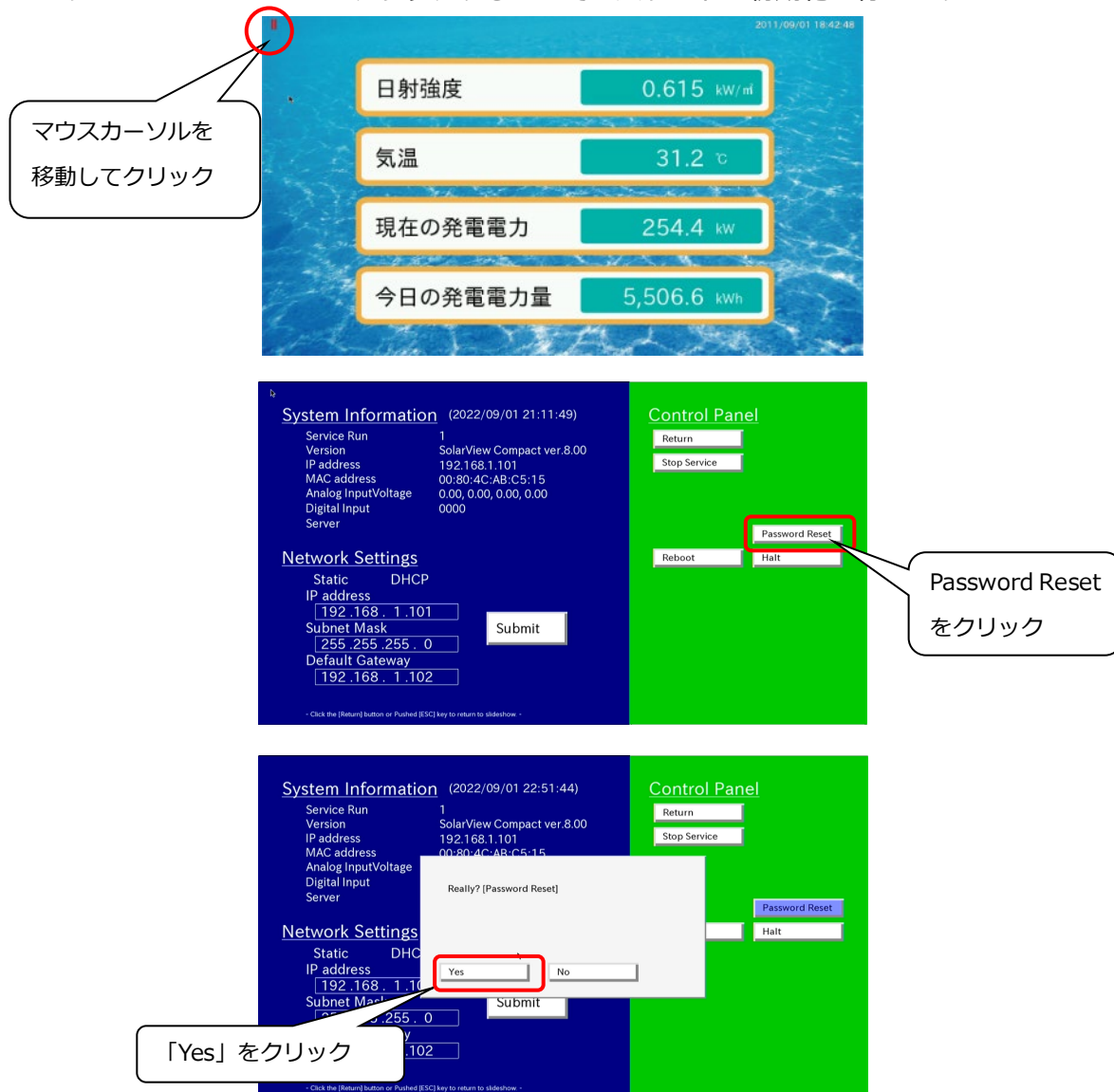
Q13 : Web アクセス時のパスワードを忘れました。

A13 : 以下の手順でパスワードを初期化できます。

USB 接続のマウスを用意して、本体に接続します。

マウスをクリックするとスライドショーが一時停止します。

一時停止した状態でマウスカーソルを移動し、画面左上をクリックすると Control Panel が表示されます。Password Reset をクリックすることでパスワードの初期化が行えます。



パスワードを初期化したら Return をクリックしてスライドショーに戻してください。

Q14： 製品を初期状態に戻せますか？

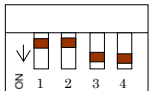
A14： **※※SolarView Air をお使いの場合、初期化作業は実施しないでください※※**

SolarView Air の場合、当社が初期設定を個別に実施しており初期化すると機能が失われます。

DIP SW 操作によって工場出荷時に戻すことができます。

工場出荷時に戻すと計測データも初期化しますので必要であれば操作する前に、計測データをダウンロードしてください。

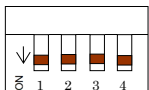
まずは DIP SW の 3 を ON にします。(本体の停止)

	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	ON
	4	ON

しばらくすると POWER LED、L2 LED が点灯、L1 LED、L3 LED が消灯します。

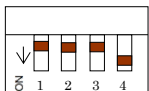
この状態になったら電源を OFF にします。

続いて DIP SW を全て ON にして電源を ON にします。(計測データ、設定の初期化)

	番号	説明
	1	ON
	2	ON
	3	ON
	4	ON

起動後 POWER LED、L1 LED、L2 LED、が点灯、L3 LED が消灯状態になったら初期化完了です。

初期化が完了したら SW 1、SW 2、SW3 を OFF にして初期設定を行ってください。

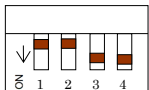
	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	OFF
	4	ON

Q15： 計測データは削除せず、設定のみ初期化できますか？

A15： **※※SolarView Air をお使いの場合、初期化作業は実施しないでください※※**
 SolarView Air の場合、当社が初期設定を個別に実施しており初期化すると機能が失われます。

DIP SW 操作によって工場出荷時の設定に戻すことができます。

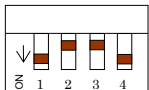
まずは DIP SW の 3 を ON にします。(本体の停止)

	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	ON
	4	ON

しばらくすると POWER LED、L2 LED が点灯、L1 LED、L3 LED が消灯します。

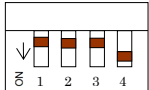
この状態になったら電源を OFF にします。

続いて DIP SW1、DIP SW4 を ON にして電源を ON にします。(設定初期化)

	番号	説明
	1	ON
	2	OFF
	3	OFF
	4	ON

起動後に設定が工場出荷時に戻ります。

SW 1、SW 2、SW3 を OFF に戻し、再設定を行ってください。

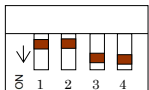
	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	OFF
	4	ON

Q16： IP アドレスを忘れてしまいました。ネットワーク設定だけ初期化できますか？

A16： **※※SolarView Air をお使いの場合、初期化作業は実施しないでください※※**
 SolarView Air の場合、当社が初期設定を個別に実施しており初期化すると機能が失われます。

本体の DIP SW を操作することでネットワーク設定を初期化できます。

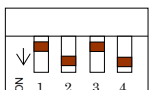
まずは DIP SW の 3 を ON にします。(本体の停止)

	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	ON
	4	ON

しばらくすると POWER LED、L2 LED が点灯、L1 LED、L3 LED が消灯します。

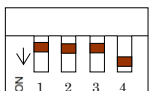
この状態になったら電源を OFF にします。

続いて DIP SW を下記の状態にして電源を ON にします。(IP アドレス初期化)

	番号	説明
	1	OFF
	2	ON
	3	OFF
	4	ON

起動するとネットワーク設定は初期状態に戻ります。

SW 1、SW 2、SW 3 を OFF に戻し、再設定を行ってください。

	番号	説明
	1	OFF
	2	OFF
	3	OFF
	4	ON

Q17: パソコンとの通信設定（通信速度など）を変更できますか？

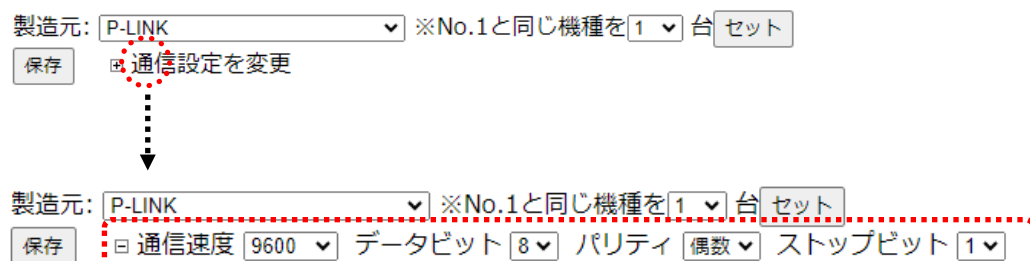
A17: 変更することができます。

通信設定の変更はパソコン設定画面から行えます。

画面の「通信設定を変更」の[+]をクリックすると通信設定が表示されます。

パソコン設定(ポート1)

パソコン設定トップ



製造元: P-LINK ▼ ※No.1と同じ機種を1 ▼ 台 セット

保存 + 通信設定を変更

製造元: P-LINK ▼ ※No.1と同じ機種を1 ▼ 台 セット

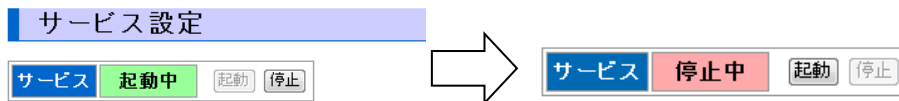
保存 通信速度 9600 ▼ データビット 8 ▼ パリティ 偶数 ▼ ストップビット 1 ▼

設定は接続するパソコンに併せて変更してください。

※サービス動作中には設定は保存できません。サービスを停止してから作業してください。

Q18： 発電設備で発電容量の拡張（パワコン追加）を行いたい。

A18： 「サービス設定」画面で「停止」ボタンを押し、サービスを停止してください。



「1.2 初期設定を行う」の「No.3 パワコンの設定 3」で「未使用」になっている機種を、追加したパワコンに変更してください。

製造元: デモ ▼ ※No.1と同じ機種を 1 ▼ 台 セット

保存

[日射強度] 1V(4mA)の時の値: * 5V(20mA)の時の値: * kW/m²

[気温] 1V(4mA)の時の値: * °C 5V(20mA)の時の値: * °C

No	機種	定格 (kW)	契約容量 (kW)	局番	積算電力量設定(kWh) クリア				
					時	今日	今月	今年	累積
1	10kW ▼	10	10	1 ▼	0	0	0	0	0
2	10kW ▼	10	10	2 ▼	0	0	0	0	0
3	未使用 ▼			3 ▼	0	0	0	0	0
4	未使用 ▼							0	0
5	未使用 ▼							0	0
6	未使用 ▼							0	0
7	未使用 ▼							0	0
8	未使用 ▼							0	0

「未使用」になっている項目を
追加したパワコンに変更

その後、再び「サービス設定」画面で「開始」ボタンを押すと、計測を開始します。

Q19： パワコンの発電電力量の積算値がおかしい。

A19： 機器の更新時や本システムで障害が発生した場合にパワコンの発電電力量（積算値）の値が正常でなくなる場合があります。パワコン設定画面から「再集計」ボタンをクリックすることで保管している計測データより再作成を行うことができます。

パワコン設定(ポート1)

パワコン設定トップ

製造元: コンテック(デモ) ▼ ※No.1と同じ機種を 1 ▼ 台 セット

保存

[日射強度] 1Vの時の値 (4mAの時の値): * 5Vの時の値 (20mAの時の値): * kW/m²

[気温] 1Vの時の値 (4mAの時の値): * °C 5Vの時の値 (20mAの時の値): * °C

No	機種	定格 (kW)	契約容量 (kW)	局番	積算電力量設定(kWh) クリア 再集計				
					時	今日	今月	今年	累積
1	10kW ▼	10	10	1 ▼	7	32	12636	12636	12636

Q20 : パワコンとの通信異常の詳細を確認したい。

A20 : 本製品では特定のパワコンとの通信で履歴を保存しています。

対応しているパワコンの場合、計測値モニタ（パワコン毎）画面の右下に「通信履歴」のリンクが表示されます。※リンクが表示されていない場合、本機能は利用できません。

パワコン1 計測値

SMA (WebConnect) SUNNY HIGHPOWER PEAK3 100/143-JP-20 [IP : 192.168.1.34]

総合 1

パワコン状態	正常	日射強度	0.000 kW/m ²	日射量(分積算)	0.0000 kWh/m ²	ステータス1	0000
通信状態	正常	気温	0.0 ℃	気温(分平均)	0.0 ℃	ステータス2	0000
直流電圧	0.0 V	予備入力1	0.000 V	直流電圧(分平均)	0.0 V	ステータス3	0000
直流電流	0.00 A	予備入力2	0.000 V	直流電流(分平均)	0.00 A	ステータス4	0000
直流電力	0.00 kW	データ計測回数	10 回	直流電力量(分積算)	0.0000 kWh	ステータス5	0000
交流電圧	0.0 V	発電電力量(分)	0.0000 kWh	交流電圧(分平均)	0.0 V	ステータス6	0000
交流電圧2	0.0 V	発電電力量(時)	0.0 kWh	交流電流(分平均)	0.00 A	ステータス7	0000
交流電圧3	0.0 V	発電電力量(本日)	0.0 kWh	交流電力(分平均)	0.00 kW	ステータス8	0000
交流電流	0.00 A	発電電力量(今月)	3632 kWh	予備入力1(分平均)	0.000 V	ステータス9	0000
交流電流2	0.00 A	発電電力量(今年)	9144 kWh	予備入力2(分平均)	0.000 V	ステータス10	0000
交流電流3	0.00 A	発電電力量(累積)	9144 kWh				
交流電力	0.00 kW						

7メニュー詳細

通信履歴

通信履歴をクリックするとパワコンとの通信履歴が表示されます。

通信障害の解析などの際に本情報が役に立つことがあります。参考にしてください。

パワコン1 通信履歴	
SMA (WebConnect) SUNNY HIGHPOWER PEAK3 100/143-JP-20 [IP=192.168.1.34]	
戻る 再読み込み 1	
通信履歴(通常)	
日時	内容
2022-04-26 15:19:21	PCS[0] Connection established.
2022-04-26 15:19:09	Warning I- PCS[0] Connection drop.
2022-04-26 15:19:09	Error I- PCS[0] Cmd[0] Response timeout. No response.
2022-04-26 15:17:44	PCS[0] Read register succeeded.
2022-04-26 15:17:44	PCS[0] Connection established.
通信履歴(出力制御)	
日時	内容
2022-04-26 15:19:06	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:59	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:52	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:45	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:37	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:30	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:23	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]
2022-04-26 15:18:16	PCS[0] write value -> 100.0% [Address=40016 Value=100]

何かご不明な点がございましたら、当社ソリューションサポートセンターまでご連絡ください。

更新履歴

更新日	内容
2011/11/18	新規作成
2012/02/27	① 「5.5 接続しているディスプレイを変更したい」 追加 ② 「5.6 LED 表示板の表示内容を変更したい」 追加 ③ ①、②の追加によって変更された画面の画像を更新
2012/11/06	・ Ver1.05 リリースに伴う、CSV フォーマットの修正（新規データ追加、少数桁修正） ・ 再起動/システム停止の本体イメージ図の差し替え、LED 説明を修正 ・ 本体初期化時の LED 説明を修正
2013/06/12	Q&A：「起動中の画面が出たまま、スライドショーに遷移しません。」を追加
2013/09/24	・ Ver1.08 リリースに伴う修正 ① 「4.10.自動的に計測データファイルを指定のフォルダに転送したい」を修正 FTP 送信間隔の設定機能の説明を追加 ・ Ver1.10 リリースに伴う修正 ① 「4.9.パワコンから取得するステータスの詳細を変更したい。」を追加 パワコンのステータス毎のメール送信、履歴保存の設定機能説明を追加 ② 「4.10.自動的に計測データファイルを指定のフォルダに転送したい」を修正 FTP 送信テスト機能の説明を追加
2013/10/15	スライドショー設定のフォントサイズ上限値・下限値を修正（0～120 → 8～100）
2014/02/24	・ Ver.2.00 リリースに伴う修正 ① 初期起動時には EULA が表示されるように変更になったことへの対応 ② 「CO₂ 換算係数」設定機能の説明を追加 ③ 帳票画面の合算値に関する説明を追加 ④ スライドショー設定のフォントサイズ指定プルダウンリスト化に対応 ⑤ USB メモリでの計測データ取り出し機能の説明を追加
2014/02/28	DIP SW 操作による初期化の説明を修正
2014/04/01	パワコン製造元の設定画面の画像を更新
2014/06/17	Q&A：「計測データを削除したいのですが。」を追加 Q&A：「発電設備で発電容量の拡張（パワコン追加）を行いたい。」を追加
2014/10/31	・ サービス設定：Modbus/TCP サーバ機能の説明を追加（Ver2.50 以上） ・ サービス設定：定時メール送信機能説明を追加（Ver2.50 以上） ・ パワコン通信異常時のアイコン説明の誤りを修正
2016/04/29	Ver.3.20 リリースに伴う改訂
2016/10/07	Ver.4.00 リリースに伴う改訂 ① 計測値画面の表示内容を変更 ② パワコン毎のステータス詳細画面の表示内容を変更 ③ 帳票に年報（年度）を追加 ④ システム再起動の停止ボタンを削除 ⑤ パワコン設定に通信速度を追加 ⑥ 接続パワコン 30 台対応に関する記述を追加 ⑦ 接点監視の説明を追加
2016/11/18	目次の誤りを修正
2018/04/20	・ 計測値表示の表示座標の設定方法を追加 ・ Web サイトアドレスの変更
2018/09/25	目次の表記を修正

2018/12/21	Ver.6.00 リリースに伴う改訂 ① 付録にオプション製品「SV-OPT-CNT2DI8-BOX」対応に関する記述を追加 ② パワコン設定に「定格」「契約容量」の項目を追加 ③ 帳票の発電率表示の説明を追加 ④ 本解説書に SolarView Air の内容も追加
2021/03/05	Ver.6.20 リリースに伴う改訂 ① メールアドレスの入力文字数は 200 文字から 300 文字に変更
2021/06/29	Ver.6.80 リリースに伴う改訂 ① データ移行機能の説明を追加
2022/05/25	Ver.7.20 リリースに伴う改訂 ① メール送信で暗号化通信に対応している記述を追加 ② テストメールの結果画面を更新 ③ メール送信条件に「出力制御開始／終了時」を追加 ④ システム日時設定に「PC 時刻をセット」を追加 ⑤ スライドショー設定の計測値表示についての説明を追加 ⑥ パワコン通信履歴を追加 ⑦ 本体アナログ入力を使った発電計測についての説明を追加 ⑧ パワコン積算電力量の再計算を追加
2022/09/16	Ver.8.00 リリースに伴う改訂
2023/07/07	Ver.8.20 リリースに伴う改訂
2024/02/27	「4.4. 接点監視機能を使う」に接点信号の検知時間についての説明を追加
2026/08/06	Ver.9.00 リリースに伴う改訂（Ver.9.00 以降で以下の記述を追加） ① 「はじめに」の次に「セキュリティに関する注意」を追加 ② アクセス時の「接続がプライベートではありません」表示の説明を追加 ③ 初回ログイン時にパスワード変更が必要な記述を追加 ④ 常駐サービス設定の追加 ⑤ サイト証明書管理を追加 ⑥ Q&A の各項目に通し番号を追加

発行 株式会社コンテック

2026 年 8 月改訂

大阪市西淀川区姫里 3-9-31 〒555-0025

<https://www.contec.com/>

本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

[11182011]

分類番号

NA06583

[08062026_rev8]

部品コード

LYWS638